HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

9インチプレミアムインターナビ
VXM-175VFNi

8インチプレミアムインターナビ
VXM-175VFEi／VRM-175VFEi

スタンダードインターナビ
VXM-175VFi／VRM-175VFi

ナビゲーション・オーディオ編

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正の商品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。（商品の適用車種はHonda販売店にご確認ください。）
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書とセキュリティカードも一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

※VXM-175VFiおよびVRM-175VFiはHDMIケーブルによる外部機器の接続・視聴に対応していません。

● BLUETOOTH® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

VXM-175VFNi
T A16-0036005
R 005-100996

VXM-175VFEi
T A16-0037005
R 005-100997

VXM-175VFi
T A16-0038005
R 005-100998

VRM-175VFEi
T A16-0039005
R 005-100997

VRM-175VFi
T A16-0040005
R 005-100998

もくじ

本書の読みかた……6

はじめに A-1

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-5
各部の名前……A-8
本機の電源を入れる／切る……A-9
本機の機能制限について……A-11
タッチパネルの操作について……A-12
ディスプレイの角度を調整する……A-14

地図画面 B-1

現在地の地図画面を表示する……B-2
地図画面の操作ボタン／表示内容……B-2
地図画面の表示設定をする……B-5
自車位置設定(現在地の修正)をする……B-9
地図をスクロールする(地図を動かす)……B-10
設定メニューについて……B-11
地図の向きを変える／地図を3D表示にする…B-12
地図の縮尺を変える(拡大／縮小する)……B-13
QUICKメニュー……B-14
右画面表示をする……B-16

目的地を探す C-1

目的地メニューから目的地設定方法を選ぶ……C-2
施設の名称から目的地を探す……C-3
住所で目的地を探す……C-4
目的地履歴の中から目的地を探す……C-5
登録地点の中から目的地を探す……C-5
周辺にある施設から目的地を探す……C-6
地図から目的地を探す……C-7
施設のジャンルから目的地を探す……C-8
郵便番号で目的地を探す……C-9
電話番号で目的地を探す……C-10
マップコードで目的地を探す……C-11
緯度・経度で目的地を探す……C-11
目的地メニューをカスタマイズする……C-12

ルート探索・案内 D-1

ルートを探索する……D-2
自宅を新規登録する……D-4
自宅までのルートを探索する……D-4
ルート案内をストップ／スタートする……D-5
ルート上の渋滞地点を確認する……D-5
経由地をスキップする……D-5
ルートを変更(ルート編集)する……D-6
現在のルート全体を表示する……D-7
現在のルートを保存する……D-8
現在のルートを削除する……D-8
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-8
迂回探索する……D-9
再探索をする……D-10
音声案内の音量を調整する……D-10
ルート探索の設定をする……D-11
表示・音声の案内設定をする……D-15

オーディオ E-1

AUDIOメニューから再生(視聴)する
ソースを選ぶ……E-2
オーディオをON／OFFする……E-3
オーディオの音量を調整する……E-3
オーディオ画面／全画面時計表示に切り換える…E-3
ディスクを挿入する／取り出す……E-4
CDを聞く……E-4
DVDを見る……E-7
DVDの設定をする……E-10
TVを見る……E-13
TVの設定をする……E-18
ラジオで交通情報を聞く……E-19
FM／AMを聞く……E-20
iPodのミュージックを聞く……E-22
iPodのビデオを見る……E-24
iPodの接続……E-25
Music Rackの音楽を聞く……E-26
BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て…E-28
BLUETOOTH Audioを聞く……E-30
SDカードを挿入する／取り出す……E-32
WALKMAN®／USBメモリーを
本機に接続する……E-33
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの
音楽を聞く……E-33
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの
画像を見る……E-36
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの
動画を見る……E-37
外部機器の映像／音声を視聴する……E-38
オーディオ設定をする……E-40
AUDIOメニューをカスタマイズする……E-44

Music Rack(録音と曲管理) F-1

音楽CDを録音する……F-2

録音設定をする……F-4
録音した曲を削除する……F-5
お気に入り登録をする……F-6
ジャケット写真を登録する……F-8
Gracenoteデータベースの更新について……F-9
Gracenoteデータベースを初期化する……F-10
録音した曲のタイトル情報を修正する……F-10
再生しないアルバム／トラックを選ぶ……F-12
Music Rackの使用容量を確認する……F-12

携帯電話との連携 G-1

携帯電話のBLUETOOTH接続……G-2
NaviConを使用する……G-4
Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う……G-6
ハンズフリーで電話する……G-8
ハンズフリーの通話設定をする……G-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……G-14
Apple CarPlayを使う……G-16

その他の機能と設定 H-1

VICS情報を見る……H-2
FM多重放送(VICS受信)の選局をする……H-4
VICS情報の地図表示設定をする……H-5
ETC／ETC2.0の設定をする……H-6
ETC情報を見る……H-7
ドライブレコーダーの操作・設定をする……H-8
記念距離メモリー……H-12
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を
表示する……H-14
フロントカメラ／コーナーカメラの
設定をする……H-15
リアカメラ映像を表示する……H-16
リアカメラdeあんしんプラスを使用する……H-18
パーキングセンサー表示……H-20
カメラについて……H-22
走行軌跡を記録する……H-23
地点登録をする……H-24
自宅／登録地点の編集をする……H-25
自宅／登録地点を削除する……H-28
オプションボタンを設定する……H-28
キー操作音を設定する……H-29
セキュリティ機能を設定する……H-29
後席会話サポート機能を使う……H-30
オーディオリモコンスイッチを使う……H-31
画面の画質調整とサイズ切換をする……H-34
画面を消す……H-35
データを初期化(消去)する……H-36
本体情報を見る……H-36

困ったとき I-1

故障かな？と思ったら……I-2
こんなメッセージが表示されたら……I-19

必要なとき J-1

GPS電波受信と現在地測位……J-2
ルート案内について……J-4
ルート探索について……J-6
VICSについて……J-7
地図ソフトについて……J-10
市街地図の収録エリア……J-14
表示できる施設……J-18
文字入力画面について……J-20
Gracenoteデータベースについて……J-22
ディスクについて……J-24
SDカードについて……J-26
iPodについて……J-27
WALKMAN®／USBメモリーについて……J-28
BLUETOOTHについて……J-30
リア席モニターについて……J-33
音楽ファイルについて……J-34
画像ファイルについて……J-36
動画ファイルについて……J-37
テレビ／ラジオの受信について……J-39
仕様……J-40
初期設定一覧……J-41
別売品(システムアップ)について……J-44
商標などについて……J-46
ソフトウェア、およびオープンソース
ソフトウェアについて……J-48
保証とアフターサービス……J-50
さくいん……J-51

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご確認ください。

A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
MENU	標準キーを表します。
名称	タッチパネルのボタンを表します。

使用上の注意事項など

- **本機の操作**
  - ・運転中の操作は避け、停車して行ってください。
  - ・運転中に画面を注視しないでください。
- **本機の故障、誤動作または不具合によるSDカードやUSBメモリー内などの保存データの消失などについては補償できません。**

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

本書では代表としてVXM-175VFEiのイラスト／画像を記載しています。
機種により機能や操作が異なる箇所には、機種名を記載しています。

VXM-175VFNi：VXM-175VFNi　　VRM-175VFEi：VRM-175VFEi
VXM-175VFEi：VXM-175VFEi　　VRM-175VFi　：VRM-175VFi
VXM-175VFi　：VXM-175VFi

A はじめに

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-5
各部の名前……A-8
本機の電源を入れる／切る……A-9
起動画面を変更する……A-10
本機の機能制限について……A-11
タッチパネルの操作について……A-12
ページ送り／リスト送りをする……A-13
ディスプレイの角度を調整する……A-14

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● **誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

実際の交通規制に従う

道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。交通事故の原因となりますので、必ず実際の交通規制に従って走行してください。

リアカメラシステムは補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する

交通事故の原因となります。

フロントカメラ／コーナーカメラは補助手段として使用し、直接目視による安全確認をしながら運転する

交通事故の原因となります。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

⚠ 警告

分解禁止

本機を分解したり、改造をしない

交通事故・火災・感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

運転者は走行中に本機や携帯電話の操作をしたり、画面を注視しない

交通事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させた状態で行ってください。

車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

ねじなどの小物部品やカード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

⚠ 注意

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをするおそれがあります。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。
  また、TVやDVDなどの映像ソースは走行中は映像表示をせず、音声のみ流れます。
  操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。換気したり暖房したりし車内を適温にしてご使用ください。

結露について

雨のとき、湿度が非常に高いとき、寒いときにヒーターをつけた直後などは本機内部の光学系レンズに結露（水滴）が生じることがあります。このままではレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約１時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が非常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと１時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

使用上のお願い

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 画面にいつも同じ色に光る点やいつも黒い点が現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。
- ディスプレイ表面は傷つきやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

ディスプレイのお手入れについて

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔かく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、硬い布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。

GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布などをかぶせたりしないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布で拭いてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

外部接続機器(iPod／WALKMAN®／USBメモリー／VTR 機器／携帯電話)について

- 外部接続機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 外部接続機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

著作権について

お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSBメモリーなどは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機をHonda車以外の車両や業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、保証対象外となります。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

その他

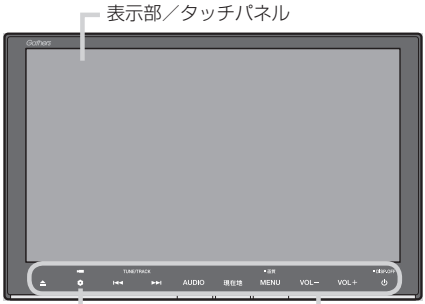
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- バッテリー交換のときなど本機への電源供給が止まると、記憶させた内容の一部は消えてしまいます。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 本機の時計表示は、車両装備の時計と時間表示が異なる場合があります。

各部の名前

ディスプレイを閉じているとき

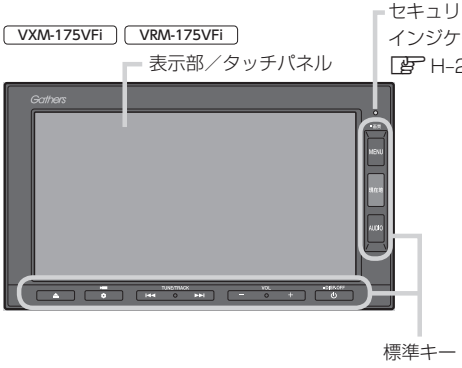
VXM-175VFNi　VXM-175VFEi　VRM-175VFEi

※VXM-175VFNiと、VXM-175VFEi／VRM-175VFEiの画面サイズは異なります。

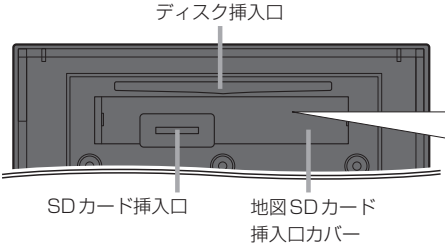


H-29

VXM-175VFi　VRM-175VFi



ディスプレイを開いているとき



＊1…地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。右記の手順で、正しく取り付けてください。

標準キーの主なはたらき

▲キー

ディスプレイを開く／閉じる*1ときに押します。

⚙ボタン（オプションボタン）

オプションボタン画面で設定した機能を動作させます。

⏮／⏭キー

- 選局または選曲をします。
- 押し続けると、早戻し／早送りします。

AUDIOキー

オーディオ画面に切り換えたり、AUDIOメニューを表示します。

現在地キー

現在地の地図画面に切り換えます。

MENUキー

- 目的地メニューを表示します。
  ※DVD再生中は再生操作ボタンを表示します。
- 長押しすると画面／画質調整画面を表示します。

VOL－／VOL＋キー

オーディオ音量／ハンズフリー着信・受話音量／音声案内音量を調整します。
※それぞれの音声が出力中の間、調整できます。

⏻キー

- オーディオをON／OFFします。
- 長押しすると、画面を消して黒画面にします。

地図SDカード挿入口カバーの取り付け／取り外し

＜取り外しかた＞

①地図SDカード挿入口カバーを左にスライドさせる。

＜取り付けかた＞

①地図SDカード挿入口カバーを、くぼみの左端に合わせてはめこむ。
②カチッと音がするまで、右にスライドさせる。

本機の電源を入れる／切る

本機の電源は車のエンジンスイッチと連動します。

電源を入れる	車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れる。
電源を切る	車のエンジンスイッチをロックに入れる。

電源を入れたときに以下の画面が表示されることがあります。

iPhoneの機能選択画面

初めて本機を起動したときに表示されます。 Apple CarPlay ／ iPod から選んでタッチしてください。

Apple CarPlay ····· Apple CarPlay対応のiPhoneをUSB接続ジャック(別売)に接続したとき、Apple CarPlayを利用できる状態にします。

iPod ····· Apple CarPlay対応のiPhoneをUSB接続ジャック(別売)に接続したとき、iPod再生機能を利用できる状態にします。

※本設定は、Apple CarPlay連携機能設定(G-17)で設定しなおすことができます。

セキュリティコード入力画面

バッテリーまたは本機を一度車から外した後に起動した場合、表示されます。
セキュリティコードを入力し、 決定 をタッチしてください。

※セキュリティコード(数字5桁)はセキュリティカードに記載されています。(セキュリティカードは、なくさないよう保管してください。)

ラベルの一番下の行にセキュリティコードが記載されています。

※規定回数間違うと、一定時間操作ができなくなります。
※セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
※セキュリティコードを変更することはできません。
※次回、セキュリティコードを入力せず起動(セキュリティ設定解除)するには H-29

お知らせ

車両やグレードによっては、フレームNo.を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。(セキュリティコード入力画面は表示されません。)

イグニッションONメッセージ画面

セキュリティコードを入力せずに自動的に本機のセキュリティを解除する車両の場合、イグニッションOFF時に下記画面が表示されることがあります。
下記画面が表示されたときは、イグニッションをONにしてください。セキュリティが解除され、本機が起動します。

イグニッションOFFの状態で本機のセキュリティを解除したい場合は、**コード入力画面**をタッチしてセキュリティコードを入力してください。

起動画面を変更する

本機の電源を入れたときに表示される画面を変更できます。

起動画面(例)

準備 **起動画面の画像を弊社Webサイトから入手し、SDカードに取り込んでください。**
※入手先やSDカードへの取り込み方法は、弊社Webサイトのナビゲーションページをご覧ください。

VXM-175VFNiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-175vfni/
VXM-175VFEiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-175vfei/
VRM-175VFEiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-175vfei/
VXM-175VFiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-175vfi/
VRM-175VFiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-175vfi/

1 起動画面の画像を取り込んだSDカードを本機に挿入する。

2 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ その他設定 ➡ 起動画面変更 をタッチする。

3 SDカードから設定する をタッチする。

お知らせ
"Gathers" 画像に戻す をタッチすると、お買い上げ時の起動画面に戻すことができます。

お知らせ
- SDカードに取り込んだ起動画面の画像は、他の用途には使えません。
- 起動画面には弊社Webサイトで提供する専用画像のみ対応しています。

本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記機能が使えない場合があります。
詳しくはお近くのHonda販売店までお問い合わせください。

分　類	機　能	詳　細
時計	車両メーター内時計の連動機能	本機から車両のメーターに時刻情報を送信し、メーター内時計の時刻を合わせて連動させる機能
ルート探索・案内	交差点案内表示	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内の際、交差点案内を表示する機能 ※表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
インターナビ	eco情報	車両に蓄積されたデータをもとに燃費・ガソリン消費量・CO_2排出量などのeco情報を、パーソナル・ホームページで確認できる機能
リアカメラ	ダイナミックガイドライン	ハンドル角度にあわせてリアカメラのガイドラインを変化させる機能 ☞H-16
パーキングセンサー	パーキングセンサー表示	パーキングセンサーと連動し、検知した障害物と車両の距離を表示する機能
その他	記念距離メモリー	総走行距離が指定の距離に到達したときの日時・位置情報等を記録する機能 ☞H-12
	イルミ減光キャンセル機能*1	車両のイルミ減光キャンセル機能に連動し、本機の画面を昼画面輝度に自動で切り換える機能

＊1…車両インストルメントパネル照明が減光しているとき（車両イルミスイッチON状態）、インストルメントパネル照明調整ノブを最大方向に回すと、減光状態が解除される機能。調整ノブの配置など、当機能の詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。

タッチパネルの操作について

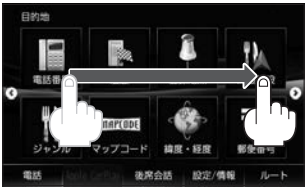
タッチ

画面に軽く触れます。

- 画面に表示されたボタンなどをタッチして本機の操作ができます。

ドラッグ

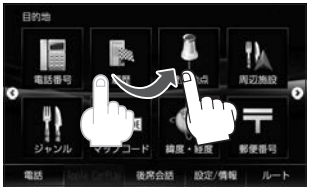
画面をタッチしたまま、なぞるように指を移動します。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面でスクロール操作ができます。

フリック

画面をサッとはらうように指を動かします。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面でスクロール操作ができます。

ピンチ

2本の指で画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。

- 地図画面でつまむようにすると縮小、広げるようにすると拡大します。

2回タッチ

1本の指ですばやく2回画面をタッチします。

- 地図画面で2回タッチすると拡大します。

2点タッチ

2本の指で画面を1回タッチします。

- 地図画面で2点タッチすると縮小します。

タッチパネルの操作は指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面に傷が付いたり、誤動作の原因となります。

タッチパネルのボタンが暗く表示されているときは操作できません

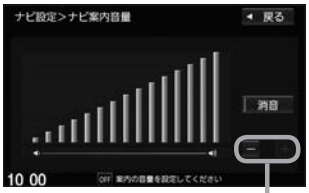
タッチパネルのボタンはタッチしても操作できない状況のとき、暗く表示されます。

操作できない状況の例

- 走行中のため、操作できないようにしている
- ディスク未挿入なので、 CD／DVD がタッチできない
- 設定値が上限に達したため、 ＋ がタッチできない

上記のほか動作条件を満たしていない場合、タッチパネルのボタンは暗く表示され、操作できません。

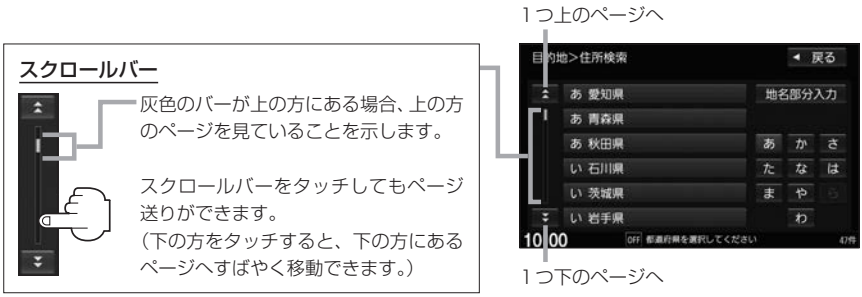
ナビ案内音量画面(例)



－ ：操作可
＋ ：操作不可

ページ送り／リスト送りをする

設定画面やリスト画面などで項目が多い場合、複数のページにわたって表示されることがあります。このような画面では、▲／▼をタッチしてページ送り／リスト送りをしてください。



リスト画面では以下の操作でリスト送りすることもできます

- **ドラッグ／フリックする。**
  ※ドラッグ／フリックできない場合は、リスト画面をしばらくタッチして、▲／▼マークが表示されてから、操作してください。

- **ひらがなボタンをタッチする。**
  一部のリスト画面では、ひらがなボタンが表示され、タッチしたひらがなを頭文字に持つリストまですばやくリスト送りできます。（例えば な をタッチすると、"奈良県"・"新潟県"など"な"行から始まる名称のリストまでリスト送りします。）

住所検索画面（例）

お知らせ

走行中はページ送り／リスト送り操作が制限されます。

▲／▼をタッチしてページ送り／リスト送り

ページ／リストの一番上で ▲ をタッチすると、一番上から一番下へ移動できます。
※BLUETOOTH Audioのトラックリストなど、上記の移動ができない場合があります。

スクロールバーをタッチしてページ送り／リスト送り

- TVのチャンネルリストやBLUETOOTH Audioのトラックリストなど、スクロールバーをタッチしてページ送り／リスト送りできない場合があります。
- BLUETOOTH Audioのトラックリストなどで、スクロールバーに灰色バー表示（全体のどの部分を見ているかの表示）をしない場合があります。

ドラッグ／フリックしてリスト送り

TVソース（チャンネルリストなど）、FM／AMソース（放送局リストなど）、DVDソース（タイトルリストなど）のリスト画面では、ドラッグ／フリックによるリスト送りはできません。
（その他のリスト画面でも、画面をしばらくタッチして▲／▼マークが表示されない場合は、ドラッグ／フリックによるリスト送りはできません。）

ディスプレイの角度を調整する VXM-175VFi VRM-175VFi のみ

ディスプレイの角度を手や工具を使って無理やり調整しないでください。ディスプレイに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

1 ⏏を押す。

2 ▲／▼をタッチする。

※ディスプレイの角度を5段階に調整できます。

お知らせ

- 本機の電源を切ると、ディスプレイは閉じます。
- 角度調整後は、本機を起動したとき調整した角度に自動でディスプレイが開きます。

B
地図画面

現在地の地図画面を表示する……B-2
地図画面の操作ボタン／表示内容……B-2
地図画面の表示設定をする……B-5
自車位置設定（現在地の修正）をする……B-9
地図をスクロールする（地図を動かす）……B-10
設定メニューについて……B-11
地図の向きを変える／地図を3D表示にする…B-12
地図の縮尺を変える（拡大／縮小する）……B-13
QUICKメニュー……B-14
　QUICKメニューを使う……B-14
　QUICKメニューをカスタマイズする……B-14
右画面表示をする……B-16

現在地の地図画面を表示する

1 現在地 を押す。

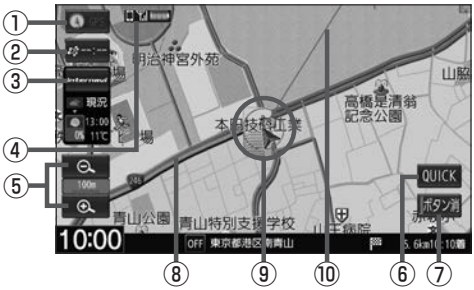
お知らせ

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。現在地の位置が補正されます。

地図画面の操作ボタン／表示内容

現在地画面



スクロール画面

①方位ボタン／GPS受信表示

GPS タッチすると地図表示(向き／3D)を切り換えることができます。

現在地の測位の状態を円の色で示します。
青色：現在地の測位ができている状態です。
灰色：現在地の測位ができていない、または測位計算中です。

お知らせ

測位に時間がかかる場合があり、本機を起動してしばらくはGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

②VICSボタン／VICS情報提供時刻表示

10:00 ルート案内中にタッチすると、地図画面を渋滞／規制地点へ切り換えます。

VICS情報提供時刻を表示しています。

③ internavi ボタン／気象予報アイコン

タッチするとinternavi画面に切り換えます。
internaviウェザーの気象予報を表示しています。
別冊インターナビ・リンク プレミアムクラブ編

④ハンズフリー電話のアイコン

携帯電話を登録して“ハンズフリー”に割り当て設定すると携帯電話アイコンが表示されます。

：ハンズフリーで電話ができる状態
(BLUETOOTH接続中)

：ハンズフリーで電話ができない状態
(BLUETOOTH接続していない)

⑤ ／ ボタン

タッチすると地図を縮小します。
地図の縮尺を示します。
※背景色が茶系色のときは市街地図表示中であることを示し、灰色のときは通常地図表示中であることを示しています。
タッチすると地図を拡大します。

⑥ QUICK ボタン

タッチするとQUICKメニューを表示します。

⑦ ボタン消 ボタン

タッチすると①～⑥の表示を消します。
(タッチするたびに表示⇔非表示が切り換わります。)

地図画面の操作ボタン／表示内容

⑧探索したルート

ルート案内中、探索したルートを表示しています。
（水色:有料道、ピンク色:一般道）

⑨自車マーク

進行方向

自分の車の位置（現在地）と進行方向を示します。
※地図が3D表示のとき、スクロール画面では自車マークを◆で表示

⑩目的地方向表示

ルート案内中、赤い直線で目的地の方向を表示しています。
※スクロール画面では、スクロール先から現在地までを赤い直線で表示しています。

⑪ 微調整 ボタン

スクロールの微調整をします。（平面地図のみ）

⑫ 設定 ボタン

設定メニューを表示します。☞ B-11

⑬情報バー

再生中のオーディオソースマークなどが表示されます。

道路の表示

青色	：高速道路、有料道路
赤色	：国道
緑色	：主要地方道、県道
青色（破線）	：フェリー航路
灰色	：一般道、細街路

※細街路：道幅5.5 m未満の道路

お知らせ

- 建設中の道路など地図ソフト作成時点で未開通の道路は、計画道路（破線）として表示されます。
- 計画道路（破線）はルート探索できません。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。
- 設定や縮尺により、道路の表示がされなかったり、表示色が左記と異なる色で表示される場合があります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
  ※細街路を走行しているときは、細街路を表示します。
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

地図画面の操作ボタン／表示内容

地図表示記号(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署･市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む：分署･支署･出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- デパート・スーパー・ショッピング施設
- スーパーマーケット・その他ショップ
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城・城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ(出入口)
- ランプ(出口専用)
- 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- ウインズ
- ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点

立体アイコン(例)

東京タワー

新宿センタービル

神宮球場

松江城

日本武道館

横浜ランドマークタワー

東京都庁(第一庁舎)

通天閣

原爆ドーム

JR 東京駅

地図画面の表示設定をする

地図画面の表示に関する設定は、QUICKメニューのTUNE画面、ナビ設定の表示設定画面で行うことができます。（設定項目によって設定画面が異なります。）

QUICKメニューのTUNE画面で地図表示設定をする

1 現在地の地図画面で **QUICK** ➡ **TUNE** をタッチする。

2 **マップ** をタッチし、各項目についてボタンをタッチして設定する。

地図色

昼モードの地図色、夜モードの地図色をそれぞれ設定できます。（4パターンから選択）

① どちらのモードの地図色を設定するか **昼** ／ **夜** を選んでタッチする。

② **ノーマル** ／ **道路メイン** ／ **ポップ** ／ **ハイコントラスト** から選んでタッチする。

ノーマル ……標準的な表示
道路メイン ……道路の色を識別しやすい色で表示
ポップ ……地域で色分けをして表示
ハイコントラスト …車内が暗くなったときに見やすくなるよう、色を調整して表示

お知らせ

昼モードと夜モードの切換設定については B-7「昼夜切換」

文字サイズ

地図に表示されている地名などの文字サイズ（**小** ／ **標準**）を設定できます。
※右画面の地図の文字サイズ設定は B-6「名称の文字サイズ」

自車マーク

自分の車の位置を示すマークを変更できます。

地図画面の表示設定をする

ナビ設定の表示設定画面で地図表示設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 表示 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない など)を選んでタッチする。

地図モード

地図表示(向き／3D)を設定できます。

北向き ····· 北方向が常に上に向くよう地図表示

進行方向 ····· 進行方向が常に上に向くよう地図表示

3D ····· 3D地図で表示

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

3D視角調整

地図が3D表示のときの角度を調整できます。

…角度を下げる　…角度を上げる

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

吹き出しを表示

高速道路出入口や主要交差点の名前を吹き出しで表示 する ／ しない を設定できます。

※表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない場所では表示しません。

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

標高地図を表示

縮尺が10 km以上の地図画面では、地形地図で表示 する ／ しない を設定できます。

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

右画面に地図表示

右画面に地図を表示 する ／ しない を設定できます。

名称の文字サイズ

右画面の地図に表示されている地名などの文字サイズ(標準 ／ 小)を設定できます。

※メイン画面の地図の文字サイズ設定は☞ B-5「文字サイズ」

ナビ設定の表示設定画面で地図表示設定をする

昼夜切換

時間連動 ……地図色の昼モード／夜モードを日付・時刻をもとに自動で切り換え
昼 ／ 夜 ……地図色を選んだモード（ 昼 ：昼モード、 夜 ：夜モード）で表示
スモール連動 …地図色を車のライトON／OFFに連動して自動で切り換え
（車のライトON：夜モードで表示、車のライトOFF：昼モードで表示）

標高地図色

標高地図の色を 標準 ／ 春 ／ 夏 ／ 秋 ／ 冬 から選んで設定できます。
※ 季節連動 を選ぶと日付をもとに標高地図色を自動で切り換えます。
（3月～5月：春、6月～8月：夏、9月～11月：秋、12月～2月：冬）

MAPCODEを表示

情報バーにマップコードを表示 する ／ しない を設定できます。（マップコードについて☞C-11）
※マップコードは地図をスクロールすると表示されます。

地図情報を表示

情報バーに表示する地図情報を住所名／道路名のどちらで表示するか設定できます。
住所名 …周辺の住所を表示
道路名 …地図データに収録されている道路を走行しているとき道路名を表示
※道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
※GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出たりする場合もあります。

Audio情報を表示

情報バーに、再生中の曲名やラジオ周波数、放送局名などを表示 する ／ しない を設定できます。
※情報バーにAudio情報が表示されるのは現在地の地図画面のみです。
※BLUETOOTH Audio再生時は曲名が表示されない場合もあります。

緯度・経度を表示

地図画面に、緯度・経度を表示 する ／ しない を設定できます。
※緯度・経度は地図をスクロールすると表示されます。

登録地を表示

地図画面に自宅マークおよび登録地点マークを表示 する ／ しない を設定できます。

時計表示

時計の表示を する ／ しない ／ 映像中はしない から設定できます。
映像中はしない …テレビやビデオなどの動画を全画面表示で見ているときは時計表示しない

地図画面の表示設定をする

ナビ設定の表示設定画面で地図表示設定をする

右画面AVを表示

右画面にオーディオ画面を表示 する ／ しない を設定できます。
※走行中は音声のみとなります。

ランドマーク

下記 “ランドマーク表示” が する のときに、どの施設のランドマークを表示するか設定できます。

① **設定する をタッチする。**

② **リストから表示したい施設のジャンルをタッチして✔印を付ける。**

※ボタンをタッチするたびに✔印の有無が切り換わります。

▶マークがあるジャンルは、そのジャンル内の各施設について個別に表示設定ができます

▶マークのあるジャンルをタッチすると、下記のような画面が表示されるので、ランドマーク表示したい施設をタッチして✔印を付けてください。

全解除 ：ジャンル内の全施設の✔印を消す
全選択 ：ジャンル内の全施設に✔印を付ける

お知らせ

- ランドマークは、縮尺が400 m以下の地図画面で表示されます。
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。

ランドマーク表示

ランドマークを表示 する ／ しない を設定できます。

自車位置

☞ B-9

走行軌跡

☞ H-23

自車位置設定(現在地の修正)をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 表示 をタッチし、
“自車位置” の 修正する をタッチする。

2 地図をスクロールし、自車位置に設定したい場所へカーソル(−┼−)を合わせる。

3 カーソル(−┼−)の位置を確認し、
セット をタッチする。

お知らせ
地図の縮尺は拡大しておくと、より正確な位置の修正ができます。

4 ⟲／⟳をタッチして、
自車マークの角度を修正し、
セット をタッチする。

道路切換 で自車位置を修正する

道路切換 をタッチすると、画面の自車マークを近くの別の道路へ移動させることができます。例えば、一般道に自車マークが表示されているが、実際はすぐ近くの有料道を走行している場合などに利用できます。

※あらかじめQUICKメニューに 道路切換 を設定しておく必要があります。

① 現在地の地図画面で QUICK ➡ 道路切換 をタッチする。

⇨ 道路切換 をタッチ後、しばらく走行すると自車位置が修正(近くの別の道路に移動)されます。

お知らせ

- 道路切換 は自車マークのある道路と実際に走行中の道路が近くにある場合のみ有効です。
- 実際に走行中の道路に自車位置を修正できない場合があります。
- 有料道へ自車位置を修正した場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

地図をスクロールする(地図を動かす)

地図画面をタッチ／ドラッグ／フリックすると、地図がスクロールします。
※走行中はスクロール操作が制限されます。

地図画面をタッチ

タッチした場所が中心になるよう地図がスクロールします。タッチし続けると、スクロールし続けます。

地図画面をドラッグ

指の動きに合わせて、地図がスクロールします。

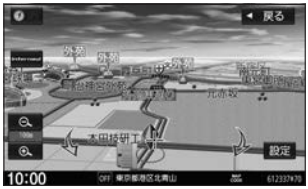
地図画面をフリック

フリックした方向に、地図がスクロールします。

3D表示では地図を回転させることもできます

3D表示の地図をスクロールすると、
↺／↻が表示されます。

↺をタッチ：カーソル(−┼−)を中心に右回転(時計まわり)
↻をタッチ：カーソル(−┼−)を中心に左回転(反時計まわり)



お知らせ

最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図をスクロールして現在の縮尺の地図が収録されていない地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのままスクロールを続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。

微調整する

※3D表示の地図では微調整ができません。

1 地図をスクロールし、 微調整 をタッチする。

2 スクロールしたい方向の矢印をタッチする。

※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。

※ ⛶ 以外をタッチしてもスクロールしません。

※微調整が終了したら 調整終了 をタッチしてください。通常のスクロール画面に戻ります。

設定メニューについて

地図をスクロールすると、カーソル(−┼−)と 設定 ボタンが表示されます。
設定 をタッチすると設定メニューが表示されます。

設定メニュー内のボタンをタッチすると以下の操作を行うことができます。

ここに行く	カーソル(−┼−)の場所を目的地に設定します。
出発地設定	カーソル(−┼−)の場所を出発地に設定します。 ※ 出発地設定 はルート編集で出発地変更する場合に表示されます。
立寄る	カーソル(−┼−)の場所を経由地に設定します。 ※ 立寄る はルート案内している場合にタッチできます。
5ルート	カーソル(−┼−)の場所を目的地に設定して複数ルート探索をします。
自宅登録	カーソル(−┼−)の場所を自宅に登録します。 ※ 自宅登録 は自宅未登録の場合に目的地メニューや地点編集で自宅登録するとき表示されます。
地点登録	カーソル(−┼−)の場所を地点登録します。
地点編集	地点編集 は登録地点にカーソル(−┼−)を合わせた場合に表示され、その登録地点の編集ができます。 ※ 地点編集 は地図が3D表示の場合は表示されません。
周辺検索	カーソル(−┼−)の場所周辺の施設検索ができます。
施設詳細	施設詳細 は施設のランドマークや盗難多発地点にカーソル(−┼−)を合わせた場合に表示され、その施設／盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。 ※ 施設詳細 は地図が3D表示の場合は表示されません。
テナント情報	テナント情報 は市街地図表示のときテナント情報のある施設／ビルにカーソル(−┼−)を合わせた場合に表示され、その施設／ビルのテナントリストや各テナントの詳細情報を見ることができます。 ※ テナント情報 は地図が3D表示の場合は表示されません。
詳細情報	詳細情報 は詳細情報のある地図上のアイコンにカーソル(−┼−)を合わせた場合に表示され、そのアイコンの詳細情報を見ることができます。 ※ 詳細情報 は地図が3D表示の場合や詳細情報が無い場合は表示されません。
閉じる	設定メニューを閉じます。

設定メニューについて

お知らせ

施設の詳細情報について

- 地図データに収録されていない場合は情報表示しません。
- 電話番号の情報がある場合、詳細情報画面に 電話する が表示されます。タッチするとハンズフリーで電話の発信をします。（ハンズフリーで電話ができない状態のときは発信できません。）

テナント情報について

- テナント情報 をタッチすると、テナントリストが表示されます。テナントリストから選んでタッチすると、選んだテナントの詳細情報を表示します。
- 地図データに収録されていない場合は情報表示しません。（テナントリストに１件も表示が無い場合があります。）

地図の向きを変える／地図を3D表示にする

1 **地図画面の方位ボタンをタッチする。**

※タッチするたびに地図画面が切り換わります。

※方位ボタンで下記３種類の表示を切り換えることができます。

北方向が上	北方向が常に上に向くよう地図を表示します。
進行方向が上	車の進行方向が常に上に向くよう地図を表示します。 （走行に合わせて地図が回転します。）
3D表示	地図を3D表示します。 （3D表示では、進行方向が上を向きます。）

お知らせ

- 設定メニュー表示中や目的地検索中などでは、地図の向き／3D表示の切り換えができない場合があります。
- 地図の向きにあわせて方位ボタンの表示が変わります。

北方向が上： GPS　　進行方向が上： GPS

3D表示について

- 画面表示が煩雑にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行われなかったりします。
- 3D表示の角度調整ができます。B-6
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。

地図の縮尺を変える（拡大／縮小する）

※走行中は地図の拡大／縮小操作が制限されます。

1 **地図画面の ／ をタッチする。**

地図の縮尺表示
※縮尺の背景色は市街地図表示のとき茶系色、市街地図でないとき灰色で表示されます。

お知らせ

- ／ をタッチし続けると地図をフリーズームさせることができます。お好みの縮尺になったら指を離してください。
- ／ をタッチすると縮尺バーが表示されます。

ピンチ／2回タッチ／2点タッチしても地図の拡大／縮小ができます

ピンチ

2本の指で地図画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。

つまむようにすると縮小、広げるようにすると拡大します。

2回タッチ

1本の指ですばやく2回画面をタッチします。

2回タッチすると拡大します。

2点タッチ

2本の指で画面を1回タッチします。

2点タッチすると縮小します。

QUICKメニュー

QUICKメニューを使うと、主な機能を少ないタッチ回数で動作させることができます。
また、QUICKメニューの項目は変更することができます。

QUICKメニューを使う

1 現在地の地図画面で QUICK をタッチする。

現在地の地図画面

QUICKメニュー画面(例)

2 QUICKメニューから機能を選んでタッチする。

お知らせ

QUICKメニュー画面の TUNE をタッチすると、ルート探索／案内／地図表示の各設定を行うことができます。
それぞれの操作方法は、ルート探索の設定 D-13／案内の設定 D-19／地図画面の表示設定 B-5 をご覧ください。

QUICKメニューをカスタマイズする

1 現在地の地図画面で QUICK ➡ 設定 をタッチする。

2 “QUICKメニュー配置”から変更したいボタンを選んでタッチする。
※ TUNE ボタンは変更できません。

3 “メニュー候補”から新しく表示させたいメニューを選んでタッチする。

全ボタンのメニュー項目を消します。

QUICKメニューの配置をお買い上げ時に戻します。

手順 2 で選んだボタンのメニュー項目を消します。

メニュー項目の候補

QUICKメニューに配置できるメニュー候補は以下のとおりです。

自宅	自宅を目的地にしてルート探索します。
登録地点	登録地点の中から目的地にする地点を選んでルート探索します。
周辺施設	現在地周辺の施設を検索してルート探索します。
地点を登録	現在地を地点登録します。
登録・履歴消去	本機に登録・設定した内容を初期化します。
右画面表示	地図画面の右側に表示したい画面を選びます。☞B-16
再探索	ルート案内中、探索条件を選んでルートを再探索します。
案内スタート／ストップ	ルート案内を開始／停止します。
ルート編集	ルート編集画面を表示します。
全ルート表示	設定したルートの全体を表示します。
ナビ案内音量	音声案内の音量設定画面を表示します。
渋滞地点	ルート案内中、ルート上の渋滞／規制地点を表示します。☞D-5
VICS文字情報	FM多重放送で受信したVICSの文字情報を表示します。
VICS図形情報	FM多重放送で受信したVICSの図形情報を表示します。
ETC2.0受信情報	ETC2.0で受信したVICS情報を表示します。
ETC情報	本機に接続しているETC／ETC2.0車載器の情報（利用履歴など）を表示します。
走行軌跡	走行軌跡の設定画面を表示します。
ランドマーク表示／非表示	地図画面でのランドマークの表示／非表示を切り換えます。
ランドマーク	どの施設のランドマークを表示するか設定します。☞B-8
道路切換	走行中の道路から付近の別の道路へ自車位置を変更します。☞B-9
リダイヤル	ハンズフリー電話で前回発信した番号に発信します。
携帯電話登録一覧	携帯電話登録一覧画面を表示します。
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除したりします。
画面OFF	画面の表示を消します。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇔夜用を切り換えます。
オプション設定	オプションボタンの設定画面を表示します。
NaviCon友達マップ開始／終了	友達マップの表示を開始／終了します。
NaviCon友達マップ全体表示	現在表示できる友達アイコンを全て表示します。
ドライブレコーダー動画録画	ドライブレコーダーの手動録画を開始／停止します。☞H-8
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影をします。☞H-8

右画面表示をする

※あらかじめQUICKメニューに 右画面表示 を設定しておく必要があります。

1 現在地の地図画面で QUICK ➡ 右画面表示 をタッチする。

2 右画面に表示したいものを選んでタッチする。

右画面表示をやめる

OFF をタッチする。

※ハイウェイモードを右画面に表示している場合は OFF をタッチしても全画面表示に戻りません。 ハイウェイモード をタッチして表示灯を消灯させてください。

お知らせ

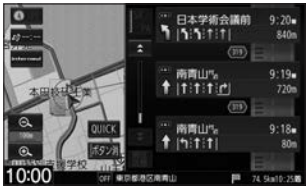
ハイウェイモードについて

ハイウェイモードとは高速道路／一般有料道路走行中のみ有料道路の情報（サービスエリアなど）を右画面に表示するモードです。 ハイウェイモード をタッチして表示灯の点灯⇔消灯を切り換えて設定してください。（点灯：モードON、消灯：モードOFF）

右画面表示は以下の画面から選べます。

地図

ルート情報



※ルート情報はルート案内中のみ表示します。

AV

※オーディオOFFのとき、右画面AV表示はしません。

時計

ハイウェイモード

お知らせ

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- デモ走行中は右画面地図表示⇔全画面表示の切り換えはできません。
- 右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると、全画面に切り換わります。（ 現在地 を押すと右画面表示に戻ります）
- 右画面の地図はスクロールができません。
- ハイウェイモードにしている場合、他の表示項目を選んでいてもハイウェイモードが優先されます。
- ルート案内中に交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、上記で設定した右画面表示よりも交差点拡大図などを優先して表示します。
- ルート情報 を選んでいる場合、 ハイウェイモード はタッチできません。

C
目的地を探す

目的地メニューから目的地設定方法を選ぶ……C-2
施設の名称から目的地を探す ……C-3
住所で目的地を探す……C-4
目的地履歴の中から目的地を探す……C-5
登録地点の中から目的地を探す ……C-5
周辺にある施設から目的地を探す……C-6
地図から目的地を探す……C-7
施設のジャンルから目的地を探す……C-8
郵便番号で目的地を探す ……C-9
電話番号で目的地を探す ……C-10
マップコードで目的地を探す ……C-11
緯度・経度で目的地を探す ……C-11
目的地メニューをカスタマイズする……C-12

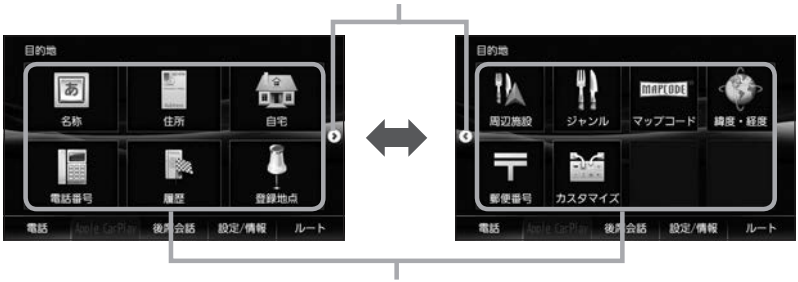
目的地メニューから目的地設定方法を選ぶ

1 MENU を押す。

⇨目的地メニューが表示されます。

2 目的地設定方法を選んでタッチする。

ページ送り／戻しをします。（❮／❯が表示されているときは、
左右にドラッグ／フリックしてもページ送り／戻しができます。）



目的地メニュー

お知らせ

- 目的地設定の各方法の操作は、☞ C-3～C-11 をご覧ください。
- 自宅 の操作は☞ D-4 をご覧ください。
- カスタマイズ をタッチして目的地メニューのカスタマイズができます。☞ C-12
- 走行中はドラッグ／フリック操作ができません。

施設の名称から目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から 名称 をタッチする。

2 目的地の施設名をひらがなで入力し、 検索 をタッチする。

お知らせ
- 濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。
- 入力した名称で検索したとき10,000件以下に絞り込めない場合は 検索 をタッチできません。

3 リストから施設を選んで 決定 をタッチする。

選んだ施設の電話番号
(番号情報がある施設のみ表示します。ハンズフリーで電話が可能な場合は ☎ をタッチすると発信できます。)

選んだ施設の詳細情報を表示します。

選んだ施設の関連施設(駐車場など)や出入口のリストを表示します。

リストの並べ替えや、絞り込みをします

現在地から近い順に表示
① 距離順 をタッチする。

50音順に表示
① 50音順 をタッチする。

地域やジャンルで絞り込む
① 絞込み をタッチする。
②ボタンをタッチし、絞り込み条件を設定する。

地域	都道府県名➡市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル➡施設の種類をタッチ

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 案内スタート をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

住所で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞C-2)から 住所 をタッチする。

2 都道府県名、市区町村名、町名、番地などのリストを順に選んでタッチする。

例えば な をタッチすると、頭文字が“な”行の都道府県の所までリスト送りできます。

住所の一部をひらがな入力して、リストから選ぶこともできます

① 地名部分入力 をタッチする。
②住所の一部をひらがな入力し、 検索 をタッチする。
③リストから選んでタッチする。

入力した地名が含まれるリスト

リストを都道府県で絞り込みます。(リストが全て同じ都道府県の場合は表示されません。)
絞込み をタッチして、都道府県を選んでください。

④町名、番地などのリストが順次表示されるので、選んでタッチしていく。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 案内スタート をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

目的地履歴の中から目的地を探す

1 目的地メニュー(☞C-2)から **履歴** をタッチする。

⇨過去に設定した目的地のリストが表示されます。

※最新のものから順に100か所まで履歴が表示されます。

2 リストから目的地を選んでタッチし、 **決定** をタッチする。

目的地履歴を削除します

履歴の1つを削除する

①リストから削除したい履歴をタッチする。
② **削除** をタッチする。

履歴を全て削除する

① **全削除** をタッチする。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 **ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

登録地点の中から目的地を探す

1 目的地メニュー(☞C-2)から **登録地点** をタッチする。

2 リストから目的地を選んでタッチし、 **決定** をタッチする。

リストの並べ替えや絞り込みをします

フォルダ ：フォルダリストから選んで、選んだフォルダ内の登録地点のみを表示する。
登録順 ：登録した順に並べ替えて表示する。
マーク順 ：マークごとにまとめて表示する。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 **ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

周辺にある施設から目的地を探す

1 周辺施設を検索する場所を選ぶ。

※検索する場所によって、操作が変わります。

現在地周辺の施設を検索	①目的地メニュー(☞C-2)から 周辺施設 をタッチする。 ② 現在地周辺 をタッチする。
ルート沿いにある施設を検索 ※ルート案内中のみ検索可能	①目的地メニュー(☞C-2)から 周辺施設 をタッチする。 ② ルート沿い をタッチする。
目的地周辺の施設を検索 ※ルート案内中のみ検索可能	①目的地メニュー(☞C-2)から 周辺施設 をタッチする。 ② 目的地周辺 をタッチする。
地図をスクロールして表示した場所周辺の施設を検索	①地図画面で地図をスクロールする。 ② 設定 ➡ 周辺検索 をタッチする。

お知らせ

- 現在地周辺／目的地周辺／スクロールして表示した場所周辺を検索する場合は、それぞれの場所から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は、現在地からルートの進行方向にそって10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。

2 検索する施設のジャンル／種類をリストから選んでタッチする。

ジャンル名／施設名を入力してリストを絞り込むことができます

① ジャンル名入力 をタッチする。
②ジャンル名／施設名をひらがな入力し、 検索 をタッチする。

▶マークのあるジャンルをタッチしたときは

①選んだジャンルのリストが表示されるので、リストから検索したい施設の種類をタッチして✔印を付ける。

※ボタンをタッチするたびに✔印の有無が切り換わります。

全解除 ：表示中のリスト全ての✔印を消します。
全選択 ：表示中のリスト全てに✔印を付けます。

☑：検索します。
☐：検索しません。

② 検索 をタッチする。

3 リストから目的地に設定する施設を選んでタッチして、**決定**をタッチする。

選んだ施設の情報アイコン表示
（情報のある場合のみ表示）

選んだ施設がルート沿いの左右どちらにあるか表示（ルート沿い施設検索時のみ表示）

施設までの距離表示
（現在地周辺／ルート沿いで検索時は現在地からの距離、スクロールして表示した場所周辺で検索時はスクロールして表示した場所からの距離、目的地周辺で検索時は目的地からの距離を表示）

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く**をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、**案内スタート**をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

地図から目的地を探す

1 地図画面を表示させる。

※**現在地**を押すなどして地図画面を表示させてください。

2 地図をスクロールしてカーソル(−┼−)を目的地に合わせ、**設定**をタッチする。

カーソル(−┼−)

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く**をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、**案内スタート**をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

施設のジャンルから目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **ジャンル** をタッチする。

2 検索する施設のジャンルをリストから選んでタッチする。

▶マークのあるジャンルをタッチしたときは

選んだジャンルのリストが表示されるので、そのリストから選んでタッチしてください。

ジャンル名／施設名を入力してリストを絞り込むことができます

① **ジャンル名入力** をタッチする。
②ジャンル名／施設名をひらがな入力し、
検索 をタッチする。
※検索候補が100件より多い場合、 **検索** はタッチできません。

3 検索条件を選んでタッチする。

現在地周辺にある施設を検索	**現在地周辺** をタッチ
目的地周辺にある施設を検索	**目的地周辺** をタッチ
ルート沿いにある施設を検索	**ルート周辺** をタッチ
指定した都道府県にある施設を検索	① **都道府県** をタッチ ②都道府県名を選んでタッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
指定した路線上にある施設を検索	① **地域／路線** をタッチ ②地域を選んでタッチ ③路線を選んでタッチ

お知らせ

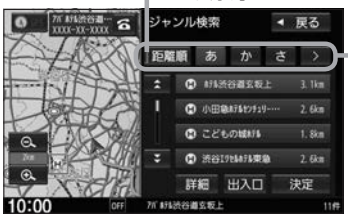
- ルート案内をしていない場合は **目的地周辺** ／ **ルート周辺** は選べません。
- 現在地周辺／目的地周辺を検索する場合は、それぞれの場所から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって10 km以内で、ルートの左右約100 m 以内に存在する施設を最大100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地域／路線** は、 **交通機関** ➡ **高速・都市高速・有料道路施設** ➡ **IC** ／ **SA** ／ **PA** をタッチしたときに選ぶことができます。

IC／SA／PAのうち選んだものを路線で検索できます。

IC／SA／PAをまとめて路線で検索できます。

4 リストから施設名を選び、 決定 をタッチする。

※施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選んでください。



手順 3 で都道府県または地域／路線での検索を選んでいる場合、次の操作が可能です

- **距離順 をタッチ：**
  リストを現在地から近い順に並べ替えます。
  （距離順に並んでいるとき、表示灯が点灯します。）
- **ひらがなをタッチ：**
  例えば な をタッチすると、リストを“な”から始まるリストの所までリスト送りできます。
  ※ 距離順 の表示灯が点灯中はタッチできません。

お知らせ

リストが距離順に並んでいる場合は、ひらがなをタッチしてリスト送りできません。
距離順 をタッチして表示灯を消灯させてから操作してください。

5 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 案内スタート をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

郵便番号で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞C-2)から 郵便番号 をタッチする。

2 郵便番号を入力し、 検索 をタッチする。

お知らせ

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。
- 4桁以上の入力が必要です。
- 入力途中で 検索 をタッチした場合、検索リストが表示される場合があります。その場合はリストから郵便番号を選んでタッチし、 決定 をタッチしてください。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 案内スタート をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞D-2をご覧ください。

電話番号で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **電話番号** をタッチする。

2 電話番号を入力し、 **検索** をタッチする。

※電話番号は市外局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。

入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合

①リストが表示されるので、施設を選んでタッチする。

② **決定** をタッチする。

※さらにリストが表示される場合があります。①、②を繰り返してください。

個人宅の電話番号を入力した場合

文字入力画面が表示されるので、登録者名の名字をひらがなで入力し、 **検索** をタッチする。

⇨入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

※登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点、長音符(−)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。

※登録者名の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。

※個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合があります。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 **ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

マップコードで目的地を探す

※マップコードとは、数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **マップコード** をタッチする。

2 マップコードを入力し、 **検索** をタッチする。

マップコード入力後、 **＊** をタッチし2桁の数字を追加して入力することにより、より高い位置精度で場所を指定できます。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 **ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

緯度・経度で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **緯度・経度** をタッチする。

2 緯度と経度を入力し、 **検索** をタッチする。

※日本測地系の緯度・経度で入力してください。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 **ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始されます。ルートの全表示画面が表示された場合、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

お知らせ

本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

目的地メニューをカスタマイズする

※お好みにカスタマイズできるのは MENU を押して最初に表示されるメニュー画面のみです。

1 目的地メニュー(☞C-2)から **カスタマイズ** をタッチする。
※ **カスタマイズ** をタッチした後、メッセージが表示されますので、 **OK** をタッチしてください。

2 ❮／❯をタッチして、画面に表示されるボタンの数(3～8個)を変更する。

3 各ボタンをタッチして、ボタンを変更する。

4 **決定** をタッチする。

配置をお買い上げ時に戻します。
(ボタンの数は戻しません)

表示されるボタンの数(3～8個)を変更するには
❮／❯をタッチする。
※左右に、ドラッグ／フリックしても変更できます。

ボタンの変更を行うには
①変更したいボタンをタッチする。
②目的地メニュー候補が表示されるので、新しく表示させたいボタンを選んでタッチする。
③ **戻る** をタッチする。

お知らせ

手順 **3** ですでに配置されているボタンをメニュー候補から選んだ場合、そのボタンはもとの位置から指定位置へ移動され、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。
例) **名称** を **電話番号** に変更する場合

電話番号 はすでに配置されています。

メニュー候補から **電話番号** をタッチすると…

もとの **電話番号** は何も配置されていない状態になります。

D
ルート探索・案内

ルートを探索する……D-2
自宅を新規登録する……D-4
自宅までのルートを探索する……D-4
ルート案内をストップ／スタートする……D-5
ルート上の渋滞地点を確認する……D-5
経由地をスキップする……D-5
ルートを変更(ルート編集)する……D-6
現在のルート全体を表示する……D-7
現在のルートを保存する……D-8
現在のルートを削除する……D-8
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-8
迂回探索する……D-9
再探索をする……D-10
音声案内の音量を調整する……D-10
ルート探索の設定をする……D-11
表示・音声の案内設定をする……D-15

ルートを探索する

1 目的地メニュー(☞ C-2)で目的地を探す。

2 設定メニューが表示されたら **ここに行く** をタッチする。

表示中の場所から位置調整したい場合

① **閉じる** をタッチして設定メニューを閉じる。
②地図をスクロールして目的の場所にカーソルを合わせる。
③ **設定** をタッチして、再び設定メニューを表示させる。
④ **ここに行く** をタッチする。

お知らせ

- 手順 **2** で **ここに行く** をタッチ後、ルートの全表示画面が表示された場合は、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。
  ※ルートの全表示画面は探索設定(☞ D-11)で **internaviルート** を選んでいる場合、または“ルートの全表示”(☞ D-15)で **しない** を選んでいる場合は表示されません。

探索したルートの道路の種類や案内区間の距離・料金の情報画面を表示します。

- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。
- 「ルート探索について」☞ J-6もお読みください。

複数ルート探索をするには

探索条件別に最大5ルート探索します。

① ☞上記手順 **2** で、設定メニューの **5ルート** をタッチする。

② 探索条件をタッチしてルートを確認し、**案内スタート** をタッチする。

目的地までのおおよその距離、所要時間、到着予想時刻、有料道路を使用した場合の合計料金(有料道路を通らない場合や、ルートの一部に料金不明な有料道路がある場合は「－－－円」と表示されます。)

お知らせ

- 経由地を設定していると、複数ルート探索はできません。
- 複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。
- 探索条件については☞ D-11

経由地を設定するには

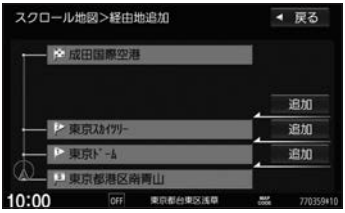
※経由地は5か所まで設定できます。
※最終目的地までのルート探索をしてから、経由地設定を始めてください。

① **目的地メニュー(☞C-2)で経由地を探す。**

② **設定メニュー(☞D-2手順 2)で 立寄る をタッチする。**

③ **経由地を追加したいところの 追加 をタッチする。**

※ルート編集画面(☞D-6)でも経由地の設定が可能です。



デモ走行ができます

探索したルートの走行シミュレーションが
地図画面上でできます。
出発前に前もってルート確認するのに便利です。

① **ルート探索後、** MENU **➡ ルート ➡ 全ルート表示 ➡**
デモ走行 をタッチする。

※デモ走行を終えるには **デモ走行中止** をタッチ、
または MENU を押してください。

お知らせ

- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なるものがあります。(QUICKメニューが操作不可、走行軌跡表示をしないなど)

自宅を新規登録する

ここでは自宅未登録のときに、新規登録する方法を説明しています。
すでに登録した自宅の場所を変更する場合は☞ H-25

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **自宅** をタッチする。

2 自宅を探す方法を選んでタッチし、画面に従って操作していき、
設定メニューが表示されたら **自宅登録** をタッチする。

(例)住所を入力して自宅を登録する場合

①目的地メニューから **自宅** をタッチする。

② **住所** をタッチする。

③都道府県名、市区町村名、町名、丁目などのリストが順次表示されるので、選んでタッチして住所を入力していく。

住所の一部をひらがな入力して、入力した地名が含まれるリストを表示します。

例えば **な** をタッチすると、左のリストを“な”から始まるリストの所までリスト送りできます。

④設定メニューが表示されたら **自宅登録** をタッチする。

設定メニュー

カーソル

表示中の場所から位置調整したい場合

① **閉じる** をタッチして設定メニューを閉じる。
②地図をスクロールして目的の場所にカーソルを合わせる。
③ **設定** をタッチして、再度設定メニューを表示させる。
④ **自宅登録** をタッチする。

お知らせ

自宅を登録すると、地図上にマーク(🏠)が表示されます。
※“登録地を表示”(☞ B-7)を **しない** に設定している場合は表示されません。

自宅までのルートを探索する

現在地から自宅までのルート探索を行います。
※あらかじめ本機に自宅を登録しておく必要があります。

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **自宅** をタッチする。

※ **自宅** をタッチ後、ルートの全表示画面が表示された場合、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合はルート案内を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再度開始させることができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ 案内ストップ または 案内スタート をタッチする。

案内ストップ	ルート案内を停止し、地図画面を表示
案内スタート	前回ルート探索したルート案内を開始

お知らせ
- ルート設定していない場合は選べません。
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは 案内スタート で再開できます。

ルート上の渋滞地点を確認する

※あらかじめ、FM多重放送の選局(☞ H-4)をしてVICS情報を受信しておく必要があります。

1 **現在地の地図画面で、VICSボタンをタッチする。**

⇨渋滞／規制のVICS情報がある場合、地図画面を渋滞／規制地点へ切り換えます。

お知らせ
- 渋滞地点は現在地から前方10 km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- ルート案内を停止している場合、本機能は動作しません。

経由地をスキップする

ルート案内時、立ち寄る必要がなくなった経由地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ 経由地スキップ をタッチする。

⇨次に立ち寄る経由地を通過済みにして再探索が開始されます。

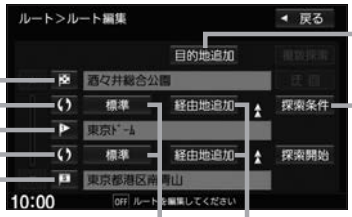
※通過していない経由地が無い場合は 経由地スキップ はタッチできません。

ルートを変更(ルート編集)する

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

2 編集したい項目を選んでタッチする。

ルート編集画面



目的地を変更／削除
経由地と目的地を入れ替え
経由地を変更／削除
出発地と経由地を入れ替え
出発地を変更／削除
各区間の探索条件を変更
目的地を追加
(もとの目的地は経由地になります。)
全区間一括で詳細な探索条件を変更(探索条件 D-11)
各区間に新たな経由地を追加

出発地／経由地／目的地の場所を変更する ※探索条件を internaviルート にしてルート探索した場合は、出発地の変更はできません。	① 変更したい地点の S ／ ▶ ／ 🏁 をタッチして、変更 をタッチする。 ② 場所を探す方法を選んでタッチする。 ③ 画面に従って操作していき*1、設定メニューが表示されたら、出発地設定 ／ 立寄る ／ ここに行く をタッチする。
経由地を追加する／目的地を追加する ※経由地は5か所まで設定できます。 ※目的地を追加した場合、もとの目的地は経由地になります。	① 経由地追加 ／ 目的地追加 をタッチする。 ② 場所を探す方法を選んでタッチする。 ③ 画面に従って操作していき*1、設定メニューが表示されたら、立寄る ／ ここに行く をタッチする。 経由地追加画面(例)
経由地を削除する ※経由地を設定している場合は、出発地／目的地も削除できます。	① 削除したい地点の S ／ ▶ ／ 🏁 をタッチして、削除 をタッチする。 ※出発地／目的地を削除した場合、前後の経由地が出発地／目的地に設定されます。
出発地／経由地／目的地を入れ替える	① 入れ替えたい地点間の ( ) ボタンをタッチする。
各区間の探索条件を変更する	① 探索条件を変更したい区間の探索条件ボタン(上記ルート編集画面例では 標準)をタッチする。 ② 探索条件を選んでタッチする。

＊1…場所を探す各方法の操作については、目的地設定の各説明を参考にしてください。(C-3～C-11)
地図 を選んだ場合は直近に地図表示した場所の地図が、目的地付近 ／ 経由地付近 ／ 出発地付近 ／ 現在地付近 を選んだ場合はそれぞれ選んだ付近の地図が表示されますので、地図をスクロールして場所を探し 設定 をタッチしてください。

3 探索開始 ／ 複数探索 をタッチする。

探索開始	ルート探索が開始されます。 ※探索完了後、ルートの全表示画面が表示された場合、 案内スタート をタッチするとルート案内が開始されます。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大5ルートが表示されます。 好きなルートを選び、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※経由地を設定したときは、 複数探索 は選べません。

お知らせ

経由地の追加について

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

出発地／経由地／目的地の入れ替えについて

- すでに通過した地点の入れ替えはできません。

現在のルート全体を表示する

1 MENU ➡ ルート ➡ 全ルート表示 をタッチする。

⇨出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。

「入口」：最初に乗るICの名称
「出口」：目的地から一番近いICの名称
「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離
「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金
※有料道路を通らない場合や、ルートの一部に料金不明な有料道路がある場合は「－－－円」と表示されます。

設定したルートの道路の種類や案内区間の距離・料金を確認

設定したルートの走行シミュレーションをします。

ルート案内を開始

出発地　設定ルート　目的地

お知らせ

- 3D表示のときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

現在のルートを保存する

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート保存 をタッチする。

お知らせ

- 現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 20個まで保存することができます。

現在のルートを削除する

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート削除 をタッチする。

保存したルートの呼び出し／削除をする

1 MENU ➡ ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

2 保存しているルートを呼び出す／削除する。

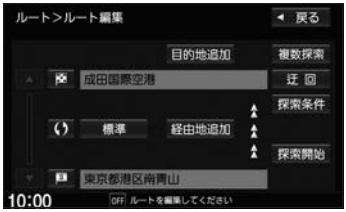
ルートを呼び出す	リストから呼び出したいルートを選んでタッチする。 ⇨保存したときの探索条件でルート探索が開始されます。 ※現在設定中のルートがある場合は削除して、選んだルートを呼び出します。
ルートを削除する	リストから削除したいルートの 🗑 をタッチする。

迂回探索する

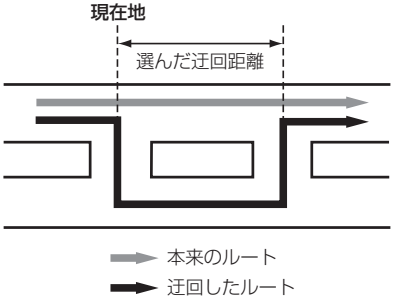
ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

※探索条件を **internaviルート** にしてルート探索した場合は、迂回探索できません。

1 MENU ➡ **ルート** ➡ **ルート編集** ➡ **迂回** を タッチする。



2 迂回距離を選んでタッチする。



お知らせ

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）

再探索をする

※あらかじめQUICKメニューに 再探索 を設定しておく必要があります。

1 現在地の地図画面で QUICK ➡ 再探索 をタッチする。

2 探索条件を選んでタッチする。

お知らせ

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過した経由地は除く。）
- 経由地を設定している場合、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地（現在地）が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

音声案内の音量を調整する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ ナビ案内音量 をタッチする。

2 － ／ ＋ をタッチして調整する。

⇨調整した音量でテスト音声が出ます。

※音声案内が消音に設定されている場合は音量調整できません。

タッチして消音⇔消音解除を切り換えられます。
（表示灯点灯：消音、消灯：消音解除）

お知らせ

音声案内が行われている間は、 VOL－ ／ VOL＋ を押しても音声案内の音量を調整できます。

ルート探索の設定をする

ルートをどのように探索するか設定します。本設定は、ナビ設定の探索設定画面、QUICKメニューのTUNE画面で行うことができます。（設定項目によって設定画面が異なります。）

ナビ設定の探索設定画面で探索設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 探索 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン（ する ／ しない など）を選んでタッチする。

探索条件

標準 ……高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先 ……高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先 ……国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先 ……走行距離が短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先 ……広い道路を通るルートを優先的に探索
internaviルート ……インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索
（複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。）

※有料道路を優先しない探索条件を選んでも、有料道路を使用したルート探索をすることがあります。
※ 距離優先 を選ぶと、細い道路を多く通るルートや、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
※ 距離優先 を選んだ場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
※internaviルートを利用するには、インターナビ・リンク プレミアムクラブに登録する必要があります。
※ルート案内中に探索条件を変更し 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。

自動再探索

ルート案内中に設定ルートから外れてしまった場合、自動でルート再探索を する ／ しない を設定できます。

フェリーを優先

する を選ぶと、ルート探索時にフェリー航路を選びやすくなります。

※出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない（地図データ上に無い）場合は、陸路になります。
※ する を選んでもフェリー航路を優先しない場合があります。
※ しない を選んでもフェリー航路をルートに選ぶ場合があります。陸路のルートに修正したい場合は、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
※フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間や運行状況などをご確認ください。

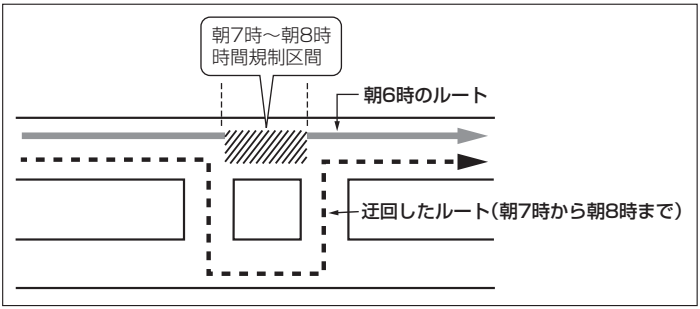
ルート探索の設定をする

ナビ設定の探索設定画面で探索設定をする

時間規制道路を考慮

時間ごとの道路規制を考慮してルート探索を する ／ しない を設定できます。

（例）下記斜線部分に朝７時から朝８時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



ルート探索した時間が朝６時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝７時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

※祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
※細街路の時間規制は考慮されない場合があります。
※実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

VICS自動再探索

ルート案内中、先のルート上に通行止めなどのVICS情報を受信したときに、自動で再探索を する ／ しない を設定できます。

※“VICS考慮”（☞D-14）を しない に設定している場合、本設定は変更できません。
※FM多重放送のVICS情報のみ受信の場合は、規制による自動再探索は行いますが、渋滞による自動再探索は行いません。
※探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

到着予想

複数探索したときやルート案内時に表示される目的地までの到着時刻の予想方法を 自動 ／ 手動 から選んで設定します。

自動 ：VICS情報を利用して到着時刻を予想します。
手動 ：あらかじめ設定した平均速度で各道路を走行するものとして到着時刻を予想します。

手動 を選んだ場合、各道路の ＋ ／ − をタッチして平均走行速度を設定してください。

QUICKメニューのTUNE画面で探索設定をする

1 現在地の地図画面で QUICK ➡ TUNE をタッチする。

2 ルート をタッチし、各項目についてボタンをタッチして設定する。

有料道路優先

5段階で設定します。 高 に設定すると、ルート探索のとき、通る道に有料道路を選びやすくなります。
※探索条件で 標準 を選んで探索した場合のみ有効です。

道幅優先

5段階で設定します。 広 に設定すると、ルート探索のとき、通る道に広い道路を選びやすくなります。
※探索条件で 標準 を選んで探索した場合のみ有効です。

渋滞回避

5段階で設定します。 高 に設定すると、ルート探索のとき、渋滞の道路を避けやすくなります。
※探索条件で 標準 を選んで探索した場合のみ有効です。
※渋滞回避するには別売のETC2.0車載器またはインターナビによりVICS情報を受信する必要があります。

ルート探索の設定をする

QUICKメニューのTUNE画面で探索設定をする

ルート学習

ルート学習のしやすさと、学習結果をルート探索に利用するかどうかを設定します。

しない ……ルート学習をしない。また、学習結果をルート探索に利用しない。

する ／ **アクティブ** ……ルート学習をする。（**アクティブ** は **する** よりもルート学習しやすい）
また、学習結果をルート探索に利用する。

ルート学習について

ルート案内中、本機が案内したルートとは異なるルートを実際に走った場合、自動で再探索をします。同じ道で自動再探索が何度か起きると、本機は実際に走った道を学習し、学習後のルート探索では、学習した道を選びやすくなります。

※探索条件で **internaviルート** を選んでいる場合、ルート学習は無効です。

※ **する** ／ **アクティブ** を選んでも、学習結果をルート探索に利用しない場合があります。
（渋滞情報により自動再探索した場合など）

※ルート学習のデータは次の場合に削除されます。
- ルート学習を初期化した場合（☞H-36）
- ルート学習のデータ容量を超えた場合（学習時期の古いものから削除されます）
- 地図更新を行ったとき

VICS考慮

しない …… VICS情報をルート探索に利用しない。

する …… VICS情報を利用し、道路の規制・渋滞を考慮してルート探索する。

ETC2.0広域 …ETC2.0で受信した広域のVICS情報を利用し、道路の規制・渋滞を考慮してルート探索する。

スマートIC考慮

スマートIC考慮 をタッチし、表示灯の点灯⇔消灯を切り換えて設定します。

点灯…… スマートICの利用を考慮してルートを探索する

消灯…… スマートICを利用しないルートを探索する

※スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- ETCを搭載していない車両は通行できません。

※営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。
- 営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。
- 通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

季節規制考慮

季節規制考慮 をタッチし、表示灯の点灯⇔消灯を切り換えて設定します。

点灯…… 季節ごとの道路規制を考慮してルート探索する

消灯…… 季節規制を考慮しない

表示・音声の案内設定をする

表示・音声の案内に関する設定は、ナビ設定の案内設定画面、QUICKメニューのTUNE画面で行うことができます。(設定項目によって設定画面が異なります。)
また料金表示について、どの車種の料金で表示するか設定できます。

お知らせ

- 各案内(表示・音声)は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていない場所／交差点では、各案内は行われません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、案内された内容が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。
- GPS衛星から電波が受信できなかったりGPSデータの誤差が大きいなどにより現在地が正しく測位ができない場合は、交差点拡大図などの各交差点表示が正常に行われません。
- 連続する交差点間の距離が短い場合は、交差点拡大図などの各交差点表示が行われない場合があります。

車種設定をする

本機の料金表示について、どの車種の料金で表示するか設定します。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ その他設定 ➡ 車種設定 をタッチする。

2 軽自動車 ／ 普通車両 ／ 中型車両 から選んでタッチする。

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 案内 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない など)を選んでタッチする。

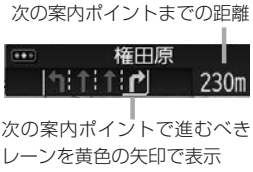
ルートの全表示

する ……ルート探索終了後、ルート全表示にする
※探索条件が internaviルート の場合、ルート全表示されません。
しない ……ルート探索終了後、ルート全表示にしない
※ しない を選んでも、複数ルート探索した後はルート全表示されます。

交差点情報の表示

常時 ……ルート案内中でなくても、交差点に近づくと表示
案内中 ……ルート案内中のみ表示
しない ……表示しない

※ルート案内中、次の案内ポイントまで10 km以上の場合は“みちなり”と表示されます。



お知らせ

ルート案内中、次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

表示・音声の案内設定をする

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

ETCレーンの表示

する ……ルート案内中、料金所の手前でETCレーンを表示する
しない ……ETCレーンを表示しない

※ETCレーン表示は、ETC車載器未接続時でも表示されます。

表示を一時的に消します。
（再び表示するには ◀ をタッチ）

JCTビューの表示

する ……ルート案内中、高速道路や都市高速道路のJCT分岐や都市高速道路の出口（ランプ）に近づいたとき、その付近の案内図を表示する
しない ……上記の案内図を表示しない

表示を一時的に消します。
（再び表示するには ◀ をタッチ）

ルート情報の表示

する …… ルート案内中、ルート情報を表示
しない …… ルート情報を表示しない

ハイウェイモードの表示

する …… 高速道路／一般有料道路を走行中のみハイウェイモードを表示
しない …… ハイウェイモードを表示しない

※“ルート情報の表示”で **する** を選ぶと、本設定は変更できません。

タッチして表示灯を点灯させると、サービスエリア／パーキングエリアに絞って表示します。
※高速道路または有料道路を走行中でないとき、サービスエリア／パーキングエリアの情報がないときはタッチできません。

特徴や施設情報などの詳細情報を表示します。
※ **詳** は情報が収録されている所のみで表示します。
※走行中は詳細情報を表示できません。

経由地や各ポイントなどへの到着時刻や距離

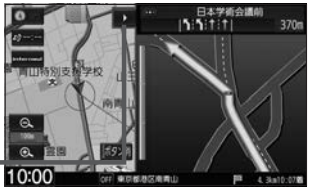
現在の区間に戻ります。

VICS情報（渋滞情報を線の色で、規制情報をVICSマークで表示します。）

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

交差点拡大図の表示

する ……ルート案内中、主要な交差点に近づいたときに交差点の拡大図を表示する
しない ……交差点の拡大図を表示しない



表示を一時的に消します。
（再び表示するには ◀ をタッチ）

リアル3D表示

する ……ルート案内中、主要な交差点に近づいたときに交差点の3D表示をする
しない ……交差点の3D表示をしない

表示を一時的に消します。
（再び表示するには ◀ をタッチ）

お知らせ

リアル3D表示について

ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点（立体的デザイン）を表示します。

方面看板の表示

常時 ……交差点に近づくと表示
案内中 ……ルート案内中のみ表示
しない ……表示しない

表示を一時的に消します。
（再び表示するには ◀ をタッチ）

目的地方向を表示

する ……ルート案内中、現在地の地図画面に目的地の方向を示す赤い直線を表示する
しない ……目的地の方向を示す赤い直線を表示しない

Audio画面中の案内割込み

する ……オーディオ画面表示中に左折や右折などのルート案内情報がある場合、ルート案内画面へ切り換える
しない ……ルート案内画面へ切り換えない
※割り込み直前にキーを押したりボタン操作を行うと、画面が切り換わらない場合があります。

右画面AV中の案内割込み

する ……右画面AV表示中に左折や右折などのルート案内情報がある場合、ルート案内画面へ切り換える
しない ……ルート案内画面へ切り換えない

表示・音声の案内設定をする

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

EWS(緊急情報)の割込み

する……EWS(☞E-13)受信時に、EWSへ自動切り換えをする
しない……EWSへ自動切り換えをしない

案内出力スピーカー

音声案内を 左前 ／ 右前 どちらのスピーカーから出力するか設定できます。

専用レーン案内

する……左折または右折の専用レーンがある場合に音声でお知らせを行う(ルート案内中のみ)
しない……お知らせを行わない

高速走行時の音量切換

する……走行速度が速くなると、音声案内の音量を自動で上げる
しない……自動で音量を上げない

VICS案内

する……渋滞／規制のVICS情報を受信すると、渋滞／規制情報を音声案内する
しない……渋滞／規制情報を音声案内しない

トンネル出口案内

する……トンネル出口の音声案内をする
しない……トンネル出口の音声案内をしない

QUICKメニューのTUNE画面で案内設定をする

1 現在地の地図画面で **QUICK** ➡ **TUNE** をタッチする。

2 **ガイダンス** をタッチし、各項目についてボタンをタッチして設定する。

分岐案内頻度

低 ／ **中** ／ **高** をタッチして設定します。低く設定するほど、案内ポイントに近づいたとき、そのポイントについて案内する回数を少なくできます。

（例）高速道路のジャンクションに近づくと、 **高** だと３回案内しますが、 **低** だと１回のみ案内します。

※本設定が有効となる案内ポイントは、目的地・踏切・有料道路の出入口およびジャンクション・料金所・フェリー乗り場・一般道の右左折のみです。

合流案内

常時 ……高速道路で合流地点が近くなると、音声案内をする
案内中 ……ルート案内中のみ、高速道路で合流地点が近くなると、音声案内をする
しない ……音声案内をしない

踏切案内

常時 ……踏切が近くなると、音声案内をする
案内中 ……ルート案内中のみ、踏切が近くなると、音声案内をする
しない ……音声案内をしない

E
オーディオ

AUDIOメニューから再生(視聴)する
ソースを選ぶ …… E-2
オーディオをON／OFFする …… E-3
オーディオの音量を調整する …… E-3
オーディオ画面／全画面時計表示に
切り換える …… E-3
ディスクを挿入する／取り出す …… E-4
CDを聞く …… E-4
CD再生画面のタイトル情報について …… E-6
DVDを見る …… E-7
DVDの設定をする …… E-10
再生言語の設定 …… E-10
ダイナミックレンジ圧縮の設定 …… E-12
視聴制限レベルの設定 …… E-12
TVを見る …… E-13
TVの設定をする …… E-18
ラジオで交通情報を聞く …… E-19
FM／AMを聞く …… E-20
iPodのミュージックを聞く …… E-22
iPodのビデオを見る …… E-24
iPodの接続 …… E-25
Music Rackの音楽を聞く …… E-26
BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て … E-28
BLUETOOTH Audio機器を再生するための
準備 …… E-28
登録した機器の一覧を見る …… E-29
本機のBLUETOOTH情報を確認する …… E-29
BLUETOOTH Audioを聞く …… E-30
SDカードを挿入する／取り出す …… E-32
WALKMAN®／USBメモリーを本機に
接続する …… E-33
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの
音楽を聞く …… E-33
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの
画像を見る …… E-36
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの
動画を見る …… E-37
外部機器の映像／音声を視聴する …… E-38
外部機器の接続について …… E-38
外部機器の映像を見る／音声を聞く …… E-39
オーディオ設定をする …… E-40
AUDIOメニューをカスタマイズする …… E-44

AUDIOメニューから再生(視聴)するソースを選ぶ

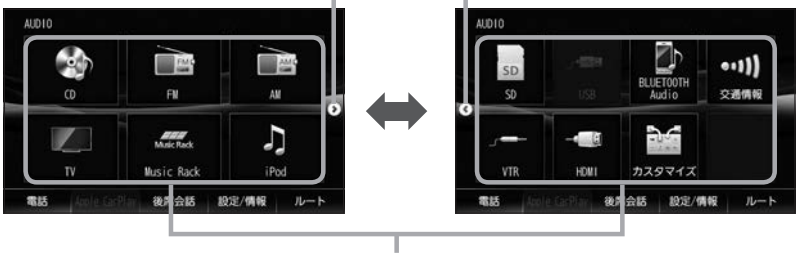
1 **AUDIO を押す。**

⇨AUDIOメニューが表示されます。

※再生中のオーディオ画面に切り換わる場合があります。この場合は、再度 AUDIO を押してください。

2 **再生(視聴)するソースを選んでタッチする。**

ページ送り／戻しをします。(❮／❯が表示されているときは、
左右にドラッグ／フリックしてもページ送り／戻しができます。)



AUDIOメニュー

お知らせ

- カスタマイズ をタッチしてAUDIOメニューのカスタマイズができます。E-44
- 走行中はドラッグ／フリック操作ができません。

オーディオをON／OFFする

1 ⏻ を押す。

⇨オーディオのON／OFFが切り換わります。

お知らせ

- CD録音中の場合、CDソースをOFFにしても録音は継続されます。
- BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、オーディオをOFFしたり本機の電源を切ったりしても、再生を継続するものがあります。電池の消費などが気になる場合には、機器側で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

オーディオの音量を調整する

1 オーディオ再生中に VOL－ ／ VOL＋ を押す。

音量表示
（音量調整中に表示）

お知らせ

- オーディオOFFのときは音量調整できません。
- DVD、BLUETOOTH Audio、VTR、リアモニタHDMI、HDMI*1ソースは個別に音量調整できます。

消音（ミュート）するには

⚙（オプションボタン）にミュート機能を設定（☞ H-28）している場合は、 ⚙ を押すと音を消すことができます。消音（ミュート）を解除するには再度 ⚙ を押してください。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ

オーディオ画面／全画面時計表示に切り換える

地図画面をオーディオ画面に切り換える

1 AUDIO を押す。

※オーディオOFFの場合はAUDIOメニューが表示されます。

オーディオ画面を全画面時計表示に切り換える

1 オーディオ各ソースの画面で 切換 をタッチする。

※画像／映像を再生するソース、TV、HDMI、VTRソースの場合は切り換えることができません。

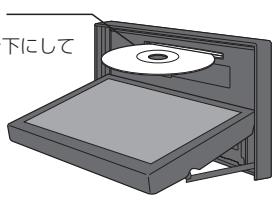
※オーディオ画面に戻すには、画面をタッチし（⇨ 切換 ボタンが表示）、 切換 をタッチしてください。

ディスクを挿入する／取り出す

ディスクを挿入する

1 ⏏ ➡ **OPEN** をタッチする。
⇨ディスプレイが開きます。

2 ディスク挿入口にディスクを挿入する。
※挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。



ディスクを取り出す

1 ⏏ ➡ **DISC EJECT** をタッチする。
⇨ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す。

3 ⏏ を押して、ディスプレイを閉じる。

⏏ を押すと表示される画面

DISC-IN＊1 ：ディスク挿入済
NO-DISC＊1：ディスク未挿入

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気をつけください。
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ表示

CDを聞く

1 ディスクを挿入する。☞上記

▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し
再生時間
タイトル情報

CD再生画面（♪ タッチ時）

各種マーク
・イコライザー設定マーク
・サラウンド設定マーク
・再生モードマーク
・再生ファイルマーク
（MP3／WMA再生時のみ）

お知らせ

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。（自動録音／手動録音は変更できます。☞F-4）
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから **CD** をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

CDを聞く

選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	⏮／⏭を押す。
トラックリストから曲を選ぶ	① ☰をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。 お知らせ MP3／WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。
前の／次のフォルダを再生する*1	フォルダ⊖／フォルダ⊕をタッチする。

☰：トラックリスト表示にします。
♪：タイトル情報表示にします。
フォルダ⊖：前のフォルダに戻します。*1
フォルダ⊕：次のフォルダに進めます。*1

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。
※⏮／⏭を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

リピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モードをタッチする。

2 リピート／ランダム／スキャンを選んでタッチする。

※リピートはタッチするたびに、リピートトラック／リピートフォルダ*1／リピート解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。

再生モード名	動　作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
リピートフォルダ*1	選曲中のフォルダ内で繰り返し再生
ランダム	音楽CD再生時　：ディスク内の曲をランダム再生 MP3／WMA再生時：選曲中のフォルダ内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

＊1…MP3／WMA再生時のみ有効です。
＊2…VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEiの場合

CD再生画面のタイトル情報について

本機は挿入された音楽CDのタイトル情報(トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル分類)をCD再生画面に表示することができます。
本機はGracenoteデータベースを持っています。音楽CDが挿入されたとき、本機データベースとの照合を行い、ヒットすればCD再生画面にトラック名などのタイトル情報を表示します。

お知らせ

- 全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
- 音楽CDにCD-TEXT情報がある場合、タイトル情報はCD-TEXT情報で表示されます。(ジャンルは空欄となります。)
  ※市販されているほとんどの音楽CD にはCD-TEXT 情報は入っていません。
- 音楽CDにCD-TEXT情報がなく本機データベースにもヒットしなければ、アーティスト名／アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(録音曲選択画面では“トラックXX”、XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。

タイトル情報が適切に表示されていない場合は、挿入したCDが新譜などのため本機データベースに情報が無い、または間違ったタイトル情報を取得してしまった可能性があります。
オンライン検索(☞下記)、またはパソコンを利用したデータベース更新(☞F-9)を行ってください。

オンライン検索をする

インターナビ・データ通信USBを使用して、オンラインでGracenote音楽認識サービスより新タイトル情報を取得できます。

1 CD再生画面で オンライン検索 をタッチする。

⇨インターナビ・データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功すると現在挿入中の音楽CDのタイトル情報を取得します。
※タイトル情報を取得すると、CD再生画面および本機データベースのタイトル情報を更新します。
※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に 中止 をタッチしてください。(タイトル情報更新中に 中止 は選べません。)

お知らせ

- 本操作によるオンライン検索はすでに録音した曲のタイトル情報の取得／更新はできません。すでに録音した曲のオンライン検索をするには☞F-10
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
  ・接続しているインターナビ・データ通信USB の圏外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 発売後間もない新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報の検索結果が複数ある場合は、どのタイトル情報に更新するか選んでください。

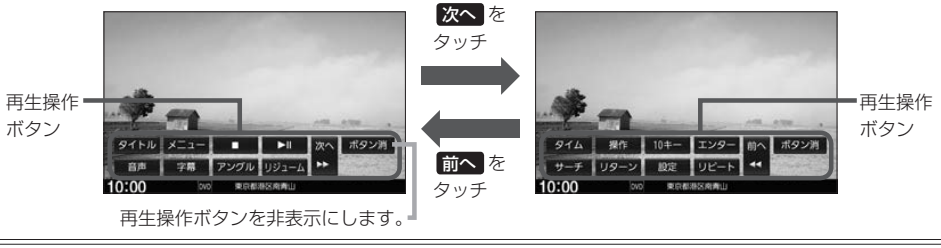
DVDを見る

1 ディスクを挿入し(☞E-4)、AUDIOメニュー(☞E-2)から DVD をタッチする。

⇨再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。

再生操作ボタン

DVD再生中に MENU を押すと再生操作ボタンが表示されます。



お知らせ

ディスクによって、特定の操作を禁止している場合があります。この場合、再生操作ボタンをタッチしても実行できません。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※⏮／⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

停止する

1 再生操作ボタンの ■ をタッチする。

※再生中に ■ をタッチして停止した場合、再生を止めた位置をメモリーしているので、続きから再生できます。(ディスクによってはメモリーしません。)

停止画面

DVD設定画面を表示します。
※DVD設定を行った場合、続き再生が解除される場合があります。

続き再生を解除します。

再生します。

一時停止する／再生する

1 再生操作ボタンの ▶II をタッチする。

※一時停止中に ▶II をタッチすると再生に戻ります。

スロー戻し／スロー送りする

1 一時停止中に ⏮／⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※⏮／⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

※VRモードのDVDではスロー戻しができません。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

チャプター戻し／チャプター送りする

1 ⏮／⏭を押す。

画面表示を切り換える

1 再生操作ボタン(☞E-7)の**タイム**をタッチする。

※タッチするたびに画面表示が切り換わります。
下記3通りの画面表示から選んでください。

- 再生時間を表示
- タイトル番号・チャプター番号を表示
- 画面表示しない

画面表示(再生時間表示の例)

お好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

1 再生操作ボタン(☞E-7)の**サーチ**をタッチする。

2 **切換**をタッチして、画面表示を切り換える。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)が切り換わります。

タイトル番号を入力	“TITLE：__/XX”を画面表示させる。
チャプター番号を入力	“CHAPTER：__/XXX”を画面表示させる。

3 **0**～**9**をタッチして、タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※画面表示が表示されている間に入力してください。
画面表示はしばらくすると消えます。消えた場合は再度操作をやり直してください。

4 **実行**をタッチする。

お知らせ

ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力した場合は実行できません。

リピート再生する

1 再生操作ボタン(☞E-7)の**リピート**をタッチする。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)とともにリピート設定が切り換わります。

再生中のチャプターを繰り返し再生する	“CHAPTER REPEAT”を画面表示させる。
再生中のタイトルを繰り返し再生する	“TITLE REPEAT”を画面表示させる。
繰り返し再生しない	“REPEAT OFF”を画面表示させる。

お知らせ

- ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し／早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。
- ディスクによっては、リピート設定してもリピート再生しない場合があります。

音声言語／字幕言語／アングルを切り換える

1 **再生操作ボタン(☞E-7)の 音声 ／ 字幕 ／ アングル をタッチする。**

※タッチするたびに音声言語／字幕言語／アングルが切り換わります。

お知らせ

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り換えてください。
- ディスクによっては、再生操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り換えができないものがあります。その場合は、DVDメニューやDVD設定の言語設定で切り換えてください。

タイトルメニュー／DVDメニューを表示する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 **再生操作ボタン(☞E-7)の タイトル ／ メニュー をタッチする。**

タイトル：タイトルメニューを表示　　メニュー：DVDメニューを表示

タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

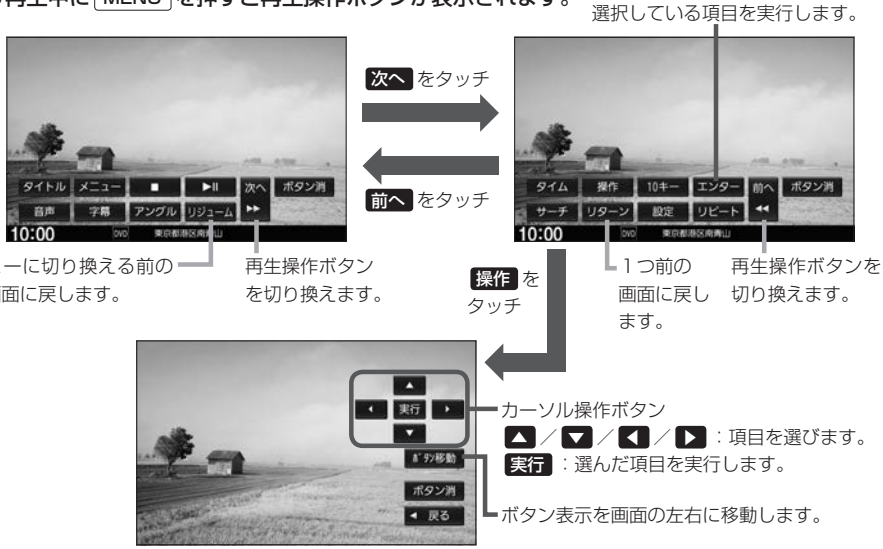
1 **タイトルメニュー／DVDメニューでメニュー項目をタッチする。**

※再生操作ボタンが表示されている場合は、ボタン消 をタッチして再生操作ボタンを消してください。

※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。その場合は、画面にカーソル操作ボタンを表示させて操作してください。

再生操作ボタンとカーソル操作ボタン

DVD再生中に MENU を押すと再生操作ボタンが表示されます。



タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

1 再生操作ボタン(☞E-7)の**タイトル**／**メニュー**をタッチする。

タイトル：タイトルリストを表示　　**メニュー**：プレイリストを表示

※VRモードディスクにプレイリストが無い場合、**メニュー**をタッチしてもプレイリストは表示されません。

2 リストから再生したいものを選んでタッチする。

タイトルリスト表示(例)

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示します。

タイトルリスト／プレイリストを切り換えます。

DVDの設定をする

※DVD設定をすると、設定内容によっては続き再生が解除される場合があります。

再生言語の設定

1 再生操作ボタン(☞E-7)の**設定**➡**言語設定**をタッチする。

2 音声言語／字幕言語／メニュー言語それぞれについて、言語を選んで設定する。

言語コードを入力して再生言語を指定する	言語表示のボタンをタッチし、 言語コード(☞E-11)を入力して**決定**をタッチする。 ⇨設定後、ボタンが設定言語名で表示されます。
ディスクで優先されている言語で再生する	**オリジナル**をタッチする。
字幕を表示しない	**OFF**をタッチする。

言語表示
(言語コードで設定する場合にタッチ)
※**オリジナル**または**OFF**に設定されている場合は“言語を選択”と表示します。

各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

- 言語コード入力のとき、入力した数字を修正するには**クリア**をタッチして数字を再度入力してください。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

言語コード表

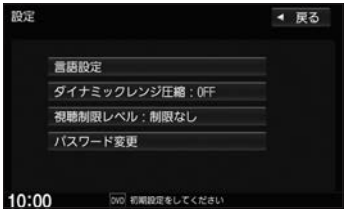
コード		言　語	コード		言　語	コード		言　語
1027	AA	アファル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブハジア語	1245	IK	Inupiak 語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RW	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スンダ語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	（アファン）オロモ語	1587	VO	ボラピュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ＝ロマン語			

DVDの設定をする

ダイナミックレンジ圧縮の設定

本設定をONにすると、ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に、最小音と最大音の音量差を縮めて再生します。小さい音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

1 再生操作ボタン(☞E-7)の
設定 ➡ ダイナミックレンジ圧縮 をタッチする。



2 ON ／ OFF を選んでタッチする。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

1 再生操作ボタン(☞E-7)の 設定 ➡ 視聴制限レベル をタッチする。

2 設定したい視聴制限レベル(レベル1 ～ レベル8 ／ 制限なし)を選んでタッチする。

3 視聴制限のパスワードを入力し、 決定 をタッチする。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
※パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

視聴制限のパスワードを変更する

1 再生操作ボタン(☞E-7)の 設定 ➡ パスワード変更 をタッチする。

2 “現在のパスワード”／“新しいパスワード”／“パスワード再入力”をそれぞれ入力し、 決定 をタッチする。

お知らせ
- パスワード入力のとき、入力した数字を修正するには クリア をタッチして数字を再度入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、“現在のパスワード”に“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限できません。

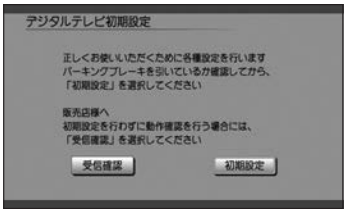
TVを見る

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から **TV** をタッチする。

TVの初期設定を行う

TVを見るには初期設定が必要です。初期設定していない場合は初期設定画面が表示されます。

初期設定画面



1 **初期設定** をタッチする。

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** をタッチする。

3 お住まいの都道府県を選んでタッチする。

※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。

・伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合：**沖縄・その他の島部** ➡ **東京都島部** をタッチ

・南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合：**沖縄・その他の島部** ➡ **鹿児島県島部** をタッチ

4 **次へ** をタッチする。

5 表示された地域を確認して、**決定** をタッチする。

6 各チャンネル番号の放送局名を確認して、**決定** をタッチする。

※各チャンネルに設定されている放送局を変更するには、▲／▼をタッチして、修正したいチャンネルにカーソルを合わせ、◀／▶をタッチして放送局を選んでください。

7 **終了** をタッチする。

お知らせ

引っ越しなどで受信地域が変更になった場合は、初期設定項目の変更を行ってください。
郵便番号設定／県域設定／ホームチャンネル設定☞E-18

緊急警報放送について

緊急警報放送(EWS：Emergency Warning System)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

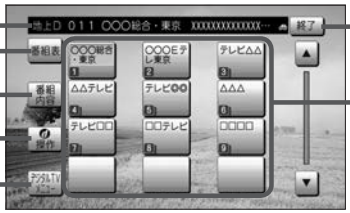
緊急警報放送(EWS)を受信したら、自動的に緊急警報放送に切り換わります

・緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り換えてください。
・視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り換わりません。
・走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
・TVソース以外のソースを選んでいても緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り換わることがあります。

選局パネルとデジタルTVメニュー

TV視聴中に画面をタッチすると選局パネルが表示されます。
選局パネルで デジタルTVメニュー をタッチするとデジタルTVメニューが表示されます。

選局パネル



視聴中の番組
番組表を表示します。
視聴中の番組の内容を表示します。
カーソルパネルを表示します。
デジタルTVメニューを表示します。
TV画面に戻します。
チャンネルリスト（タッチして選局できます。）

デジタルTVメニュー

12セグ／ワンセグの切り換え
チャンネルリストのホーム用／おでかけ用の切り換え
おでかけ用チャンネルリストの設定
放送局一覧画面を表示します。
情報／設定画面を表示します。
音声や字幕などの切り換え画面を表示します。

ホームモード／おでかけモードを切り換える

1 デジタルTVメニュー（☞上記）で、 ホーム ／ おでかけ を選んでタッチする。

お知らせ

本機のチャンネルリストには、ホーム用とおでかけ用の2つがあり、 ホーム ／ おでかけ をタッチすることでチャンネルリストが切り換わります。おでかけ用リストは次の特徴があります。

- 車が移動すると現在地に合わせて自動的にチャンネルリスト変更が行われます。
- おでかけ用チャンネルリストでは、ホーム用チャンネルリストの放送局と同じ系列局は、同じチャンネル番号に設定されます。（例えば、移動先でホーム用の1chの系列局が見つかった場合、本来のチャンネル番号に関わらず、1chに設定されます）

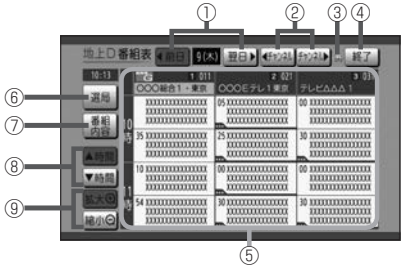
おでかけモードのチャンネル設定をする

1 デジタルTVメニュー（☞上記）で、
エリア ／ 初期スキャン ／ 再スキャン を選んでタッチする。

エリア	車が移動したとき、おでかけ用チャンネルリストを自動的に変更するかを設定します。（表示灯点灯：自動変更、消灯：自動変更しない）
初期スキャン	現在地で受信できる放送局をスキャンし、リストを上書きします。
再スキャン	スキャンをして、新たに受信できる放送局が見つかった場合、リストに追加します。（リストの削除・上書きは行いません。）

番組表を見る

1 選局パネル(☞E-14)の 番組表 をタッチする。



① 前日・翌日に切り換え(過去の日は表示できません。)
② チャンネルの変更
③ ホームモード／おでかけモードマーク
④ 番組表画面を消す
⑤ 番組表(タッチすると選んだ番組の番組内容を表示)
⑥ 選局パネルを表示する
⑦ 視聴中の番組の内容を表示する
⑧ 時間帯の変更(過去の番組は表示できません。)
⑨ 番組表の拡大／縮小

お知らせ

- 番組表表示形式の設定(☞E-18)をすると、1つの放送局(チャンネル)に複数の番組がある場合に、1番組のみ表示するか、全番組を表示するかを選択できます。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

視聴予約をする

1 番組表から視聴予約したい番組を選んでタッチする。

⇨番組内容画面が表示されます。

2 視聴予約 をタッチする。

番組内容画面

番組属性の表示に切り換えます。
番組内容の表示に切り換えます。

すでに放送が始まっている番組を選んだ場合は 今すぐ見る が表示されます。(今すぐ見る をタッチすると、TV画面に切り換わります。)

お知らせ

- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に別のチャンネルの予約番組が始まると、予約番組に切り換わります。
- 他のソース使用中に予約番組が始まると、自動でTVソース(予約番組)に切り換わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約番組に切り換わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約番組が終了しても、予約番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- 自動受信以外の受信モード(ワンセグ／地上D)で予約した場合、異なる受信モードの視聴予約は実行できません。(例：ワンセグ番組を視聴予約していて、予約開始時間に地上Dモードにしていた)
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

選局する

チャンネルを1つずつ進めたり戻したりする	⏮／⏭を押す。
チャンネルリストから選局する	選局パネル(☞E-14)のチャンネルリストから選んでタッチする。

地上デジタル(12セグ)／ワンセグを切り換える

1 デジタルTVメニュー(☞E-14)で、
“受信モード”の 自動切換 ／ ワンセグ ／ 地上D をタッチする。

自動切換	電波の受信状況により、12セグ／ワンセグを自動で切り換え
ワンセグ	ワンセグを受信
地上D	12セグを受信

信号切り換えを行う

1 デジタルTVメニュー(☞E-14)で、 信号切換 をタッチする。

2 各項目を設定する。

マルチビュー	視聴中のチャンネルで主番組と副番組が放送されている場合、◀／▶で切り換え
映像	視聴中の番組に複数の映像がある場合、◀／▶で切り換え
音声	視聴中の番組に複数の音声がある場合、◀／▶で切り換え
二重音声	音声多重放送の場合、◀／▶で切り換え
字幕	字幕の言語をタッチして選択(表示しない ：字幕を表示しない)
文字スーパー	文字スーパーの言語をタッチして選択(表示しない ：文字スーパーを表示しない)

視聴予約を確認する／削除する

1 デジタルTVメニュー(☞E-14)の
情報／設定 ➡ 視聴予約 をタッチする。

視聴予約を削除する

①視聴予約リストから削除したい番組を選んでタッチし✔印を付ける。

※タッチするたびに✔印が表示⇔非表示になります。

② 取消 をタッチする。

視聴予約リスト

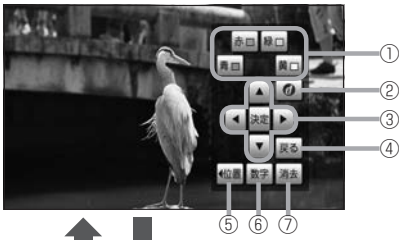
☑：視聴予約リストから削除します。
☐：視聴予約リストから削除しません。

カーソルパネルを表示する（データ放送を見る）

1 選局パネル（☞E-14）の d操作 をタッチする。

⇨カーソルパネルが表示されます。

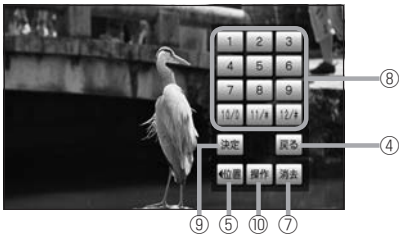
カーソルパネル



操作 をタッチ

数字 をタッチ

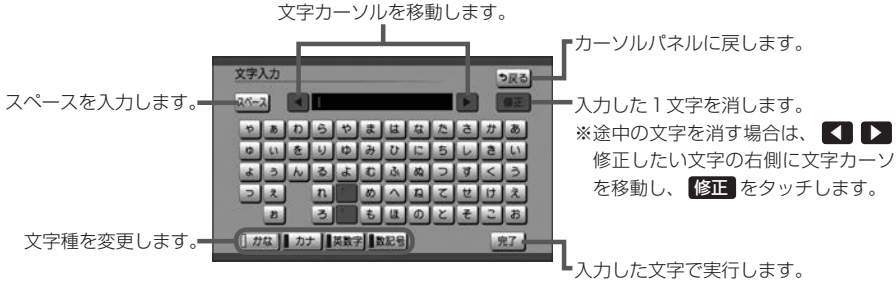
数字パネル



① 色ボタン
② データ放送を表示
（データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻る）
③ データ放送画面内の項目を選択／実行
④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
⑤ カーソルパネル／数字パネル表示位置の変更（画面左／右）
⑥ 数字パネルに切り換え
⑦ カーソルパネル／数字パネルを消す
⑧ 数字ボタン
⑨ 入力した数字を決定／実行
⑩ カーソルパネルに切り換え

お知らせ

- 文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。



- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

TVの設定をする

1 デジタルTVメニュー(☞E-14)の **情報／設定** ➡ **システム設定** をタッチする。

2 設定項目を選んでタッチし、
設定ボタンをタッチして設定する。

オート放送局サーチ	**する** …受信状態が悪くなった場合、自動で受信状態の良い中継局／系列局に切り換えます。 ※必ず切り換えができるわけではありません。 **しない** …中継局／系列局に自動で切り換えません。
地上D選局対象 ※本設定は地上デジタル(12セグ)放送でのみ有効です。	**テレビ** …テレビサービスのみ選局します。 ※番組表の表示もテレビサービスのみになります。 **テレビ／データ** …テレビサービスと独立データサービスを選局します。
郵便番号	**郵便番号を入力し、 決定 をタッチする。** (引っ越しなどで郵便番号が変わった場合に設定してください。)
県域	**地域を選んでタッチした後、都道府県を選んでタッチする。** ※伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： **沖縄・その他の島部** ➡ **東京都島部** をタッチしてください。 ※南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合： **沖縄・その他の島部** ➡ **鹿児島県島部** をタッチしてください。 (引っ越しなどで県域が変わった場合に設定してください。)
番組表表示形式	**第一内容のみ表示** …番組表表示するとき、各放送局の第一サービスのみ表示します。 ※第一サービス以外のサービスを視聴中の場合は、第一サービスとそのサービスの2つを表示します。 **全内容を表示** …番組表表示するとき、各放送局の全サービスを表示します。
ホームチャンネル ホームモードのチャンネル設定を行います。 ※あらかじめホームモードに切り換えが必要です。	**初期スキャン** …現在受信できる放送局を検索し、チャンネルリストを上書きします。 **再スキャン** …スキャンして、新たに受信できる放送局が見つかった場合、チャンネルリストに追加します。(リストの削除・上書きは行いません。) **マニュアル** …設定したチャンネルを修正します。

TVのデバイスID／ソフト情報を表示するには

①デジタルTVメニュー(☞E-14)の **情報／設定** をタッチする。
② **デバイスID表示** ／ **ソフト情報表示** から選んでタッチする。

ラジオで交通情報を聞く

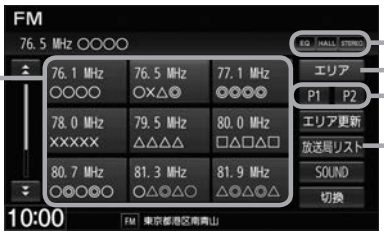
1 AUDIOメニュー(☞E-2)から 交通情報 をタッチする。

2 周波数(1620kHz ／ 1629kHz)を選んでタッチする。

FM／AMを聞く

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から FM ／ AM をタッチする。

FM受信画面(例)



エリア選局リスト／プリセットリスト
※放送局名は本機のデータに基づいて表示されます。データの無い放送局名は表示されません。

各種マーク
・イコライザー設定マーク
・サラウンド設定マーク
・ステレオ受信マーク

エリア選局リスト表示にします。

P1またはP2のプリセットリスト表示にします。

放送局リスト画面を表示します。

選局する

エリア選局する	エリア選局リストから選局する方法です。エリア選局リストには、本機の放送局データをもとにして現在地周辺の放送局が表示されます。 **① エリア をタッチする。** ⇨エリア選局リスト表示になります。 **②エリア選局リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。** **お知らせ** ● 選んだ放送局が必ず受信できるわけではありません。 ● 同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、エリア選局リストに重複した放送局が表示されることがあります。
手動選局する	周波数を手動で変更して選局する方法です。 **⏮／⏭ を押して、周波数を変える。** ※押すたびに、FMは0.1 MHzずつ、AMは9 kHzずつ変わります。 ※⏮／⏭を押し続けると、その間周波数が変わり続けます。 お好みの周波数で指を離してください。 (一定時間以上押し続けていると、指を離さなくても選局が止まります。*1)
自動選局する	周波数を自動で変更して、受信可能な放送局を探す方法です。 ※受信電波の弱い所では、自動選局ができないことがあります。 **⏮／⏭ を長押しし、“ピッ”と鳴ったらすぐに指を離す。** ⇨選局が始まり、受信可能な放送局の周波数になると自動で止まります。 ※自動選局中に⏮／⏭を押すと自動選局は止まります。
放送局リストで選局する	本機が自動サーチして、受信可能な放送局をリスト表示します。 そのリストから選ぶ方法です。 **① 放送局リスト をタッチする。** ⇨リスト画面になります。 **②リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。**

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

選局する

プリセット選局する	お好みの放送局をあらかじめ本機に登録(☞下記)しておき、登録した放送局のリスト(プリセットリスト)から選ぶ方法です。 ①**P1** ／ **P2** **から選んでタッチする。** ⇨放送局リストがP1またはP2のプリセットリストに変わります。 **②プリセットリストから聞きたい放送局を選んでタッチする。**

プリセットリストに放送局を登録する

P1／P2それぞれ6局まで登録できます。

1 **登録したい放送局を選局する。**

2 **プリセットリスト(** **P1** ／ **P2** **)を選んでタッチする。**

3 **プリセットリストから登録先のボタンを選んでタッチし続ける。**

⇨タッチし続けたボタンの表示が現在選局中の放送局表示に変わります。

エリア選局リスト／放送局リストの更新ついて

FM／AMを聞いている間は、別のエリアへ移動してもエリア選局リスト／放送局リストを自動更新しません。このため、長距離移動したときなどは下記方法により手動でリストを更新してください。

エリア選局リストを更新する

受信画面で **エリア更新** **をタッチする。**

放送局リストを更新する

受信画面で **放送局リスト** **➡** **リスト更新** **をタッチする。**

⇨サーチが開始され、完了すると放送局リストが更新されます。

※ **リスト更新** をタッチすると、エリア選局リストの放送局名も更新されます。

※サーチした結果、受信可能な放送局が見つからなかった場合はもとのリストのままになります。

お知らせ

周波数再編について

- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに登録してください。
- 本機はワイドFM(FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、災害や電波障害に強いFMの周波数帯を使いAMラジオの番組を放送することです。AM放送が聴き取りにくい地域でもFM放送でAMラジオの番組を聴くことができます。ワイドFMの対応、周波数などについては、各地域放送局のホームページをご確認ください。

iPodのミュージックを聞く

※あらかじめiPodを接続しておく必要があります。☞E-25

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から iPod をタッチする。

※ビデオが再生された場合、画面を2回タッチすると ミュージック が表示されます。
ミュージック をタッチするとミュージック再生に切り換わります。

選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	⏮ / ⏭ を押す。
トラックリストから曲を選ぶ	① ☰ をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。 お知らせ トラックリストは選曲モードによって変わります。
選曲モードから選曲する	① 選曲モード をタッチする。 ② 選曲方法を選んでタッチする。 ※ 全曲 をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。(手順③に進みません。) ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※⏮／⏭を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

一時停止する

1 ▶Ⅱをタッチする。

※一時停止中に▶Ⅱをタッチすると再生に戻ります。

リピート／シャッフル再生する

1 再生モードをタッチする。

2 リピート／シャッフルを選んでタッチする。

※シャッフルはタッチするたびに、シャッフルトラック／シャッフルアルバム／シャッフル解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。

再生モード名	動　作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
シャッフルトラック	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
シャッフルアルバム	現在のトラックリストの曲順をアルバム単位で順不同にして再生 （アルバム内は順番に再生）

お知らせ

- タイトル情報／選曲モードはiPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- iPodの機種やバージョンによっては、タイトル情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される~(半角波形表示)は、本機では-(ハイフン表示)となります。
- iPod本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

＊1…VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEiの場合

iPodのビデオを見る

※あらかじめiPodを接続しておく必要があります。☞E-25

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から **iPod** をタッチする。

※ミュージックが再生された場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチするとビデオ再生に切り換わります。

ビデオの再生画面をタッチするとタイムバーが表示されます。
さらにもう一度画面をタッチするとファイルリスト表示になります。

タイムバー
(●をドラッグして再生位置をジャンプできます。)

＊1… **リスト変更** をタッチしてビデオを選ぶときは、ビデオを選んだあと、 **再生中画面** ⮌ をタッチして再生画面を表示してください。

再生するビデオを選ぶ

1 ファイルリスト(☞上記)から再生したいファイルを選んでタッチする。

リピート再生する

再生中のビデオを繰り返し再生します。

1 ファイルリスト(☞上記)表示にして、 **再生モード** ➡ **リピート** をタッチする。

※ **リピート** をタッチするたびに、リピート⇔リピート解除が切り換わります。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ ⏮／⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

一時停止する

1 ファイルリスト(☞上記)表示にして、 ▶II をタッチする。

※一時停止中に ▶II をタッチすると再生に戻ります。

お知らせ

- iOSのバージョンにより、iPodが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod本体でTV出力する設定にしてください。
- 映像データが無いときは画面は黒表示となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは選択(再生)できません。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。

＊2… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

iPodの接続

接続する前に

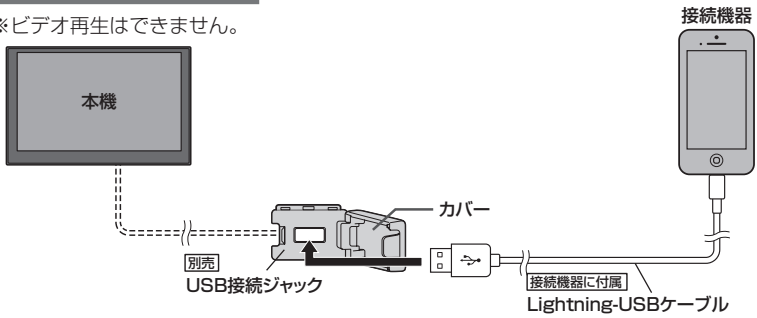
Apple CarPlay対応のiPhoneを接続する場合のみ、次の設定を行ってからiPhoneを接続してください。

① MENU ➡ 設定／情報 ➡ Apple CarPlay連携機能設定 をタッチする。

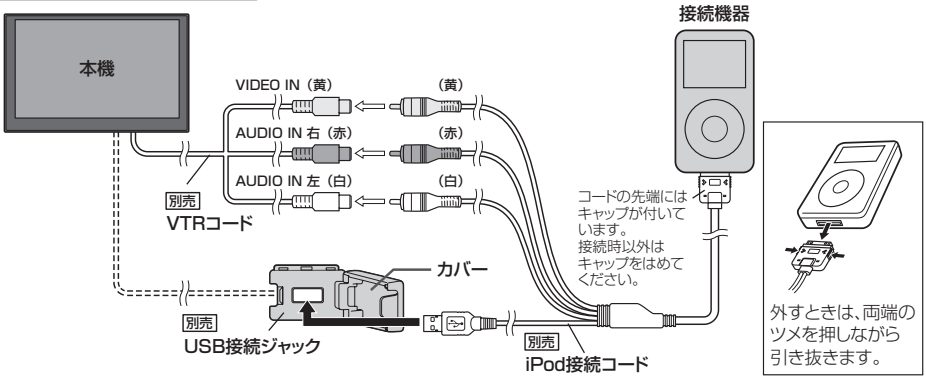
② “iPhone接続時の利用機能” の iPod をタッチする。

Lightningコネクタの場合

※ビデオ再生はできません。



Dockコネクタの場合



お知らせ

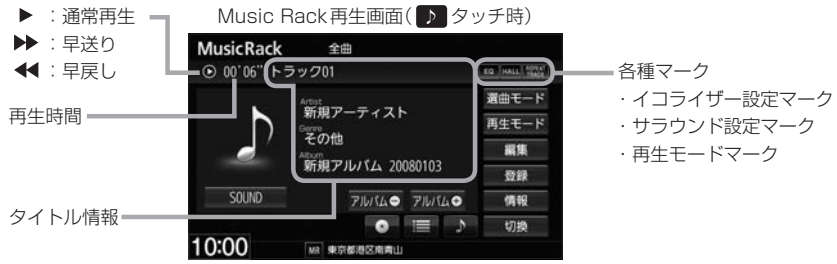
- USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。
- USB接続ジャックにUSBメモリーやUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。またVTRコードにVTR機器が接続されている場合は外してください。（VTRコードはDockコネクタの場合のみ）
- USB接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- iPodによってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体でお使いください。

Music Rackの音楽を聞く

本機でSDカードに録音した曲を再生します。

※再生前に、録音に使用したSDカードを挿入しておく必要があります。(録音☞F-2、SDカードの挿入☞E-32)

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。



選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	⏮ / ⏭ を押す。
トラックリストから曲を選ぶ	① ☰ をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。 **お知らせ** トラックリストは選曲モードによって変わります。
再生するアルバムを選ぶ	① ◉ をタッチして、アルバムリスト表示にする。 ② 再生したいアルバムを選んでタッチする。 **お知らせ** ● 選曲モードで ジャンル / お気に入り (トラック1～トラック4)を選んだ場合は ◉ はタッチできません。 ● アルバムリストは選曲モードによって変わります。
前の／次のアルバムを再生する	アルバム⊖ / アルバム⊕ をタッチする。 **お知らせ** 選曲モードで ジャンル / お気に入り (トラック1～トラック4)を選んだ場合は アルバム⊖ / アルバム⊕ は表示されません。

選曲モードから選曲します。

◉ : アルバムリスト表示にします。
☰ : トラックリスト表示にします。
♪ : タイトル情報表示にします。
アルバム⊖ : 前のアルバムに戻します。
アルバム⊕ : 次のアルバムに進めます。

選曲する

選曲モードから選曲する	① 選曲モード をタッチする。 ② 選曲方法を選んでタッチする。 ※ 全曲 をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。（手順③に進みません。） ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

“アーティスト”と表示の画面ではリストから再生したい曲のアーティストを選んでください。

リストを名前順に並べ替えます。*1（タイトル情報の“よみ”に基づいて50音順に並べ替えます。“よみ”情報が無いものは一番下に並べます。）
※別の画面に切り換わると、登録順の並びになります。

再生画面にします。

リストを録音した順に並べ替えます。*1（新しいものが一番上です。）

＊1…リストの並べ替えボタン（ 名前順 ／ 登録順 ）は、アーティストリスト表示またはアルバムリスト表示（お気に入りアルバムを除く）のときのみ表示されます。

早戻し／早送りする

1 ⏮ ／ ⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。
※ ⏮ ／ ⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

リピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生画面（☞ E-26）の 再生モード をタッチする。

2 リピート ／ ランダム ／ スキャン を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。

再生モード名	動　作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

＊2… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て

BLUETOOTH Audio機器を再生するための準備

BLUETOOTH Audio機器の登録と割り当てを行ってください。

BLUETOOTH Audio機器を本機に登録する

BLUETOOTH Audio機器の登録は、本機とBLUETOOTH Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※BLUETOOTH Audio機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐため周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源はお切りください。

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 機器登録 ➡ BLUETOOTH Audio をタッチする。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器がBLUETOOTH接続中の場合は切断する必要があります。切断するかメッセージが表示された場合は はい を選んで切断してください。

2 BLUETOOTH Audio機器側を操作して登録を行う。

お知らせ

登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。BLUETOOTH Audio機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

割り当てを行う

割り当て…BLUETOOTH Audioを再生するとき、登録した機器のうちどの機器をBLUETOOTH接続するかを設定すること。

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ BLUETOOTH Audio をタッチする。

⇨登録機器一覧画面が表示されます。

※BLUETOOTH Audio機器が登録されていない場合、 登録機器一覧 ➡ BLUETOOTH Audio はタッチできません。

2 割り当てを行う機器の 接続する をタッチする。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度 接続する をタッチしてください。

お知らせ

- BLUETOOTH Audio機器は2台まで登録可能です。(BLUETOOTH接続できるBLUETOOTH Audio機器は1台までです。)
- 本機に登録済みのBLUETOOTH Audio機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の一覧を見る

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ BLUETOOTH Audio をタッチする。

⇨登録機器一覧画面が表示されます。

※BLUETOOTH Audio機器が登録されていない場合、 登録機器一覧 ➡ BLUETOOTH Audio はタッチできません。

登録を削除する

1 登録機器一覧画面で、削除したい機器の 削除 をタッチする。

登録機器の詳細情報を見る

1 登録機器一覧画面で、詳細情報を見たい機器の 詳細 をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 本体情報 をタッチする。

⇨BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

1 BLUETOOTH情報画面で
デバイス名変更 をタッチする。

2 デバイス名を入力し、 決定 をタッチする。

パスキーを変更する

1 BLUETOOTH情報画面で パスキー変更 ➡ BLUETOOTH Audio をタッチする。

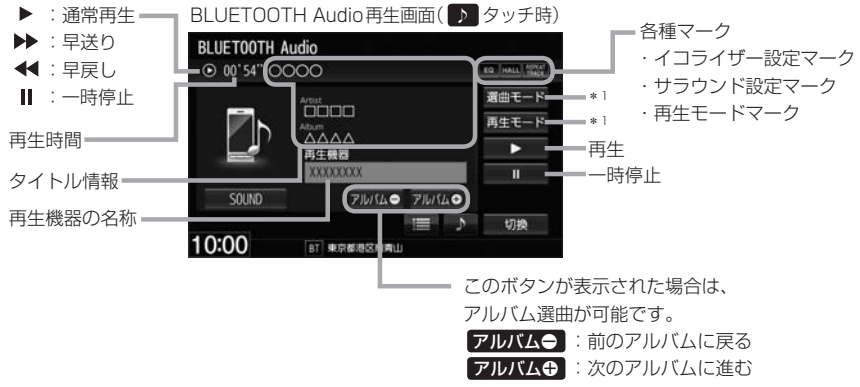
2 パスキーを入力し、 決定 をタッチする。

BLUETOOTH Audioを聞く

※あらかじめBLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て(☞E-28)をしておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から BLUETOOTH Audio をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは ▶ をタッチしてください。



お知らせ

- 上記の画面表示や操作ボタンは、機器によって一部表示されない場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合はBLUETOOTH接続できません。
- 接続機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、接続機器側の音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例：iPodとケーブル接続している場合)
- 接続機器によっては、本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、接続機器側で操作してください。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続し直してください。

＊1…AVRCP ver.1.3以下では操作非対応

選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	⏮／⏭を押す。
トラックリストから曲を選ぶ ※AVRCP ver.1.3以下では操作できません。	① ☰をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。
選曲モードから選曲する ※AVRCP ver.1.3以下では操作できません。	① 選曲モードをタッチする。 ② 選曲方法を選んでタッチする。 ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲します。

☰：トラックリスト表示にします。
♪：タイトル情報表示にします。

お知らせ

- 再生したい曲を選んだあと、再生画面に戻るには 再生中画面 をタッチしてください。
- 機器によっては 選曲モード をタッチしても選曲モード画面を表示できない場合があります。
- 機器によっては選曲モードに表示される内容や選曲操作方法が異なる場合があります。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※⏮／⏭を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

※早送り／早戻しを始めてすぐ解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は ▶ (再生)をタッチして解除してください。

一時停止する

1 ⏸をタッチする。

※一時停止中に ▶ をタッチすると再生に戻ります。

＊1…VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

BLUETOOTH Audioを聞く

リピート／ランダム再生する

※AVRCP ver.1.4以上でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。（機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。）

1 再生モード をタッチする。

2 リピート ／ ランダム を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。

再生モード名	動　作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生

SDカードを挿入する／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

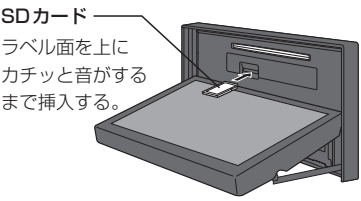
SDカードを挿入する

1 ⏏ ➡ OPEN をタッチする。

⇨ディスプレイが開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを挿入する。

※挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。



SDカードを取り出す

1 ⏏ ➡ OPEN をタッチする。

⇨ディスプレイが開きます。

2 SDカードを1回押して、取り出す。

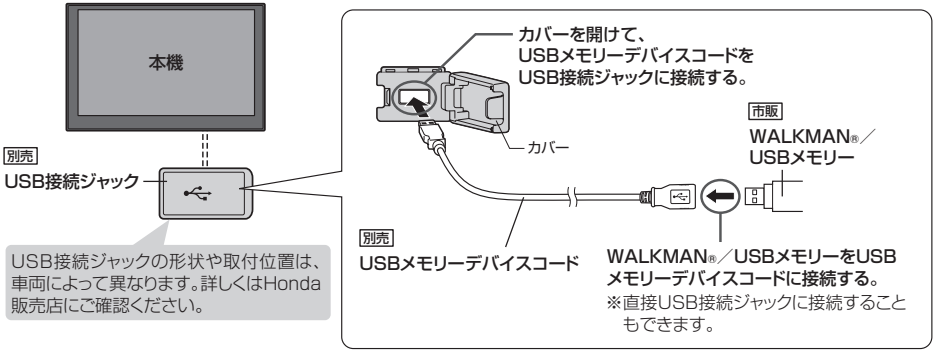
3 ⏏ を押して、ディスプレイを閉じる。

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的には閉じません。
- 長時間使用すると、SDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- お買い上げ時、本機に8 GBのSDカードが挿入されています。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する

※WALKMAN®／USBメモリーはUSB接続ジャック(別売)に接続してください。
間違ってインターナビUSBコードに接続しないよう、ご注意ください。



- 接続／取り外しは、本機の電源を切ってからまたはオーディオOFFにしてから行ってください。
再生中に接続／取り外しをすると、WALKMAN®／USBメモリーの本体やファイルがこわれたり、雑音発生によりスピーカーが破損する場合があります。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずWALKMAN®を取り外してください。WALKMAN®の電池を消耗することがあります。
- USB接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。内部に異物が入ったり、カバーが体に当たって破損するおそれがあります。
- USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合は外してください。
※WALKMAN®／USBメモリー使用時、iPodは使用できません。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聞く

※あらかじめSDカードを本機に挿入(☞E-32)／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続(☞上記)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から SD ／ USB をタッチする。

SDカード： SD をタッチ、WALKMAN®およびUSBメモリー： USB をタッチ

※画像／動画が再生された場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
モード切換 ➡ 音楽ファイル をタッチすると音楽再生に切り換わります。

選曲する

※WALKMAN®に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルは選曲モードの フォルダ でのみ再生できます。

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	⏮／⏭を押す。
トラックリストから曲を選ぶ	① ☰ をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。 **お知らせ** トラックリストは選曲モードによって変わります。
再生するフォルダを選ぶ ※SDカード／USBメモリーのみ	① 🗀 をタッチして、フォルダリスト表示にする。 ② 再生したいフォルダを選んでタッチする。
前の／次のフォルダを再生する ※SDカード／USBメモリーのみ	フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。
再生するアルバムを選ぶ ※WALKMAN®のみ	① 💿 をタッチして、アルバムリスト表示にする。 ② 再生したいアルバムを選んでタッチする。 **お知らせ** ●選曲モードで ジャンル ／ グループ ／ プレイリスト を選んだ場合は 💿 はタッチできません。 ●選曲モードで フォルダ を選んだ場合は、💿 が 🗀 に変わり、タッチするとフォルダリスト表示になります。 ●アルバムリストは選曲モードによって変わります。

🗀 ：フォルダリスト表示にします。
☰ ：トラックリスト表示にします。
♪ ：タイトル情報表示にします。
フォルダ⊖ ：前のフォルダに戻します。
フォルダ⊕ ：次のフォルダに進めます。

💿 ：アルバムリスト表示にします。

選曲する

選曲モードから選曲する	① 選曲モード をタッチする。 ② 選曲方法を選んでタッチする。 ※ 全曲 をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。（手順③に進みません。） ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

フォルダリスト画面(例)

"フォルダ"と表示の画面ではリストから再生したい曲のフォルダを選んでください。

再生画面にします。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ ⏮／⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

*1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

リピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生画面(☞E-33)の 再生モード をタッチする。

2 リピート ／ ランダム ／ スキャン を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。

再生モード名	動　作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入（☞E-32）／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続（☞E-33）しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー（☞E-2）から **SD** ／ **USB** をタッチする。

SDカード： **SD** をタッチ、WALKMAN®およびUSBメモリー： **USB** をタッチ

※音楽／動画が再生された場合は、 **モード切換** ➡ **画像ファイル** をタッチすると画像再生に切り換わります。（動画再生中の場合、画面をタッチして **モード切換** を表示させてください。）

再生する画像を選ぶ

1つずつ画像を戻したり進めたりする	⏮／⏭ を押す。 **お知らせ** 操作ボタン非表示時に左右へドラッグ／フリックしても画像を戻したり進めたりできます。
画像リストから選ぶ ※スライドショー中は操作できません。	① **リスト** をタッチする。 ※ **リスト** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。 ②フォルダを選んでタッチする。 ③再生したい画像を選んでタッチする。

スライドショーで画像を見る

※現在選択中のフォルダ内の画像ファイルをスライドショーします。

1 **スライドショー** をタッチする。

※ **スライドショー** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

スライドショーをやめる	**終了** をタッチする。 ※ **終了** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。
再生間隔を変える	① **再生間隔** をタッチする。 ※ **再生間隔** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。 ②再生間隔の時間を選んでタッチする。 ③ **閉じる** ➡ **開始** をタッチする。

表示中の画像を回転させる

※スライドショー中は操作できません。

1 **回転** をタッチする。

※ **回転** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

※ **回転** をタッチするたびに表示中の画像が90°ずつ時計回りに回転します。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入（☞E-32）／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続（☞E-33）しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー（☞E-2）から **SD** ／ **USB** をタッチする。

SDカード： **SD** をタッチ、WALKMAN®およびUSBメモリー： **USB** をタッチ

※音楽／画像が再生された場合は、 **モード切換** ➡ **動画ファイル** をタッチすると動画再生に切り換わります。（画像再生中の場合、画面をタッチして **モード切換** を表示させてください。）

再生する動画を選ぶ

1つずつ動画を戻したり進めたりする	⏮／⏭ を押す。
動画リストから選ぶ	① **再生リスト** をタッチする。 ※ **再生リスト** は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。 ②再生したい動画を選んでタッチする。 **リストを変更して選ぶ** ① **リスト変更** をタッチする。 ② **全ファイル** *1／ **フォルダ** *1 を選んでタッチする。 ※ **フォルダ** をタッチした場合は、リストからフォルダを選んでタッチしてください。 ③再生したい動画を選んでタッチする。 ＊1…WALKMAN®の場合、 **全ファイル** は **全てのビデオ** に、 **フォルダ** は 🗀 VIDEO に変わります。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※⏮／⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

一時停止する

1 ▶II をタッチする。

※ ▶II は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

※一時停止中に ▶II をタッチすると再生に戻ります。

＊2… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

外部機器の映像／音声を視聴する

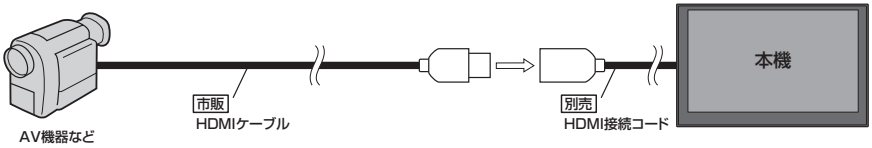
市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

外部機器の接続について

本機は外部機器と以下4通りの方法で接続できます。

HDMIケーブルで接続

※ VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ



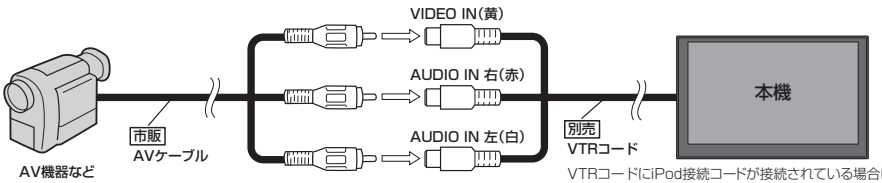
お知らせ

HDMIケーブルで接続した場合は、本機で接続設定が必要です。（お買い上げ時、“HDMI接続”は **しない** に設定されています。）

① MENU ➡ **設定／情報** ➡ **サウンド** ➡ **オーディオ詳細設定** ➡ **外部接続** をタッチする。

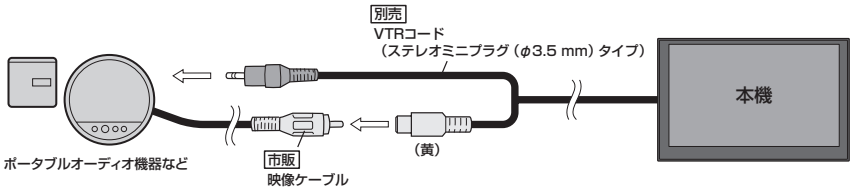
② “HDMI接続”の **する** をタッチする。

AVケーブルで接続



VTRコードにiPod接続コードが接続されている場合は外してください。

ステレオミニプラグと映像ケーブルで接続



ステレオミニプラグで接続

外部機器の映像を見る／音声を聞く

準備 **接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。**
※本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。

1 **外部機器を本機と接続する。** ☞ E-38
※HDMIケーブルで接続する場合は、本機での接続設定も必要です。

2 **本機を起動し、外部機器の電源を入れる。**

3 **AUDIOメニュー(☞ E-2)から HDMI ／ VTR をタッチする。**

HDMIケーブルで接続	HDMI をタッチ
AVケーブルで接続	VTR をタッチ
ステレオミニプラグと映像ケーブルで接続	VTR をタッチ
ステレオミニプラグで接続	VTR をタッチ

※HDMIケーブル接続は、 VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ対応しています。

4 **AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する。**
※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

お知らせ

- 接続される機器の電源を切ってから、本機の電源を切って(車のエンジンスイッチをロックに入れて)ください。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。
- 対応している映像信号は720p、1080i、480p(16：9、4：3)です。
- HDMIで接続した機器の音声がBLUETOOTHで接続されている場合、HDMIで音声が出ないことがあります。そのような場合は機器側のBLUETOOTHの接続をOFFしてからHDMIを使用してください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)

オーディオ設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ サウンド をタッチする。

※DVDを見ているときは MENU を2 回押すことが必要となる場合があります。

2 サウンド画面の各ボタンをタッチして、設定を行う。

サウンド画面では、以下の設定を行うことができます。

フェード・バランス設定
前後左右のスピーカーの音量バランスを設定します。

イコライザー設定
各帯域の音のレベル設定をして、音質調整をします。

音響効果の設定
サラウンドの種類を選んで設定します。

スピーカー設定
スピーカー出力レベル・スピーカーディレイ・スピーカーサイズの設定をします。

その他のオーディオ詳細設定
車速連動音量設定・HDMI接続設定をします。（HDMI接続設定 E-38）

お知らせ

- オーディオOFFのときはオーディオ設定はできません。オーディオONにしてから設定してください。
- イコライザー設定と音響効果のSRS CS Auto設定は同時に両方有効にはできません。（例：SRS CS Autoを設定すると、イコライザー設定はOFFになります。）

フェード・バランス設定やサブウーファー音量調整*1をする

1 サウンド画面で“FADE／BALANCE*2”の 詳細設定 をタッチする。

2 ▼／▲／◀／▶／－／＋をタッチして、調整する。

▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後スピーカーの音量が下がる。
◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。
－*1	サブウーファーの音量が下がる。
＋*1	サブウーファーの音量が上がる。

イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

前後左右のスピーカーの音量バランスをセンターに戻します。

＊1…サブウーファーの音量調整は、VRM-175VFEi VRM-175VFi のみ対応しています。

＊2… VRM-175VFEi VRM-175VFi の場合、“FADE／BALANCE／SUB WOOFER”と表示されます。

イコライザー設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

1 サウンド画面で“イコライザープリセット”の VOCAL ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER からお好みのイコライザー設定を選んでタッチする。

※音響効果設定で"SRS CS Auto"を設定している場合はタッチできません。

イコライザー設定を解除する

OFF をタッチする。

お知らせ

USER は初期値がOFF(各帯域のレベルが全てゼロ)ですので、イコライザーの詳細設定(設定値の変更)を行って使用してください。

イコライザープリセットの設定値を変更する

①サウンド画面で“イコライザープリセット”の 詳細設定 をタッチする。

②設定値の変更をしたいボタン(VOCAL ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER)を選んでタッチする。

③各帯域の ▲ ／ ▼ をタッチしてレベルを調整する。

④ 登録 をタッチする。

周波数帯域

イコライザーのレベルを青色バーで表示
※この表示部分をタッチしてもレベル調整が可能です。

手順②で選んだボタンの設定値を初期値に戻します。

車速連動音量を設定する

車の速度に応じてオーディオ音量を自動調整するよう設定できます。

1 サウンド画面で オーディオ詳細設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

2 HIGH ／ MIDDLE ／ LOW ／ OFF から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

お知らせ

車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、オーディオ音量のみです。

音響効果の設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

1 サウンド画面で“エフェクト”の 音の匠 ／ SRS CS Auto ／ DSP から音響効果を選んでタッチする。

音響効果の設定を解除する

OFF をタッチする。

音響効果の選択ボタン

選んだ音響効果によって、この部分の表示が変わります。

音の匠

XXXXXXには車種名が入ります。

SRS CS Auto

タッチするとSRS CS Autoの詳細設定ができます。

DSP

◀ ／ ▶ をタッチして、音場環境を選択します。

現在選択中の音場環境

音の匠

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しむことができます。

※選択するには、専用スピーカーの装着などの車種別セットアップが必要です。車種別セットアップの詳細はHonda販売店にお問い合わせください。（車種別セットアップでスピーカー出力レベルとスピーカーディレイが最適な値に設定されます。）

SRS CS Auto

SRSのサラウンド効果を得ることができます。必要に応じて下記の詳細設定が可能です。

※2スピーカーでは、設定しても本サラウンド効果は得られません。

詳細設定

① “エフェクト”で SRS CS Auto を選んだ後、“サラウンド"の 詳細設定 をタッチする。

② FOCUS ／ TruBass ／ MixToRear をタッチし、それぞれの画面で設定を行う。

FOCUS	感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 （車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。） ＋ ／ － をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 （＋…音の聞こえてくる位置が高くなる、 －…位置が低くなる）
TruBass	低音の強さを設定できます。 ＋ ／ － をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 （＋…低音が強くなる、 －…低音が弱くなる）
MixToRear	DVDによってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定できます。 ◀ ／ ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 （◀…出力量が小さくなる、 ▶…出力量が大きくなる）

音響効果の設定をする

DSP

いろいろな環境の音場を擬似的に再現することができます。
“エフェクト” で DSP を選んだ後、“サラウンド” の ◀ ／ ▶ をタッチして、疑似再現したい音場環境を選んでください。

LIVE …… ライブハウスのような音場
HALL …… コンサートホールのような音場
STADIUM …… スタジアムのような音場
CHURCH …… 残響音の多い教会のような音場

スピーカーの出力レベルを設定する

1 サウンド画面で スピーカー設定 ➡ スピーカー出力レベル をタッチする。

2 ◀ ／ ▶ をタッチして各スピーカーの出力レベルを設定する。

お知らせ
0 dBが標準で、マイナス値にすると出力が小さくなります。

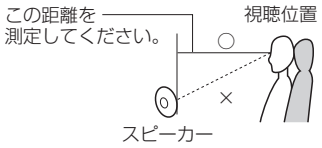
スピーカーディレイを設定する

視聴位置から最も距離の離れたスピーカーに合わせて他のスピーカーの出力タイミングを遅らせます。
(設定値10 cm あたり約0.3 ms遅らせます)

1 サウンド画面で スピーカー設定 ➡ スピーカーディレイ をタッチする。

2 ◀ ／ ▶ をタッチして視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する。

お知らせ
視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



スピーカーサイズを設定する

1 サウンド画面で スピーカー設定 ➡ スピーカーサイズ をタッチする。

2 “フロント” および “リア” それぞれの LARGE ／ NORMAL を選んでタッチする。

設定の目安

LARGE	スピーカーの大きさ17 cm以上
NORMAL	スピーカーの大きさ16 cm以下

※上記は目安ですので、設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方を選んでください。

AUDIOメニューをカスタマイズする

※お好みにカスタマイズできるのは AUDIO を押して最初に表示される画面のみです。

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から **カスタマイズ** をタッチする。
※ **カスタマイズ** をタッチした後、メッセージが表示されますので、 **OK** をタッチしてください。

2 ❮／❯をタッチして、画面に表示されるボタンの数(3～8個)を変更する。

3 各ボタンをタッチして、ボタンを変更する。

4 **決定** をタッチする。

配置をお買い上げ時に戻します。
(ボタンの数は戻しません)

表示されるボタンの数(3～8個)を変更するには
❮／❯をタッチする。
※左右に、ドラッグ／フリックしても変更できます。

ボタンの変更を行うには
①変更したいボタンをタッチする。
②AUDIOメニュー候補が表示されるので、新しく表示するボタンを選んでタッチする。
③ **戻る** をタッチする。

お知らせ

手順 **3** ですでに配置されているボタンをメニュー候補から選んだ場合、そのボタンはもとの位置から指定位置へ移動され、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。

例) **CD** を **TV** に変更する場合

TV はすでに配置されています。

メニュー候補から **TV** をタッチすると…

もとの **TV** は何も配置されていない状態になります。

F

Music Rack（録音と曲管理）

音楽CDを録音する……F-2
録音設定をする……F-4
録音した曲を削除する……F-5
お気に入り登録をする……F-6
　お気に入りからアルバム／トラックを削除する…F-7
ジャケット写真を登録する……F-8
Gracenoteデータベースの更新について……F-9
　更新方法の種類……F-9
　更新の操作方法……F-9
Gracenoteデータベースを初期化する……F-10
録音した曲のタイトル情報を修正する……F-10
再生しないアルバム／トラックを選ぶ……F-12
Music Rackの使用容量を確認する……F-12

音楽CDを録音する

Music Rackは本機で音楽CDをSDカードに録音し、再生できる機能です。

準備 本機にSDカードを挿入してください。☞E-32
※お買い上げ時、本機に8 GBのSDカードが挿入されています。

1 録音する音楽CDを挿入する。☞E-4

※録音設定で 自動録音 に設定していると、手順 1 で未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。以降の操作は必要ありません。（1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音されません。）
※自動録音に設定していない場合など、手動録音するには手順 2 に進んでください。

2 CD再生画面で ●録音 をタッチする。

※CD再生画面を表示するにはAUDIOメニュー（☞E-2）から CD をタッチします。

3 録音方法を選ぶ。

全曲録音する場合	“録音方法”の 全曲録音 をタッチする。 ※SDカードの残容量が足りない場合はタッチできません。
録音する曲を選ぶ場合	① “録音方法”の 選択曲録音 をタッチする。 ② トラックリストから録音したい曲をタッチして✔印を付ける。 ③ 決定 をタッチする。 録音曲選択画面 選択が解除され、ひとつ前の画面に戻ります。 録音したい曲を確定します。 トラックをタッチするたびに✔印の有無が切り換わります。 ☑：録音します。 ☐：録音しません。

4 ●録音開始 をタッチする。

録音を中止する

1 CD再生画面で 録音中止 をタッチする。

お知らせ

録音を中止しても録音が終わっているトラックはSDカードに保存されます。

お知らせ

録音・再生について

- 録音は本機で再生できる音楽CDのみ可能です。
  ※MP3／WMAファイルのあるCDは録音できません。
- 録音した曲は本機のMusic Rackソースでのみ再生できます。本機のSDソースや他機器では再生できません。
- 同じSDカードに同じ曲を重複して録音することはできません。
- 最大録音曲数は10,000曲までです。SDカードに空きがあっても10,000曲を超える録音はできません。
- 音楽CDの記録面のキズ、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音する音楽CDに依存しますのでご了承ください。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、音楽CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音をしながら他のソースにすることができます。また、オーディオをOFFにしても録音は継続されます。
- 録音中は、Music Rackの再生は可能ですが、SDソースでの再生はできません。
- CDソースでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。
- 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が停止することがあります。
- 録音中に音楽CDを取り出した場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
- 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

SDカードについて

- 録音するとSDカードに「RECAUDIO」というフォルダが作成されます。「RECAUDIO」フォルダはパソコンなどで削除／変更を行わないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、SDカード内の保存データについては補償できません。

Music Rackのタイトル情報について

本機はCDを録音するときタイトル情報も一緒に記録を行います。Music Rackのタイトル情報は、録音時にCD再生画面に表示されたタイトル情報で記録します。

お知らせ

- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示文字数は最大で全角32(半角64)文字です。
- 録音時に付けるタイトル情報がCD再生画面表示通りになるのは、録音したCDの情報が本機データベースにヒットした場合のみです。本機データベースにヒットしなかった場合、トラック名:“トラックXX”(XXはトラック番号)、アルバム名:“新規アルバムXXXXXXXX”(XXXXXXXXは録音した日付)、アーティスト名:“新規アーティスト”と記録されます。
- 該当するジャンル名が無い場合は“その他”と表示されます。

Music Rackでは、録音した各トラック／アルバムのタイトル情報を修正できます。 ☞ F-10

録音設定をする

自動録音／手動録音の選択や、音質の設定をすることができます。

1 CD再生画面で **録音設定** をタッチする。

※CD再生画面を表示するにはAUDIOメニュー(☞E-2)から **CD** をタッチします。

2 設定したい項目のボタンをタッチする。

録音可能時間を表示

録音管理

自動録音 …音楽CDを本機に挿入すると曲の再生とともに自動で録音を開始する。
※1曲でも録音済みの音楽CDを挿入した場合、自動録音は開始されません。

手動録音 …自動では録音を開始しない。

音質

◀／▶ をタッチして録音音質を設定できます。

音質と録音可能曲数の目安

音質(ビットレート)	96 kbps	128 kbps	192 kbps	256 kbps	320 kbps
録音可能曲数	約2900曲	約2100曲	約1450曲	約1050曲	約850曲

※1曲を4分で換算し、付属のSDカード(8 GB)を使用した場合

録音した曲を削除する

⚠注意
- 削除(初期化)中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
  他の操作をすると故障の原因となります。
- 削除(初期化)すると、お客様の音楽データは消去され、もとに戻りません。

全ての曲を削除する(録音データ初期化)

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。

2 情報 ➡ 録音データ初期化 をタッチする。

選択した曲を削除する

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。

2 編集 ➡ 曲管理 をタッチする。

3 削除する曲を選ぶ。

アルバムを選んで アルバムごと削除	① アルバムリストから削除するアルバムを選んでタッチする。 ② 削除 をタッチする。
トラックを選んで削除	① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。 ② トラック表示 をタッチする。 ③ 削除するトラックを選んでタッチする。 ④ 削除 をタッチする。

お気に入り登録をする

1 Music Rackでお気に入りに登録したいトラック／アルバムを選曲する。

2 登録 ➡ お気に入り をタッチする。

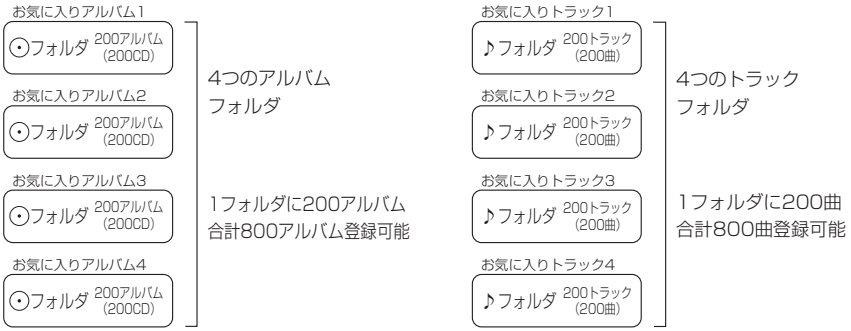
3 登録先のフォルダ(お気に入りフォルダ)を選んでタッチする。

選曲したトラックのアルバムを登録	お気に入りアルバム１ ～ お気に入りアルバム４ から選んでタッチする。
選曲したトラックを登録	お気に入りトラック１ ～ お気に入りトラック４ から選んでタッチする。

お知らせ

- お気に入りに登録したトラック／アルバムは選曲モードの お気に入り で選曲することができます。
- １つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成



お気に入りからアルバム／トラックを削除する

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。

2 編集 ➡ お気に入り管理 をタッチする。

3 お気に入りフォルダを選んでタッチし、
フォルダ内表示 をタッチする。

お気に入りフォルダのリスト

選んだお気に入りフォルダ内の曲を全削除します。

4 リストから削除したいアルバム／トラックを選んでタッチし、
削除 をタッチする。

⚠注意 削除中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入りフォルダのフォルダ名の変更ができます

① Music Rack再生画面で 編集 ➡ お気に入り管理 をタッチする。
※Music Rack再生画面は、AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチすると表示されます。

② フォルダリストから名前を変更したいフォルダを選んでタッチし、
フォルダ名編集 をタッチする。

③ フォルダ名を文字入力して、 決定 をタッチする。

ジャケット写真を登録する

準備

本機に、登録したい画像ファイルが入ったSDカードを挿入／USBメモリーを接続してください。

ジャケット写真に登録できる画像ファイル形式

- JPEG形式のみ登録可能です。
- 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
  ※176×176ピクセル以下では表示エリアより小さく表示されます。

Music Rack再生画面

ジャケット写真

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。

2 編集 ➡ 曲管理 をタッチする。

3 アルバムリストからアルバムを選んでタッチし、 ジャケット写真 をタッチする。

4 登録したい画像ファイルを選ぶ。

①登録したい画像ファイルが入ったメディア(SDカード ／ USB)を選んでタッチし、
ジャケット写真を選択する をタッチする。

②フォルダリストから登録したい画像ファイルが入ったフォルダを選んでタッチする。

③登録したい画像をタッチする。

Gracenoteデータベースの更新について

更新方法の種類

更新方法は大きく下記の2つに分かれます。

オンライン検索	新しいタイトル情報をオンラインで取得する方法です。 ・インターナビ・データ通信USBを使用して、Gracenote音楽認識サービスより情報を取得します。 ・音楽CD(アルバム)または曲で個別にタイトル情報を取得します。
パソコンを使用したデータベース更新	パソコンで指定ホームページからデータベース更新ファイルを取得して本機データベースを更新する方法です。 ・ローカルアップデート(多数のタイトル情報をまとめてデータベース更新する方法)と、カスタムアップデート(アルバムで個別にデータベース更新する方法)が選択できます。 ・パソコン、インターネット接続、SDカードなどの動作環境が必要です。

お知らせ

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、インターネット接続環境(64 kbps以上推奨)、SDカード(8 MB以上)などの動作環境を整えていただく必要があります。
  ※パソコンの動作環境(OSなど)については、指定ホームページ*1をご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順(操作方法)は指定ホームページ*1でご確認ください。
  ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。

＊1…指定ホームページ

VXM-175VFNiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-175vfni/
VXM-175VFEiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-175vfei/
VRM-175VFEiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-175vfei/
VXM-175VFiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-175vfi/
VRM-175VFiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-175vfi/

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

更新の操作方法

オンライン検索	CD再生画面のタイトル情報についてデータベース更新する CD再生画面で オンライン検索 をタッチする。☞ E-6 録音した曲のタイトル情報についてデータベース更新する Music Rackのアルバム／トラック編集画面で オンライン検索 をタッチする。☞ F-11
パソコンを使用したデータベース更新	指定ホームページ(上記)でローカルアップデート／カスタムアップデートの操作方法をご確認ください。

Gracenoteデータベースを初期化する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ サウンド ➡ gracenote をタッチする。

2 初期化 をタッチする。
※録音中はタッチできません。

⚠注意
- 初期化中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
  他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、お客様が今までオンライン検索／ローカルアップデート／カスタムアップデートで更新したデータは消去され、もとに戻りません。

録音した曲のタイトル情報を修正する

トラック名／アーティスト名／アルバム名の修正(名前と読み)およびジャンル分類を修正できます。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)から Music Rack をタッチする。

2 タイトル情報を修正したい曲を選曲する。

3 修正対象を選び、下表の操作を行う。

選曲中のトラックのみ修正*1	編集 ➡ 現在の曲 をタッチする。
選曲中のアルバム内の全曲を一斉に修正*2	編集 ➡ 現在のアルバム をタッチする。

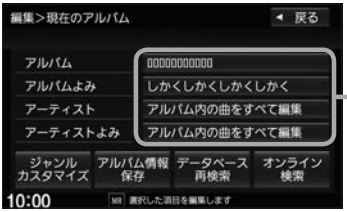
＊1…アルバム名をトラックごとに手動修正することはできません。
＊2…トラック名は、全曲一斉に手動修正することはできません。

4 修正方法を選び、下表の操作を行う。

手動修正	**トラック名／アーティスト名／アルバム名を修正** ① 変更する項目をタッチする。 ② 文字入力を行う。 **ジャンル分類を修正** ① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。 ② ジャンルリストから選んでタッチする。
本機のデータベースを再検索*1	**データベース再検索** をタッチする。
オンライン検索	**オンライン検索** をタッチする。

＊1…本機のデータベースにタイトル情報が無いアルバム／トラックの場合、 **データベース再検索** をタッチしても修正できません、またデータベースの情報が間違っている場合もあります。この場合、データベースの更新(☞ F-9)をしてから再度 **データベース再検索** をタッチしてください。

アルバム編集画面(例)

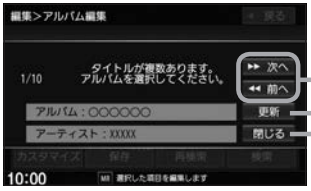


手動修正する場合は
変更したい項目をタッチ
※アーティスト名の修正結果は、
再生画面で確認できます。

お知らせ

データベース再検索 ／ **オンライン検索** をタッチして複数検索された場合は下記画面が表示されます。

タイトル複数選択画面



1 **次へ** ／ **前へ** をタッチしてアルバムを選ぶ。

2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチする。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

再生しないアルバム／トラックを選ぶ

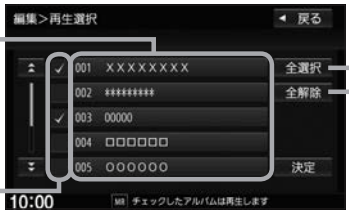
1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。

2 編集 ➡ 曲管理 をタッチする。

3 下表の操作をして、再生しないアルバム／トラックの✔印を非表示にする。

再生しないアルバムを選ぶ	① 再生選択 をタッチする。 ② 再生しないアルバムをタッチして✔印を非表示にする。
再生しないトラックを選ぶ	① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。 ② トラック表示 をタッチする。 ③ 再生選択 をタッチする。 ④ 再生しないトラックをタッチして✔印を非表示にする。

(例)アルバム再生選択画面



アルバムをタッチするたびに✔印が表示／非表示となります。

☑表示：再生します。
☐表示：再生しません。

全てのアルバムに✔印が付きます。

全てのアルバムの✔印が消えます。

4 決定 をタッチする。

お知らせ

- 再生選択は、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- 再生選択で再生しない設定をしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100より多い場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ が表示されます。 前へ ／ 次へ をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。

Music Rackの使用容量を確認する

1 AUDIOメニュー(☞E-2)から Music Rack をタッチする。

2 情報 ➡ SDカード情報 をタッチする。

G
携帯電話との連携

携帯電話のBLUETOOTH接続……G-2
携帯電話をBLUETOOTH接続する……G-2
登録した携帯電話の一覧を見る……G-3
本機のBLUETOOTH情報を確認する……G-4
NaviConを使用する……G-4
Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う……G-6
ハンズフリーで電話する……G-8
電話を受ける(着信時の操作)……G-8
通話中の操作……G-9
電話をかける……G-10
ハンズフリーの通話設定をする……G-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……G-14
Apple CarPlayを使う……G-16

携帯電話のBLUETOOTH接続

携帯電話をBLUETOOTH接続する

BLUETOOTH接続するには、携帯電話を本機にハンズフリー登録して、割り当てを行ってください。
なお、一度BLUETOOTH接続すると、次回からは自動でBLUETOOTH接続を行います。

お知らせ

BLUETOOTH接続を解除するには、割り当てを解除してください。☞下記「割り当てを行う」

携帯電話を本機にハンズフリー登録する

ハンズフリー登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。
※誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源をお切りください。

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 機器登録 ➡ ハンズフリー をタッチする。

2 登録する携帯電話の会社名をタッチする。

※ご使用の携帯電話がNTT ドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、 その他 を選んでください。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器がBLUETOOTH接続中の場合は切断する必要があります。
切断確認のメッセージが表示された場合は はい を選んで切断してください。

3 携帯電話側を操作してハンズフリー登録を行う。

お知らせ

- 登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。
- BLUETOOTH Audio登録もできる場合は確認メッセージが表示されるので、 はい (登録する)／ いいえ (登録しない)を選んでください。

割り当てを行う

登録した携帯電話に、どの機能を割り当てるかを設定します。

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

⇨携帯電話登録一覧画面が表示されます。

※携帯電話がハンズフリー登録されていない場合、 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー はタッチできません。

2 割り当てる携帯電話の 📱 ／ 🗺 をタッチする。

📱 ：ハンズフリーで電話をする携帯電話に割り当て
🗺 ：Drive T@lker・NaviConをする携帯電話に割り当て

※Drive T@lkerを使用する携帯電話は、 📱 と 🗺 の両方を設定してください。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度 📱 ／ 🗺 をタッチしてください。

お知らせ

ハンズフリー登録について

- ハンズフリー登録は４台まで登録可能です。（BLUETOOTH接続できる携帯電話は１台までです。）すでに４台登録済みの場合は登録操作はできません。
- 本機に登録済みの携帯電話を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
  http://www.honda.co.jp/navi/support/

割り当てについて

- 割り当てはハンズフリーで１台まで、Drive T@lker・NaviConで１台まで可能です。
- 新規に携帯電話をハンズフリー登録したときは、割り当てが変わります。
- 割り当てが変わると、BLUETOOTH接続先が新しく割り当てられた携帯電話へ変更されます。

BLUETOOTH接続について

- 携帯電話が接続できない状況（携帯電話の電源が入っていない、携帯電話側でBLUETOOTH接続をOFF にしているなど）の場合は接続できません。
- BLUETOOTH接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 携帯電話を登録して“ハンズフリー”に割り当てると、携帯電話のアイコンが地図画面に表示されます。

携帯電話の電波と電池状態を表示（BLUETOOTH接続中のみ表示）
※機種により表示されない場合があります。

登録・割り当てされていると表示（BLUETOOTH接続できていない場合は暗く表示）

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の一覧を見る

※携帯電話登録一覧画面で、登録の削除／登録携帯電話の詳細情報確認ができます。

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

⇨携帯電話登録一覧画面が表示されます。

※携帯電話がハンズフリー登録されていない場合、登録機器一覧 ➡ ハンズフリー はタッチできません。

登録を削除する

1 携帯電話登録一覧画面で、削除したい携帯電話名のボタンを選んでタッチする。

2 削除 をタッチする。

登録している携帯電話の詳細情報を見る

1 携帯電話登録一覧画面で、詳細情報を見たい携帯電話名のボタンを選んでタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

BLUETOOTH情報画面で、デバイス名／パスキーの変更ができます。

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 本体情報 をタッチする。
⇨BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

1 BLUETOOTH情報画面で デバイス名変更 をタッチする。

2 デバイス名を入力し、 決定 をタッチする。

パスキーを変更する

1 BLUETOOTH情報画面で パスキー変更 ➡ ハンズフリー をタッチする。

2 パスキーを入力し、 決定 をタッチする。

NaviConを使用する

NaviConは、スマートフォンで探した目的地を本機に転送し、本機でルート探索・ルート案内などが行えるスマートフォンアプリです。
※NaviConアプリの入手方法、NaviConに関する詳細は、NaviConのWebサイト（https://navicon.com/user/support/）をご覧ください。

本機でNaviConが使用できる端末について

NaviConアプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンで使用可能です。（NaviConアプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンについては、NaviConのWebサイトをご覧ください。）
※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviConを使用することができません。
※スマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備

- 本機とスマートフォンのBLUETOOTH接続を確認してください。（接続方法 G-2）
- iPhoneでNaviConを使用する場合、ケーブル接続しているiPodやiPhoneを全て外してください。
- AndroidスマートフォンでNaviConを使用する場合、Apple CarPlay対応のiPhoneをケーブル接続しているときは外してください。

NaviConを使用する

本機は、「目的地の転送」と「友達マップの表示」に対応しています。

目的地を本機に転送してルート探索する

1 スマートフォン側でNaviConアプリを起動する。

2 スマートフォン側でNaviConアプリを操作して、目的地を設定する。

⇨目的地が転送され、本機でルート探索を開始します。

お知らせ

手順 **2** でルート探索後、本機にルート全表示画面が表示された場合は、本機で **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

友達マップを表示する

1 スマートフォン側でNaviConアプリを起動する。

2 スマートフォン側でNaviCon アプリを操作して、友達マップを開始する。

3 本機で MENU ➡ **設定／情報** ➡ **情報** ➡ **NaviCon友達マップ** をタッチし、“友達マップ” の **開始** をタッチする。

友達マップの表示をやめるには

終了 をタッチする。

開始 をタッチ後に **全体表示** をタッチすると、現在表示できる友達アイコンが全て表示される地図画面に切り換わります。（場合によっては、全て表示できないときもあります。）

開始 をタッチ後、
地図画面に切り換えると…

友達マップ画面

友達アイコン
※色で友達の通信状態を表します。
緑色：オンライン、灰色：オフライン

友達マップ表示を開始しているとインジケータを表示します。
※スマートフォンの通信回線の状態により色が変わります。
緑色：通信中、黄色：通信不能
※友達マップ表示を終了する、またはBLUETOOTH接続が切断されると、インジケータは消えます。

お知らせ

- NaviConアプリ側で地図をスクロール／拡大／縮小すると、本機の地図にも反映されます。
- NaviConアプリのバージョンによってはは NaviCon連携できない場合があります。NaviConアプリは最新のバージョンでご使用ください。
- NaviCon アプリ側での操作方法は、NaviConのWebサイトまたはNaviConのヘルプをご覧ください。

Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う

Drive T@lkerはスマートフォン用の音声認識アプリです。Drive T@lkerがインストールされたスマートフォンと連携することで、発話で目的地を設定したり、天気を調べたりすることができます。

音声認識を利用するには、スマートフォンアプリ「Drive T@lker」と、本アプリに適合したiPhoneおよびAndroidスマートフォンが必要です。
「Drive T@lker」アプリのダウンロードや適合スマートフォンについてはhttp://www.honda.co.jp/navi/support/ をご覧ください。

準備

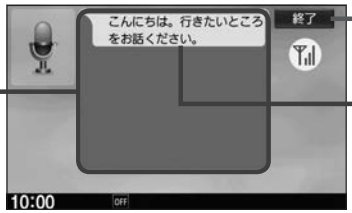
- **本機とスマートフォンのBLUETOOTH接続を確認してください。**
  （接続方法☞ G-2）
- **iPhoneでDrive T@lkerを使用する場合、ケーブル接続しているiPodやiPhoneを全て外してください。**
- **AndroidスマートフォンでDrive T@lkerを使用する場合、Apple CarPlay対応のiPhoneをケーブル接続しているときは外してください。**
- **スマートフォン側でDrive T@lkerアプリを起動してください。**

1 AUDIOを長押しする。

2 音声ガイドの問いかけに、本機のマイクに向かって発話して応答する。

※音声ガイド中は発話しても認識されません。
音声ガイドのあと、効果音が鳴ってから発話してください。

音声認識画面



発話を認識すると枠の色が緑色になります。（声が大きすぎる場合、赤色になります。適切な声の大きさで発話してください。）

音声認識を終了します。

問いかけ内容
（発話すると発話内容も表示されます。）

お知らせ

- 音声ガイド中に画面をタッチすると、音声ガイドをスキップできます。（手順 **2** で最初に問いかけの音声ガイドなど、スキップできない場合があります。）
- MENU／現在地を押すなどして音声認識画面から別の画面に切り換えたり、ハンズフリーで電話を発信／着信したりすると、音声認識は終了します。
- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。（ただし、Android端末の場合、Drive T@lkerアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。）

音声認識の流れ(目的地設定での問いかけと発話の例)

音声ガイド:「こんにちは。行きたいところをお話ください。」

発話　　:「近くのガソリンスタンド。」

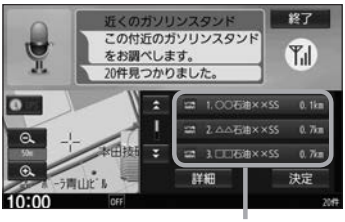
音声ガイド:「この付近のガソリンスタンドをお調べします。
・・・・。
20件のガソリンスタンドが見つかりました。
近い順に
1．○○石油××SS
2．△△石油××SS
3．□□石油××SS です。」

発話　　:「3番。」

音声ガイド:「□□石油××SSを目的地に設定しますか?」

発話　　:「はい。」

音声ガイド:「ルートを探索します。お気をつけて。」



ガソリンスタンドが見つかるとリスト表示します。
発話の他、リストをタッチしても選択ができます。
※タッチ操作をした場合、発話の認識は終了しますので、以降はタッチ操作で目的地設定を行ってください。

音声認識が使用できるシーンと発話例

本機の音声認識では、「目的地(経由地)を設定する」「探索条件を設定(変更)する」「天気を調べる」を行うことができます。下記の発話例を参考にしてご使用ください。

• 目的地を設定するときに

使用シーン例	発話例
住所で設定したい	「東京都港区南青山2の1の1」
近くで食事したい	「周辺のファミレス」
名称で目的地設定し、条件は 有料優先 で探索する	「東京駅。有料優先で」

• ルート案内中に

使用シーン例	発話例
経由地を設定したい	「コンビニに立ち寄る」
探索条件を 一般優先 に変えたい	「一般優先で」
目的地の天気が知りたい	「目的地の天気は?」

• その他

使用シーン例	発話例
翌日以降の天気が知りたい	「明日の天気」「週間天気」
音声ガイドをもう一度聞きたいとき	「もう一度」
言い間違いや、音声認識が間違って、やり直したいとき	「違う」「やり直し」「キャンセル」

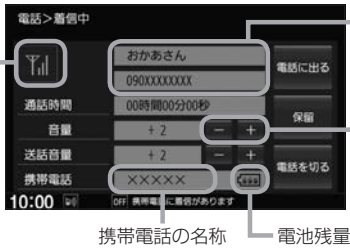
ハンズフリーで電話する

※ハンズフリーで電話するには、あらかじめ携帯電話を本機とBLUETOOTH接続(☞ G-2)しておく必要があります。

電話を受ける(着信時の操作)

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。

着信中画面



電波状態

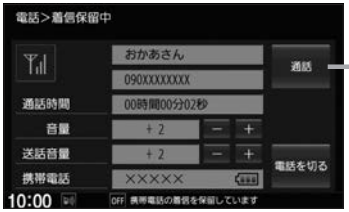
相手の名前、電話番号
(名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示)

呼び出し音の音量を調整します。
※着信中は VOL− / VOL+ でも呼び出し音量を調整できます。

携帯電話の名称

電池残量

1 操作したいボタンを選んでタッチする。

電話に出る	通話が開始され、通話中画面が表示されます。
保留	相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。 着信保留中画面  保留をやめて電話に出ます。 ※着信保留を行うためには、携帯電話が着信保留に対応している必要があります。(対応していない携帯電話ではメッセージが表示されます。) ※保留中も相手には通話料金がかかります。
電話を切る	かかってきた電話を応答せずに切ります。

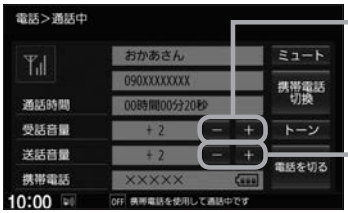
お知らせ

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。
- 電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
  また、電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

通話中の操作

通話が始まると、通話中画面が表示されます。

通話中画面



相手の声の音量(受話音量)を調整します。
※通話中は VOL − ／ VOL + でも受話音量を調整できます。

相手に伝わる自分の声の音量(送話音量)を調整します。

1 操作したいボタンを選んでタッチする。

ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます。) ※ミュートを行うと、 ミュート が 通話 に変わります。 通話 をタッチすると、自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話切換	ハンズフリーをやめて、携帯電話での通話に切り換えます。 ※携帯電話に切り換えると、 携帯電話切換 が ハンズフリー切換 に変わります。 ハンズフリー切換 をタッチすると、ハンズフリーでの通話に戻ります。
トーン	0 ～ 9 、 ＊ 、 # が表示されるので、タッチするとトーン入力をします。 ※走行中はトーン入力できません。
電話を切る	電話を切って通話を終了します。

お知らせ

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り換わらない場合があります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- ハンズフリー音声出力中は、案内出力スピーカーの設定(☞ D-18)で 右前 に設定していると右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となり、 左前 に設定していると左(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、右(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はオーディオの音量調整は無効となります。

通話中の地図画面表示について

- 通話中に 現在地 を押すと、地図画面が表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、 MENU ➡ 電話 をタッチしてください。

電話をかける

1 MENU ➡ 電話 をタッチする。

2 電話をかける方法を選んでタッチする。

ダイヤル	0 ～ 9 、 ＊ 、 # が表示されるので、 電話番号を入力して 発信 をタッチする。 ※36桁まで入力でき、画面には24桁まで表示します。
リダイヤル	前回電話をかけた番号に発信します。 メッセージを確認して、 はい をタッチする。 ※発信履歴が無い場合、 リダイヤル は選べません。
発信履歴 ／ 着信履歴	① 履歴リストが表示されるので、 電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 発信 をタッチする。
アドレス帳	① アドレス帳画面が表示されるので、 電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 番号1に発信 ／ 番号2に発信 を選んでタッチする。 ※あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤル画面が表示されるので、 電話をかける先の 発信 を選んでタッチする。 ※あらかじめワンタッチダイヤル画面で電話番号を登録しておく必要があります。G-13

電話をかけると、発信中画面が表示されます。

発信中画面

相手の名前、電話番号
（名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示）

呼び出し音の音量を調整します。
※発信中は VOL－ ／ VOL＋ でも呼び出し音量を調整できます。

発信を中止します。

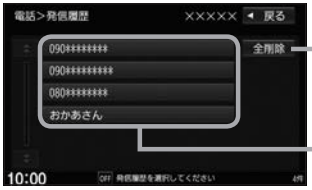
お知らせ

- 走行中は発信操作が制限されます。
- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
（例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります。）

発信履歴／着信履歴について

※表示するには、 MENU ➡ 電話 ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチします。

履歴リスト画面



履歴を全て削除する＊1

全削除 をタッチする。

タッチすると履歴の詳細画面が表示されます。

履歴を１つ選んで削除する

①**履歴リスト画面で削除する履歴を選んで タッチする。**

② **削除** をタッチする。

履歴詳細画面

＊1…発信履歴リスト画面で **全削除** をタッチした場合、発信履歴を全削除し、着信履歴は削除しません。（発信履歴と着信履歴を両方同時には削除しません。）

お知らせ

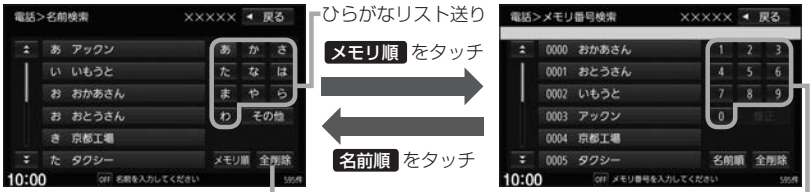
- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。（施設名は表示されません。）
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

アドレス帳画面について

※表示するには、 MENU ➡ **電話** ➡ **アドレス帳** をタッチします。

アドレス帳のリスト順序を メモリ順 ／ 名前順 に切り換えができます。

※携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合や、本機に転送したアドレス帳に正しく50音に割り当てされない場合があります。



タッチしたメモリ番号のアドレスまでリスト送りします。

全アドレスを削除する

全削除 をタッチする。

アドレスを１つ選んで削除する

①アドレス帳から削除するアドレスを選んでタッチする。
② **削除** をタッチする。

ワンタッチダイヤルについて

ワンタッチダイヤルは、あらかじめ電話番号を登録しておくことで、少ない操作回数で電話発信できる機能です。

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録する

① MENU **➡** 電話 **➡** ワンタッチダイヤル **をタッチする。**

⇨ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

②登録したい場所の 編集 **を選んでタッチする。**

③ “名称” の 編集 **をタッチし、文字を入力して** 決定 **をタッチする。**

④ “電話番号” の 編集 **をタッチし、電話番号を入力して** 決定 **をタッチする。**

名称を登録／変更します。

電話番号を登録／変更します。

名称と電話番号の登録を削除します。

車両のオーディオリモコンスイッチを使ってワンタッチダイヤルで電話発信する

※ステアリングリモコン設定(☞H-32)でオフフック機能を設定しておく必要があります。

※「iPhone接続時の利用機能」設定(☞G-17)で Apple CarPlay を選んでApple CarPlay対応のiPhoneを本機に接続している場合は、オーディオリモコンスイッチを使った発信はできません。

①オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。

⇨ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

②オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。

ワンタッチダイヤル画面

名称

オーディオリモコンスイッチを使った操作では、一番上で登録した電話番号に発信します。
(二番目以降の登録先に電話する場合は 発信 をタッチしてください。)

③発信確認のメッセージを確認して、
オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。

⇨発信を開始します。

ハンズフリーの通話設定をする

1 MENU ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 通話設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(－／＋など)をタッチして設定する。

着信音量

着信時の呼び出し音の音量を － ／ ＋ で設定できます。

受話音量

通話中の相手の声の音量を － ／ ＋ で設定できます。

送話音量

通話中の相手に伝わる自分の声の音量を － ／ ＋ で設定できます。

ノイズキャンセル

相手が聞き取りやすくなるよう、マイクに入ったノイズ音(周囲の騒音など)を小さく抑えて送話する機能の ON ／ OFF を設定できます。

お知らせ

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話しください。
- ノイズキャンセルは、ノイズ(騒音)の種類によっては十分に抑えられない場合があります。
- 携帯電話(相手側を含む)によっては、ノイズキャンセルを ON にすると自分の声が途切れて相手にうまく伝わらない場合があります。この場合は、ノイズキャンセルを OFF にすると聞き取りやすくなる場合があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

1 携帯電話を本機とBLUETOOTH接続する。☞ G-2

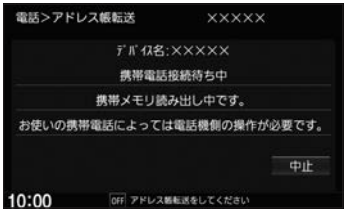
2 MENU ➡ 電話 ➡ 携帯メモリ読み出し をタッチする。

お知らせ

- お使いの携帯電話の機種によっては、 携帯メモリ読み出し をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。(この場合の転送は全件転送のみとなります。)
  この場合、☞ G-15手順 4 に進んでください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。
- BLUETOOTH Audio機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できない場合があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

3 携帯電話を操作して、転送したいアドレス帳を選んでデータ送信を開始させる。



お知らせ

アドレス帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。
追加保存 ／ 上書き保存 を選んでタッチしてください。
上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。

4 アドレス帳転送(読み出し)が完了したら、 終了 をタッチする。

お知らせ

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。(転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。)
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。
- 転送したアドレス帳を見たり、アドレスを削除するには☞ G-12

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話によっては本機へアドレス帳を転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のエンジンスイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 転送中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前:全角9文字まで／よみ:半角18文字まで／電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。

Apple CarPlayを使う

Apple CarPlayを起動する

本機でApple CarPlayが使用できるiPhone

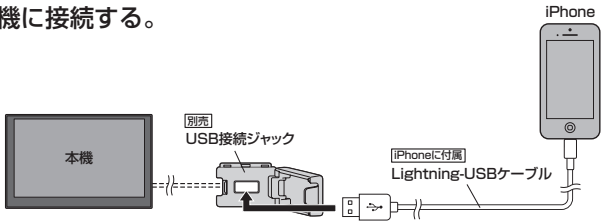
機種：iPhone 5／iPhone 5s／iPhone 5c／iPhone 6／iPhone 6 Plus／iPhone 6s／iPhone 6s Plus／iPhone SE

iPhone のソフトウェアを最新バージョンにしてお使いください。

適合情報はhttp://www.honda.co.jp/navi/support/をご確認ください。

※あらかじめ、“iPhone接続時の利用機能”を Apple CarPlay に設定しておく必要があります。(☞ G-17)
（初めて本機を起動したときにiPhoneの機能選択画面で Apple CarPlay を選んでいる場合は、すでに Apple CarPlay に設定されています。）

1 **iPhoneを本機に接続する。**



2 MENU ➡ Apple CarPlay **をタッチする。**

⇨Apple CarPlay画面が表示されます。

お知らせ

次の機能はApple CarPlay画面以外からでも起動できます。

Siriを起動する

AUDIO **を長押しする。**

Apple CarPlayのマップを起動する

現在地 **を長押しする。**

お知らせ

- 本機の設定でApple CarPlayを使用する設定にしていても、iPhone側で使用しない設定にしている場合はApple CarPlayは使用できません。iPhone側でもApple CarPlayを使用する設定にしてください。
- “iPhone接続時の利用機能” を Apple CarPlay に設定してApple CarPlay対応のiPhoneを本機に接続している間は、以下の動作となります。
  - ・全てのBLUETOOTH接続が切断されます。
  - ・以下の機能は使用できません。
    ハンズフリー電話(Apple CarPlayの電話機能は可能)、ワンタッチダイヤル、音声認識(Siriは可能)、NaviCon、携帯電話のアドレス帳の転送、BLUETOOTH接続に関する操作(☞ G-2～G-4)、SD再生(SDソース)、BLUETOOTH Audio、iPod再生(iPodソース)
    ※iPhoneの音楽再生はApple CarPlayで行ってください。
    ※ハンズフリー電話はApple CarPlayの電話機能で行ってください。
  - ・ 現在地 を押すとApple CarPlay使用中であっても、Apple CarPlayの地図画面の現在地ではなく、ナビゲーションの地図画面の現在地を表示します。 AUDIO を押すとApple CarPlayの状態によってはApple CarPlay画面を表示します。
- 走行中はApple CarPlayの動作が制限される場合があります。
- iPhoneの電波状態が悪い場合、Apple CarPlayの動作が制限されることがあります。
- iPhoneの状態によっては、Apple CarPlayの動作が制限されることがあります。
- Apple CarPlayはApple社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlay連携機能設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ Apple CarPlay連携機能設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(Apple CarPlay ／ iPod など)から選んでタッチする。

iPhone接続時の利用機能

Apple CarPlay ····Apple CarPlay対応のiPhoneをUSB接続ジャックに接続したとき、Apple CarPlayを利用できる状態にします。

iPod ····Apple CarPlay対応のiPhoneをUSB接続ジャックに接続したとき、iPod再生機能(iPodソース)を利用できる状態にします。

※本設定をiPhone接続中に行った場合、すぐには設定が有効になりません。iPhoneを取り外して次に接続したときに有効になります。

ルート案内の音量

Apple CarPlayを使用してルート案内するときの案内音量を設定できます。

－ ／ ＋ ····音量を下げたり上げたりします。
※消音中は調整できません。

消音 ····消音と消音解除を切り換えます。(表示灯点灯：消音、消灯：消音解除)

H
その他の機能と設定

VICS情報を見る……H-2
手動表示(文字情報／簡易図形情報を見る)……H-2
地図上表示……H-3
自動割り込み表示……H-3
FM多重放送(VICS受信)の選局をする……H-4
VICS情報の地図表示設定をする……H-5
ETC／ETC2.0の設定をする……H-6
ETCの設定をする……H-6
ETC2.0の設定をする……H-7
ETC情報を見る……H-7
ドライブレコーダーの操作・設定をする……H-8
録画について……H-8
録画した動画・静止画を再生する／削除する／保存フォルダへ移動する……H-9
その他の操作(現在の映像を表示・設定)……H-10
記念距離メモリー……H-12
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する……H-14
フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする……H-15
リアカメラ映像を表示する……H-16
リアカメラdeあんしんプラスを使用する……H-18
パーキングセンサー表示……H-20
カメラについて……H-22
カメラのガイドライン表示について……H-22
走行軌跡を記録する……H-23
地点登録をする……H-24
internaviでSDカードに保存した地点を本機に登録する……H-24
自宅／登録地点の編集をする……H-25
自宅／登録地点を削除する……H-28
オプションボタンを設定する……H-28
キー操作音を設定する……H-29
セキュリティ機能を設定する……H-29
後席会話サポート機能を使う……H-30
オーディオリモコンスイッチを使う……H-31
オーディオリモコンスイッチの操作……H-31
ステアリングリモコン設定……H-32
画面の画質調整とサイズ切換をする……H-34
画面を消す……H-35
データを初期化(消去)する……H-36
本体情報を見る……H-36

VICS情報を見る

本機は下記を利用したVICS情報を受信することができます。

・FM多重放送(FM多重放送の選局が必要です。☞H-4)

・ETC2.0(別売のETC2.0車載器の接続が必要です。)

VICS情報は情報内容によって表示方法が異なり、手動表示／地図上表示／自動割り込み表示で表示されます。

お知らせ

- 車のエンジンスイッチをロックに入れたり、FM多重放送の受信周波数が変わると、受信したVICS情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間が経過した場合、VICS情報は消去されます。

手動表示(文字情報／簡易図形情報を見る)

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ VICS をタッチする。

2 “FM VICS” の 文字情報 *1 ／ 図形情報 *1 ／ 緊急情報 *1、
“ETC2.0” の 受信情報 *2 から表示したいものを選んでタッチする。

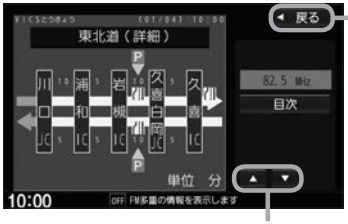
＊1…表示にはFM多重放送を選局して情報を受信する必要があります。

＊2…表示には別売のETC2.0車載器で情報を受信する必要があります。

文字情報表示画面(例)

目次内容　　目次選択ボタン

簡易図形情報表示画面(例)



目次画面に戻ります。

ページを戻し／送りします。

ETC2.0受信情報表示画面(例)

再生 ：音声情報を再生します。

停止 ：音声情報再生を停止します。

※音声情報が無い場合、再生はできません。

ページを戻し／送りします。

お知らせ

手動表示の情報を表示中に緊急情報受信した場合は、自動的に緊急情報表示に切り換わります。この場合、自動的にはもとの画面に戻りませんので、もとの画面に戻すには再び上記の操作を行ってください。

地図上表示

VICS情報を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞などの情報が表示されます。

ボタンに表示の時刻は、
VICS情報提供時刻です。
(“--:--” のときはVICS情報が未受信です)

VICS渋滞情報

渋滞情報を矢印で表示します。
赤色：渋滞
橙色：混雑
緑色：順調

VICSマーク

規制などの情報をマークで表示します。
<マーク一例>

工　事	車線規制	事　故	路上障害	チェーン規制

地図をスクロールさせてVICSマークにカーソル(−┼−)を合わせると、詳細情報が表示されます。

黄色の線は規制範囲を示します。

お知らせ

- 情報が多い場合は、VICS情報表示するまでに数秒かかることがあります。
- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によっては地図上表示できない場合があります。
- VICS情報表示は、地図をスクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。

自動割り込み表示

ETC2.0の受信情報や緊急情報などVICS情報には自動割り込み表示するものがあります。

割り込み表示画面(例)

ページを戻し／送りします。

再生 ：音声情報を再生します。
停止 ：音声情報再生を停止します。
※音声情報が無い場合、再生はできません。

お知らせ

再探索中など一部の場合で割り込み表示しないことがあります。

FM多重放送(VICS受信)の選局をする

VICS情報を見るには、FM多重放送でVICS情報を提供している放送局を選局してください。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ VICS ➡ 周波数設定 をタッチする。

2 選局方法を選んで選局する。

自動選局

自動で放送局をサーチして、選局する方法です。

自動選局 をタッチし、表示灯を点灯させる。

(表示灯点灯：自動選局に設定、消灯：自動選局解除)

※自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。
(放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります。)

※自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り換えます。

手動選局

受信周波数を手動で変更して選局する方法です。

＋ ／ － をタッチして、周波数を変える。

※タッチするたびに0.1 MHzずつ変わります。
タッチし続けると始めは0.1 MHzずつ、その後1 MHzずつ変わります。

エリア選局

現在地周辺の放送局リストから選局する方法です。

① **エリア選局 をタッチする。**
⇨放送局リストが表示されます。

② **放送局リストから選んでタッチする。**

プリセット選局

あらかじめ本機にプリセット(登録)しておいた放送局をワンタッチで選局する方法です。

プリセットボタンから選局したい放送局を選んでタッチする。

お知らせ

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければVICS情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、VICS情報は受信できない場合があります。

プリセットボタンに放送局を登録する

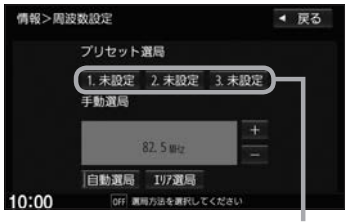
放送局を3局まで登録できます。

1 登録したい放送局を選局する。

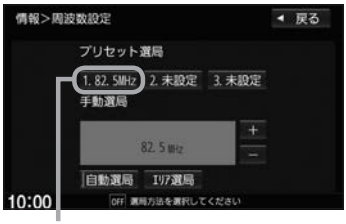
お知らせ

自動選局に設定している場合は解除してください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始め、登録する前に周波数が変わってしまう場合があります。

2 登録先のプリセットボタンを選んで長押しする。



プリセットボタン



選局中の放送局周波数が上書きで登録されます。

VICS情報の地図表示設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 渋滞情報 ➡ VICS表示設定 をタッチする。

2 表示設定したい項目を選んでタッチし、
表示灯の点灯⇔消灯を切り換えて設定する。

※点灯：表示、消灯：表示しない

一般道 …一般道路のVICS情報の表示／非表示
有料道 …有料道路のVICS情報の表示／非表示
※表示灯を点灯させると、下記の **規制** ／ **点滅** ／ **駐車場** ／ **渋滞無し** ／ **渋滞混雑** の表示設定に従ってVICS情報表示をします。

規制 ……規制情報の表示／非表示
点滅 ……渋滞情報などを示す矢印表示を点滅させる／させない
駐車場 ……駐車場情報の表示／非表示
渋滞無し ……渋滞情報のうち<緑色：順調>について表示／非表示
渋滞混雑 ……渋滞情報のうち<赤色：渋滞>と<橙色：混雑>について表示／非表示

ETC／ETC2.0の設定をする

必ず、ETCシステム利用規定などをお読みください

- ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- 利用規定などは、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。

ETCの設定をする

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)またはETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETCの設定を行うことができます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ ETC設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない など)を選んでタッチする。

カード挿入アイコン表示

ETCカードを挿入中、本機の情報バーにアイコン表示を する ／ しない を設定できます。

ETC ：カード挿入アイコン　ETC ：カードの期限切れ、カードエラー、車載器エラー

本体ブザー音

ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせを する ／ しない を設定できます。

※標準装備のETC車載器を接続している場合は設定できません。

音声案内

本機でETC利用料金などを音声案内 する ／ しない を設定できます。

※利用料金などの音声案内は、画面の表示と異なる場合があります。

カード入れ忘れ警告

本機を起動したときETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせ する ／ しない を設定できます。

カード有効期限案内

ETCカードの有効期限まで2か月以下の場合、音声とメッセージ画面でお知らせ する ／ しない を設定できます。

※本機起動中にETCカードを挿入したとき、もしくは挿入した状態で本機を起動したときにお知らせします。

※ETCカードの有効期限が切れている場合は、 しない に設定してもお知らせします。

表示割込み時間

5秒 10秒 15秒 30秒 …ETC関連のお知らせがあった場合、設定した時間だけ割り込み表示してお知らせします。

しない ……割り込み表示しません。(ただし、料金所通過時と料金支払時は表示します。)

ETC2.0の設定をする

ETC2.0車載器を接続している場合は、ETC2.0の交通情報サービスを利用したり、ETC2.0の設定を行うことができます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 渋滞情報 ➡ ETC2.0設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない)を選んでタッチする。

ETC2.0受信音

ETC2.0で情報を受信すると音を鳴らす(する)／鳴らさない(しない)を設定できます。
※ しない に設定していても、重要な情報(注意や警戒を喚起する情報など)の場合は受信音が鳴ります。

ETC2.0割込み

ETC2.0で自動割り込み表示する情報を受信したとき、割り込み表示を する ／ しない を設定できます。
※ しない に設定していても、重要な情報(注意や警戒を喚起する情報など)の場合は割り込み表示します。

ETC2.0音声自動再生

ETC2.0で音声情報がある情報を受信した場合、音声の自動再生を する ／ しない を設定できます。

ETC2.0アップリンク

本機およびETC2.0車載器で収集した情報を、路側機へ自動的に送信 する ／ しない を設定できます。
※走行開始地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。
※路側機とは、情報を配信するため道路に設置された無線基地局のことです。

ETC情報を見る

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)またはETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETC情報(利用履歴など)を見ることができます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ ETC情報 をタッチする。

2 表示したい情報を選んでタッチする。

ドライブレコーダーの操作・設定をする

別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作詳細については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

☞H-9〜H-11の操作をするときに ドライブレコーダー をタッチすると、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、 現在地 などを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画について

- **常時録画と手動録画**

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。*1(常時録画の動画は古い順に自動削除*2されます。)
手動録画	ナビゲーションを操作して録画を行います。(手動録画した動画は自動削除されません。)

＊1…ドライブレコーダーの再生中(記念距離メモリーの映像記録の表示中を含む)や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。(録画中／録画停止中は情報バーに表示されるマークでご確認ください)

＊2…録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDHCメモリーカードの空き容量が少なくなると、常時録画された動画ファイルを録画日の古い順に自動削除します。(急加速／急減速を検知した記録がある動画ファイルは自動削除されません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速／急減速を新たに検知した場合は、古い順に自動削除する場合があります。)

- **ドライブレコーダーで静止画撮影することができます。**
- **録画された動画／静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDHCメモリーカードに保存します。なお、動画は1分間ずつを1ファイルにして保存します。**

お知らせ

情報バー表示について

情報バーに以下のマークが表示されます。

- ：常時録画中
- ：手動録画中(マークの中心が赤色)
- ：録画停止中

常時録画中の場合(例)

マーク

手動録画する

1 (オプションボタン)を長押しする。

⇨手動録画が開始されます。

お知らせ

手動録画を停止するには、再度、 (オプションボタン)を長押ししてください。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

※あらかじめQUICKメニューに 静止画撮影 (ドライブレコーダー静止画撮影)を設定しておく必要があります。

1 現在地の地図画面で QUICK ➡ 静止画撮影 をタッチする。

録画した動画・静止画を再生する／削除する／保存フォルダへ移動する

再生する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ ドライブレコーダー ➡ 再生 をタッチする。

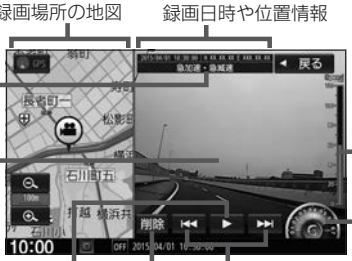
2 リストから再生したい動画／静止画を選んでタッチし、▶再生 をタッチする。

- 動画リスト／静止画リストを切り換えます。
- 保存フォルダに移動した動画のリストを表示します。*1
- 全ての動画をリスト表示します。*2
- 表示中のリストを手動録画の動画のみにします。
- マーク表示
  - ：手動録画したファイル
  - ：急加速／急減速情報のあるファイル
  - ：合流地点情報のあるファイル
- リストを録画日時の１時間分だけ前後に送ります。

＊1…保存フォルダ をタッチした後に動画リストに戻るには 戻る をタッチしてください。

＊2…動画リストのときは保存フォルダに移動したものを除く全ての動画を、保存フォルダの動画リストのときは保存フォルダ内の全ての動画を表示します。

動画再生画面



- 録画場所の地図
- 録画日時や位置情報
- 動画情報
- ドライブレコーダーの映像
  ※画面をタッチすると全画面表示になります。
- 録画時点の車の走行速度
- 録画時点の車の加速／減速のレベル
- 前後の動画を再生（タッチし続けると早戻し／早送り）
- 再生／一時停止
- 動画を削除

静止画再生画面

- 撮影場所の地図
- 撮影日時や位置情報
- ドライブレコーダー映像の静止画
  ※画面をタッチすると全画面表示になります。
- 撮影場所を目的地に設定します。
- 撮影場所を地点登録します。
- 静止画を削除
- 前後の静止画に切り換え

お知らせ

動画再生画面／静止画再生画面について

- 表示される走行速度や加速／減速レベルは目安です。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報（加速／減速のレベルなど）や 地点登録 ・ 目的地にする ボタンが非表示になることがあります。

削除する

1 下表の操作を行う。

動画または静止画を全て削除する	①「再生する」（☞ H-9）の手順 2 で 動画 ／ 静止画 を選んでタッチする。 ② 全削除 をタッチする。 ※上記の操作では、保存フォルダのファイルは削除されません。保存フォルダのファイルを全て削除するには、「再生する」☞ H-9の手順 2 で 保存フォルダ ➡ 全削除 をタッチしてください。
1つ選んで削除する	① 削除したい動画／静止画を再生する。 ② 再生画面で 削除 をタッチする。

保存フォルダへ移動する

※保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
※保存フォルダへ移動した動画は自動削除されなくなります。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ ドライブレコーダー ➡ 再生 をタッチする。

2 リストから移動したい動画を選んでタッチし、 保存 をタッチする。

その他の操作（現在の映像を表示・設定）

ドライブレコーダーの現在の映像を本機に表示する

※走行中は映像を表示しません。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ ドライブレコーダー ➡ カメラモニター をタッチする。

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを初期化する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ ドライブレコーダー ➡ 設定 をタッチする。

2 “SDカードの初期化” の 初期化する をタッチする。
※初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。

ドライブレコーダーの設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ ドライブレコーダー ➡ 設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない など)を選んでタッチする。

画質

録画の画質を 高画質 ／ 標準 から設定できます。
※録画1分間のファイルサイズ… 高画質 ：約58 MB、 標準 ：約9 MB

音声録音

動画を録画時に音声録音も する ／ しない を設定できます。

手動録画の自動停止

手動録画を開始後、自動停止する時間を 1分 ／ 3分 から設定できます。
また、 自動停止しない を設定することもできます。

動画情報表示

急加速・急減速 の表示灯を点灯させると、動画を再生中、急加速または急減速を行ったシーンで表示が現れます。
合流地点 の表示灯を点灯させると、動画を再生中、高速道路の合流地点のシーンで表示が現れます。

感度設定

◀ ／ ▶ をタッチしてドライブレコーダーの急加速・急減速の検知感度を調整できます。
※感度を高く設定するほど(小さい加速でも)急加速だと判定されやすくなります。

ブザー音

ドライブレコーダーのブザー音を鳴らす(する)／鳴らさない(しない)を設定できます。

お知らせ

- ドライブレコーダーの合流地点に関する機能が有効になるためには、録画するときに本機で合流地点の音声案内がされている必要があります。
- 設定を初期化するには、“設定初期化”の 初期化する をタッチしてください。

記念距離メモリー

車の総走行距離が所定の距離(例：7777 km、10000 kmなど)に達したとき、そのときの日時・場所を自動記録します。さらに、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)を接続している場合は、ドライブレコーダーの映像を静止画で自動記録します。

※車両の装備やグレードが記念距離メモリー機能に対応している必要があります。☞ A-11

記念距離メモリー画面(例)

記録時にいた場所を地図で表示します。*1

記録時の総走行距離／日時／位置情報*1／走行速度*1

画面を画像ファイルにして本機のSDカードに保存します。*2

記念距離メモリー画面(別売のドライブレコーダーの映像記録がある場合の例)

記録時の総走行距離／日時／位置情報*1／走行速度*1

記録時にいた場所を地図で表示します。*1

ドライブレコーダー映像の静止画
※画面をタッチすると全画面表示になります。

画面を画像ファイルにして本機のSDカードに保存します。*2

前後の静止画に切り換え*3

＊1…位置情報や走行速度は記録できない場合があります。その場合は表示されません。ドライブレコーダーの映像記録があり位置情報の記録が無い場合は、映像の全画面表示になります。

＊2…SDカードを本機に挿入しておく必要があります。画像ファイルはSDカード内の"PRIVATE"フォルダにビットマップ形式で保存されます。

＊3…ドライブレコーダー映像の記録は、所定の総走行距離に達したとき約10秒おきに6枚記録します。

保存した画像ファイルは個人で楽しむ目的以外(商用利用や事故時の証拠資料など)に使用しないでください。

お知らせ

- 本機の起動中に所定の総走行距離に到達した場合、日時・位置・速度が正常に記録されない場合があります。
- 別売のドライブレコーダーが録画停止中(本機でドライブレコーダー設定や再生、記念距離メモリーを表示しているときなど)に所定の総走行距離に到達した場合、映像の記録はできません。また、映像記録の途中に車のエンジンスイッチを変更した場合など、映像の記録ができない場合があります。

記念距離メモリーを表示する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 記念距離メモリー表示 をタッチする。

2 表示したいものをリストから選んでタッチし、 詳細 をタッチする。

⇨記念距離メモリー画面が表示されます。

お知らせ

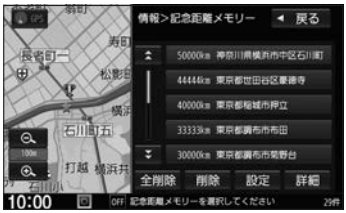
詳細 をタッチ後、ドライブレコーダー映像が表示された場合、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、 現在地 などを押して記念距離メモリー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

記念距離メモリーの記録を削除する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 記念距離メモリー表示 をタッチする。

2 下表の操作を行う。

全て削除する	全削除 をタッチする。
1つ選んで削除する	① リストから削除したいものを選んでタッチする。 ② 削除 をタッチする。



お知らせ

所定の総走行距離に達した直後に記録を削除すると、再度記録されてしまうことがあります。その場合は総走行距離が増えるまで移動してから削除をしてください。

記念距離メモリーを設定する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 記念距離メモリー表示 ➡ 設定 をタッチする。

2 各項目の する ／ しない をタッチする。

記念距離メモリー

記念距離メモリーによる自動記録を する ／ しない を設定できます。

間もなくお知らせ

車の総走行距離が自動記録を行う所定の距離に近づいてきたとき、お知らせを する ／ しない を設定できます。

※“記念距離メモリー”を する に設定している場合のみ設定可能です。

※所定の総走行距離まであと10 km程度になると、数回お知らせを行います。

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する

別売の各カメラの接続が必要です。またカメラ映像表示への切り換え操作には、オプションボタンの設定が必要です。 H-28
（各カメラについて詳しくは、別売のフロントカメラ／コーナーカメラの取扱説明書をご覧ください）

1 **（オプションボタン）を押す。**

⇨カメラ映像に切り換わります。
※もとの画面に戻したいときは、再度（オプションボタン）を押してください。

お知らせ

- カメラ映像は低速走行時のみ切り換えることができます。
- 高速走行時に（オプションボタン）を押した場合、低速走行になってからカメラ映像に切り換わります。（ただし、低速になる前に2度目の（オプションボタン）を押す操作をした場合は、カメラ映像の切り換えがキャンセルされます。）

コーナーカメラ映像画面（例）

タッチすると、下記のボタンが表示されます

ガイドライン表示ON
：ON⇔OFFが切り換わります。

決定
：ガイドライン表示設定を終了します。

※ **ガイドライン表示設定** は、カメラ映像をタッチすると表示されます。

コーナーカメラのビューを切り換える

※コーナーカメラ（2ビュー）接続時のみ

1 **切り換えたい方のボタン（ノーマルビューボタン／トップダウンビューボタン）をタッチする。**

ガイドラインの表示／非表示を切り換える

※フロントカメラではガイドライン表示をしません。

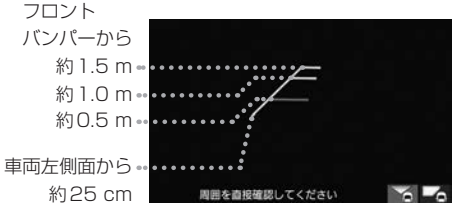
1 **カメラ映像をタッチし、 ガイドライン表示設定 をタッチする。**

2 **ガイドライン表示ON ／ ガイドライン表示OFF をタッチする。**

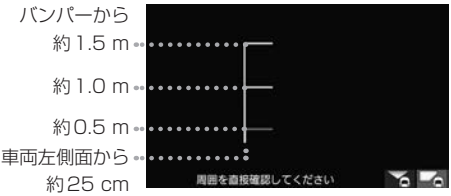
3 **決定 をタッチする。**

コーナーカメラのガイドラインの見かた

ノーマルビューの場合



トップダウンビューの場合



※トップダウンビューはコーナーカメラ(2ビュー)接続時のみ表示可能なビューです。

- コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。あくまで運転の補助手段とし、直接目で安全確認しながら運転してください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡
フロントカメラ設定 または コーナーカメラ設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない)をタッチする。

フロントカメラ自動表示 | **コーナーカメラ自動表示**

する …… 車が低速走行になると、自動的にカメラ映像を表示する
しない … 自動的にカメラ映像を表示しない

登録地点検知

する …… カメラ地点(カメラ映像の自動切換設定がされている登録地点)に近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する
※低速で走行していない場合は表示しません。
しない … 自動的にカメラ映像を表示しない

カメラインジケータ表示

情報バーに アイコンを表示するかどうか設定できます。
する …… カメラが接続されていることを アイコンで表示する
※アイコンが緑色：一定以下の速度でカメラ自動表示する
アイコンが灰色：カメラ自動表示しない
しない … アイコンを表示しない

リアカメラ映像を表示する

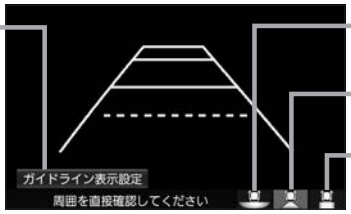
標準装備または別売のリアカメラの接続が必要です。
(リアカメラについて詳しくは、標準装備または別売のリアカメラの取扱説明書をご覧ください)

1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

⇨カメラ映像に切り換わります。
※リバース以外に入れると、もとの画面に戻ります。

タッチすると、下記のボタンが表示されます

ガイドライン表示ON
：ON⇔OFFが切り換わります。
ダイナミックガイドラインON *2
：ON⇔OFFが切り換わります。
決定
：ガイドライン表示設定を終了します。



※ **ガイドライン表示設定** は、カメラ映像をタッチすると表示されます。

リアカメラのビューを切り換える*1

1 切り換えたいビューのボタン(ワイドビューボタン／ノーマルビューボタン／トップダウンビューボタン)をタッチする。

ガイドラインの表示／非表示を切り換える

1 カメラ映像をタッチし、**ガイドライン表示設定** をタッチする。

2 **ガイドライン表示ON** ／ **ガイドライン表示OFF** をタッチする。

3 **決定** をタッチする。

ダイナミックガイドラインの表示／非表示を切り換える*2

1 カメラ映像をタッチし、**ガイドライン表示設定** をタッチする。

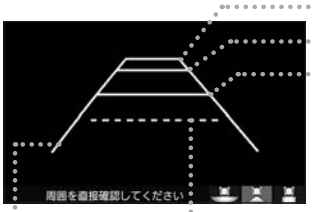
2 **ダイナミックガイドラインON** ／ **ダイナミックガイドラインOFF** をタッチする。
※ガイドラインを表示している必要があります。
※トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。

3 **決定** をタッチする。

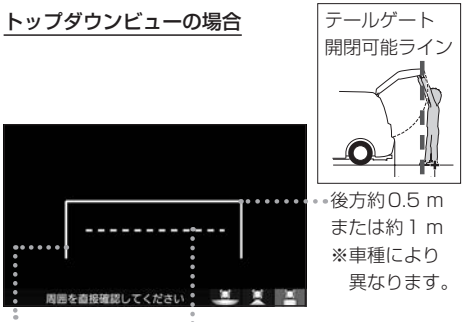
＊1…ビュー切り換えは、リアワイドカメラを接続している場合のみ可能です。
＊2…車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。☞ A-11

ガイドラインの見かた

ノーマルビューおよびワイドビューの場合



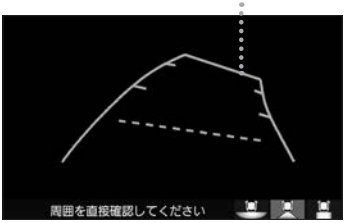
トップダウンビューの場合



ダイナミックガイドラインについて

ハンドルを大きく切ったとき、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインです。

※ハンドル角度にあわせてラインの向きが変わります。



リアカメラ次回表示ビューの設定について

リアワイドカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。

※前回トップダウンビューを見ている状態でリアカメラ映像を見終わって、次にリアカメラ映像に切り換えた場合のみ、設定したビューで表示します。

※リアカメラを見終わった後に本機の電源を切っておらず、かつ10 km/hを超えた走行もしていない場合は、設定通りには切り換わりません。

設定方法

① MENU **➡** 設定／情報 **➡** システム設定 **➡** リアカメラ設定 **をタッチする。**

②“リアカメラ設定次回表示ビュー”の設定項目で次回表示したいビューのボタンを選んでタッチする。

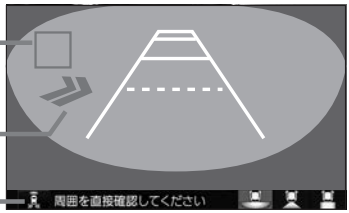
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラのビュー切り換えなど徐行であれば停車しなくても操作可能な場合がありますが、操作をするときは十分に周囲の安全を確認しながら行ってください。

リアカメラdeあんしんプラスを使用する

リアカメラdeあんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットを接続すると、以下の機能を使用することができます。（詳しくは、別売のリアカメラdeあんしんプラスの取扱説明書をご覧ください）

後退出庫サポート

駐車場などから後退で出庫するときに、リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両等を検知し、運転者にお知らせする機能です。



接近物に枠を表示します。
（ワイドビューの場合のみ）

後方に接近物を検知すると
接近矢印表示（≫）します。

タッチするたびに後退出庫サポートの
ON／OFFが切り換わります。

後退出庫サポートがONになると
アイコンの表示灯が緑色に点灯します。

後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせする機能です。
※走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告表示にはレベル低とレベル高があります。

警告レベル低

警報レベル低ではマーク表示で警告します。

：左隣の車線で他車が走行中
：右隣の車線で他車が走行中
：両隣の車線で他車が走行中

警告レベル高

警報レベル高では警報音と画面表示で警告します。
※警報レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

車線キープサポート

車両の車線逸脱の可能性を検知すると、運転者にお知らせする機能です。
※走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警報音と画面表示で警告します。

後方死角サポート／車線キープサポートのアイコンについて

リアカメラの設定(☞H-20)で、それぞれのサポート設定を する に設定している場合、地図画面／目的地メニュー画面／AUDIOメニュー画面／オーディオ画面(ラジオ・音楽再生画面のみ)で、それぞれのアイコンが表示されます。

後方死角サポートのアイコン

車線キープサポートのアイコン

アイコンをタッチすると、サポート機能のON／OFFを切り換えることができます。

(ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色)

※緑色のアイコンに斜線が表示されているときは、ONにはなっていますが、走行速度が一定以下のため、警告をしない状態であることを示します。

お知らせ

リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作できません。水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

汚れアイコン

お知らせ

後退出庫サポートについて

- このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って後退を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

後方死角サポートについて

- このシステムは隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを知らせ、運転者の車線変更の操作の際にサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 車線変更の際は、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車線キープサポートについて

- このシステムは走行車線から逸脱しそうなときに警報で注意を促すものであり、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨や霧などの視界不良を補助するためのシステムではありません。
- 常に周囲の状況を確認し、安全運転を心掛けて走行してください。

リアカメラdeあんしんプラスの設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ リアカメラ設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない など)をタッチする。

リアカメラ設定次回表示ビュー

☞H-17

後退出庫サポート **後方死角サポート** **車線キープサポート**

各サポート機能を使用 する ／ しない をそれぞれ選択できます。

運転支援警報音

後退出庫サポート・後方死角サポート・車線キープサポートの警報音の音量を − ／ ＋ をタッチして設定できます。

パーキングセンサー表示

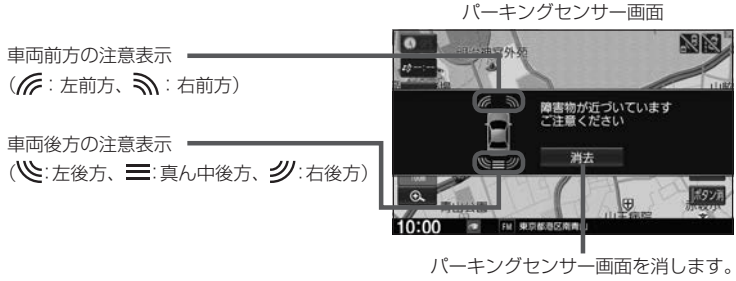
車両周囲の障害物をセンサーで検知すると、本機の画面で注意を促す表示を行います。(詳しくは、別売のパーキングセンサーの取扱説明書をご覧ください。)

※別売のパーキングセンサーの接続が必要です。

※車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

カメラ映像以外の画面のとき

障害物を検知すると、パーキングセンサー画面を割り込み表示して、その画面上に注意表示をします。



パーキングセンサー表示

カメラ映像(リアカメラなど)の画面のとき

障害物を検知すると、カメラ映像の画面上に注意表示をします。

フロントカメラ映像画面

車両前方の注意表示
(: 左前方、: 右前方)

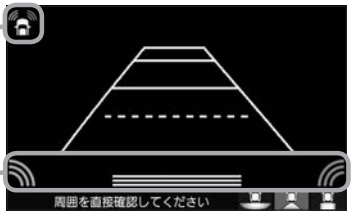
コーナーカメラ映像画面

車両前方の注意表示
(: 左前方、: 右前方)

リアカメラ映像画面

車両前方の注意表示
(: 左前方、: 右前方)

車両後方の注意表示
(:左後方、:真ん中後方、:右後方)



■ 障害物を検知したときの作動状態

ブザー音の間隔	障害物との距離※1			インジケーター
	前方センサー	後方センサー		
	左前方もしくは右前方	左後方もしくは右後方	真ん中後方※2	
鳴らない	障害物なし			消灯
長い	—	—	100 cm付近	点滅(黄色)※3
短い	50 cm付近	50 cm付近	50 cm付近	点滅(橙色)
非常に短い	40 cm付近	40 cm付近	40 cm付近	
連続	30 cm付近、もしくはそれ未満	30 cm付近、もしくはそれ未満	30 cm付近、もしくはそれ未満	点滅(赤色)

※1：距離は車両により異なる場合があります。詳細については、パーキングセンサーの取扱説明書をご確認ください。

※2：車両により装備の無い場合があります。

※3：このときは、真ん中後方センサーのみが障害物を検知します。

パーキングセンサーの設定をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ パーキングセンサー設定 をタッチする。

2 する ／ しない をタッチする。

する ……カメラ映像以外の画面のときにパーキングセンサーで障害物を検知した場合、パーキングセンサー画面を割り込み表示します。

しない …パーキングセンサー画面の割り込み表示をしません。

カメラについて

- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイドラインは車幅や距離感覚を補うための目安です。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。)
- 夜間または暗所などの状況により、カメラの映像が見えない(または見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

カメラのガイドライン表示について

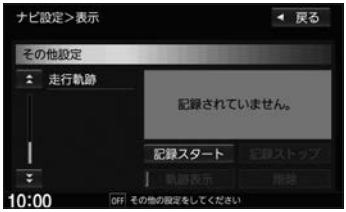
- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドラインの見かた(☞H-15、H-17)のガイドラインの距離は、車種によって異なります。
- ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときはガイドラインと実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
  ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
  ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

走行軌跡を記録する

通った道にしるしを付けて記録し、通った道をあとで確認できます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 表示 をタッチし、
“走行軌跡”の画面までページ送りする。

2 “走行軌跡”の画面で、走行軌跡の記録や表示の操作をする。



走行軌跡の記録を開始する

記録スタート をタッチする。

※記録をやめるには **記録ストップ** をタッチしてください。

走行軌跡の表示／非表示

軌跡表示 をタッチして表示灯の点灯⇔消灯を切り換える。

点灯：記録した走行軌跡を地図上に青い点で表示
消灯：走行軌跡を表示しない
※走行軌跡記録中は軌跡表示をやめることができません。

走行軌跡の記録を削除する

削除 をタッチする。

お知らせ

- 走行軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量を超えると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 走行軌跡の記録をやめ、再度記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- 走行軌跡の記録をやめても、やめるまでの走行軌跡の記録は残っています。走行軌跡の記録を削除するには **削除** をタッチしてください。
- 走行軌跡の記録が無い場合、または記録中は、 **軌跡表示** ／ **削除** の操作ができません。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行中の操作はできません。

地点登録をする

地点を本機に登録できます。(最大300地点・自宅は含まれません。)

※地点を登録するとその地点を地図上にマーク表示できたり、その地点までのルート探索が簡単にできたりして便利です。

1 地図をスクロールして、登録したい地点にカーソル(−┼−)を合わせる。

2 設定 ➡ 地点登録 をタッチする。

※フロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合はメッセージが表示されるので、どちらか選んでタッチしてください。

登録地点 ：通常の登録地点として登録

カメラ地点 ：近づくとフロントカメラ／コーナーカメラ映像に切り換える地点として登録

お知らせ

QUICKメニューに 地点を登録 を設定している場合は、 地点を登録 をタッチして現在地を地点登録することができます。

internaviでSDカードに保存した地点を本機に登録する

1 地点を保存したSDカードを本機に入れる。

2 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 地点編集 ➡ SDカードから取り込み をタッチする。

3 登録したい地点をタッチして✔印を付け、 登録 をタッチする。

✔印を全て消します。

リスト全てに✔印を付けます。

☑：地点を登録します。

☐：地点を登録しません。

4 フォルダリストから登録先のフォルダを選んでタッチする。

お知らせ

- 地点情報により、アラーム設定がされる場合もあります。
- 登録した地点を確認するには、「自宅／登録地点の編集をする」(H-25)を参考に登録地点リストや登録地点詳細画面を表示させて確認してください。

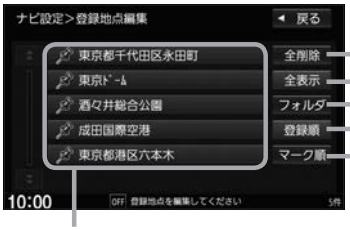
自宅／登録地点の編集をする

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

2 下表の操作をして、編集したい登録地点の登録地点詳細画面を表示させる。

自宅を編集	自宅編集 をタッチする。
登録地点を編集	① 登録地点編集 をタッチする。 ② リストから編集したい地点を選んでタッチする。 ※フォルダリストが表示された場合は、フォルダを選んでから、地点を選んでください。

登録地点リスト画面(例)



- 全削除：登録地点を全て削除
- 全表示：登録地点リスト表示に切り換え
- フォルダ：フォルダリスト表示に切り換え
- 登録順：リストを登録順に並べ替え
- マーク順：リストをマーク順に並べ替え
- 登録地点リスト／フォルダリスト

※ 全削除 ／ 登録順 ／ マーク順 はリスト表示が登録地点リスト(全表示 をタッチ時)の場合のみ表示されます。

3 編集したい項目のボタンをタッチして編集をする。

※編集項目と各項目の操作は以降の「登録地点の各編集項目について」を参照してください。

登録地点詳細画面

電話番号が登録されていると、 電話する が表示されます。ハンズフリーで電話ができる状態で 電話する をタッチすると、登録した番号に電話発信できます。

表示灯

登録地点の各編集項目について

カメラ映像の自動切換設定

※別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合のみ設定可能です。

①登録地点詳細画面で カメラ をタッチする。

② カメラ地点 をタッチして、表示灯を切り換える。

※タッチするたびに点灯⇔消灯します。
点灯：カメラ地点*1に設定する、消灯：カメラ地点に設定しない

＊1…カメラ地点に近づくと自動で別売のフロントカメラ／コーナーカメラ映像に切り換わります。

位置の修正

①登録地点詳細画面で **位置修正** をタッチする。

②登録地点付近の地図画面になるので、
地図をスクロールしてカーソル(−┼−)を新しい位置に合わせる。

③ **セット** をタッチする。

アラーム設定

設定した登録地点に近づくとアラーム音が鳴ります。
※音声案内の音量設定(☞ D-10)で消音設定している場合は鳴りません。
※ルート案内中以外でも設定したアラーム音が鳴ります。

①登録地点詳細画面で **アラーム** をタッチする。

②アラーム音を選んでタッチする。
※アラーム音を鳴らさない場合は **OFF** をタッチしてください。

③案内距離を選んでタッチする。
※選んだ距離まで登録地点に近づくと、アラーム音が鳴ります。

アラーム音を選びます。

登録地点まで何mの所に近づくとアラームを鳴らすのか、その距離を選びます。

特定の方向から近づいたときのみアラーム音が鳴るように設定できます

① **進入角度** をタッチする。
②登録地点付近の地図画面になるので、矢印(◁／▷)をタッチして、
自車マーク(▲)の向きを調整する。
※調整した自車マークの向きで近づいたときのみアラームが鳴ります。
③ **セット** をタッチする。
※設定を解除するには **進入角度** をタッチして表示灯を消灯させてください。

地図に表示するマークを変更

※カメラ地点として登録されている登録地点や、カメラ映像の自動切換設定をしている登録地点はマークの変更ができません。

登録地点詳細画面で **マーク** をタッチし、変更したいマークを選んでタッチする。

メモ書きを登録

①登録地点詳細画面で **メモ** をタッチする。
②文字入力して、 **決定** をタッチする。

電話番号を登録

①登録地点詳細画面で **TEL** をタッチする。
②電話番号を入力して、 **決定** をタッチする。

登録地点の名称を変更

①登録地点詳細画面で 名称 をタッチする。
②名称を文字入力して、 決定 をタッチする。

登録地点リスト並べ替え

登録地点リスト(登録順 で表示したとき)の並び順を変更できます。
※各登録地点ごとにリストの何番目に移動するか指定して並べ替えます。
※自宅は登録地点リストに表示されないため、並べ替えはできません。

①各地点の登録地点詳細画面で 並び替え をタッチする。
※登録地点が１個しか無い場合は 並び替え は表示されません。

②移動先の 挿入 を選んでタッチする。

お知らせ

全ての登録地点を表示している場合は全登録地点で並べ替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内で並べ替えをします。

フォルダに入れる／別のフォルダに移動する

登録地点はフォルダに分けることができます。
※自宅をフォルダに入れることはできません。

①登録地点詳細画面で フォルダ をタッチする。

②フォルダリストから登録地点を入れるフォルダを選んでタッチする。

登録地点用フォルダのフォルダ名を変更できます

※メインフォルダはフォルダ名を変更できません。

① MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 地点編集 ➡ フォルダ名編集 をタッチする。

②フォルダリストから名前を変更したいフォルダを選んでタッチする。

③フォルダ名を文字入力して、 決定 をタッチする。

自宅／登録地点を削除する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ ナビ設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

2 下表の操作をする。

自宅を削除	① 自宅編集 をタッチする。 ② 削除 をタッチする。
登録地点を１つ削除	① 登録地点編集 をタッチする。 ② リストから削除したい地点を選んでタッチする。 ③ 削除 をタッチする。
登録地点を全て削除	① 登録地点編集 をタッチする。 ② 全削除 をタッチする。

オプションボタンを設定する

本機の ⚙ (オプションボタン)によく使う機能をひとつ選んで設定することができます。
設定すると ⚙ を押して、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ オプションボタン をタッチする。

2 オプションボタンに設定する機能を選んでタッチする。

自宅	現在地表示のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示のとき、右画面地図を表示します。
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除します。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇔夜用を切り換えます。
後席会話開始／停止	後席会話サポート機能を開始／停止します。
フロントカメラ切換 ／ コーナーカメラ切換	フロントカメラまたはコーナーカメラを本機に接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーを本機に接続している場合、静止画撮影を行います。

お知らせ

フロントカメラ／コーナーカメラを本機に接続した直後は、オプションボタンの設定が自動的に フロントカメラ切換 ／ コーナーカメラ切換 へ変更されます。

キー操作音を設定する

標準キーを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに鳴る操作音を設定できます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ その他設定 ➡ キー操作音 をタッチする。

2 操作音1 ／ 操作音2 ／ OFF から選んでタッチする。
※ OFF を選ぶと、操作音が鳴らないように設定されます。

セキュリティ機能を設定する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ セキュリティ設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない)を選んでタッチする。

セキュリティ設定

本機をバッテリーから外して再び接続したときに、セキュリティコードを入力しないと本機を起動できないように する ／ しない を設定できます。
※車両やグレードによっては、フレームNo.を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。
（この場合、セキュリティコードの入力は不要です。）

セキュリティインジケータ

本機の電源を切ったときに、インジケータが点滅するように する ／ しない を設定できます。
※“セキュリティ設定”を する に設定している場合のみ設定できます。

盗難多発地点音声案内

盗難多発地点の音声案内を する ／ しない を設定できます。
※盗難多発地点付近を目的地に設定したとき、メッセージと音声でお知らせします。
※盗難多発地点付近で本機の電源を切ったとき、音声でお知らせします。
※自宅に設定した場所付近の盗難多発地点については、お知らせを行いません。

盗難多発地点表示案内

盗難多発地点を地図画面にマーク( )表示 する ／ しない を設定できます。
※マークは盗難の危険が高い順に赤色→黄色→青色で表示します。（地域により基準は異なります。）
※縮尺200 m以下の地図で表示します。

市街地図での盗難多発地点表示案内

盗難多発地点を市街地図画面にマーク表示 する ／ しない を設定できます。
※“盗難多発地点 表示案内”を する に設定している場合のみ設定できます。

お知らせ

盗難多発地点は岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。

後席会話サポート機能を使う

本機のマイクに向かって発話した声を後席スピーカーで出力させることができます。
※後席の人の声を前席スピーカーに出力させることはできません。
※後席会話サポート機能を使用中は、オーディオの音量がしぼられます。

1 MENU ➡ **後席会話** をタッチする。

2 “後席会話機能” の **開始** をタッチする。

3 本機のマイクに向かって発話する。

地図画面に後席会話ボタン(会話)を表示します。(右画面表示している地図画面では、ボタンは表示されません。)
後席会話ボタンをタッチすると後席会話サポート機能の開始／停止が切り換わります。(開始／停止に合わせて表示灯が点灯／消灯します。)

後席会話サポート機能を停止します。

後席会話の音量を調整します。(後席の方がマイクの声を聞き取りにくい場合は、音量を調整してください。)

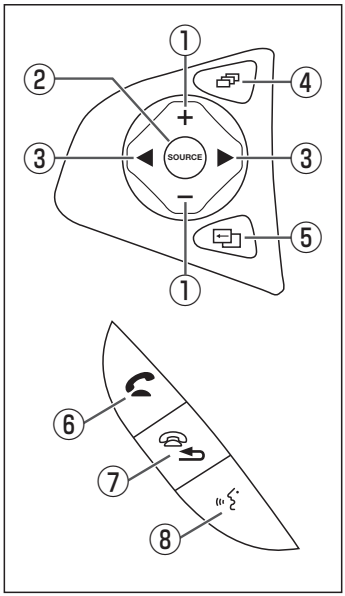
お知らせ
車内の環境によっては声にエコーがかかったような状態で聞こえる場合があります。

オーディオリモコンスイッチを使う

オーディオリモコンスイッチの操作

※オーディオリモコンスイッチは、本機で設定すると各ボタンの機能を変更できます。
下記の操作説明はお買い上げ時の設定で動作する内容を説明しています。

イラストはイメージ図です。



※車両によってはデザイン、ボタンの個数が異なる場合があります。

① [+] / [−] ボタン

オーディオ音量／ハンズフリー着信・受話音量／音声案内音量を調整します。
※それぞれの音声の出力中の間、調整できます。

② [SOURCE] ボタン

- 再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。
- 長押しすると、音声認識(Drive T@lker)を開始します。

③ [◀] / [▶] ボタン

- 音楽・ビデオを１つずつ送ったり、戻したりします。
- 長押しするとフォルダを送ったり、戻したりします。
  ※CD(MP3／WMA再生時のみ)、SDカード、USBメモリーで音楽を再生しているとき動作します。

④ [ ] ボタン

地図画面／Apple CarPlay画面／オーディオ画面を切り換えます。
※場合によっては切り換わらないときがあります。

⑤ [ ] ボタン

オプションボタン画面で設定した機能を動作させます。

⑥ [ ] ボタン

ハンズフリー電話の場合
・ワンタッチダイヤルで電話発信します。
・長押しするとリダイヤルします。
Apple CarPlay の電話の場合
・着信中のとき電話に出ます。

⑦ [ ] ボタン

ハンズフリーまたはApple CarPlay で通話中のとき、電話を切ります。

⑧ [ ] ボタン

Drive T@lkerを利用した音声認識、またはApple CarPlayでSiriを起動します。

ステアリングリモコン設定

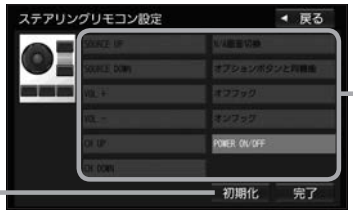
車両のオーディオリモコンスイッチについて、各ボタンの機能をそれぞれ設定することができます。

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ ステアリングリモコン ➡ OK をタッチする。
⇨ステアリングリモコン設定画面が表示されます。

2 設定するオーディオリモコンスイッチのボタンを長押しする。
⇨割り当て機能候補一覧が表示されます。

3 候補一覧からボタンに設定したい機能を選んでタッチし、戻る をタッチする。

4 完了 をタッチする。



現在各ボタンに設定されている機能

設定をお買い上げ時に戻します。

お知らせ

- オーディオリモコンスイッチのボタンを押すと、押したボタンに該当する欄が青く表示されます。押しても青く表示されないボタンは設定できません。
- 本機の画面表示は、実際のオーディオリモコンスイッチとボタンの数やイラストなどが異なる場合があります。

ステアリングリモコン設定により、各ボタンに設定できる機能の候補は以下のとおりです。
※ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。
※ボタンに設定した機能が動作するにはBLUETOOTH接続などの準備が必要なものがあります。

POWER ON／OFF	オーディオON／OFFします。長押しすると画面を消します。
VOL＋	オーディオ音量／ハンズフリー着信・受話音量／音声案内音量を調整します。 ※それぞれの音声の出力中の間、調整できます。
VOL－	
CH UP	次の曲／ファイルにスキップします。長押しすると次のフォルダの曲を再生します。
CH DOWN	前の曲／ファイルにスキップします。長押しすると前のフォルダの曲を再生します。
SOURCE UP	再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。 （“SOURCE DOWN”は“SOURCE UP”と逆の順序でオーディオソースが切り換わります。） 長押しすると、音声認識(Drive T@lker)を開始します。
SOURCE DOWN	
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除します。
現在地	現在地の地図を表示します。長押しするとApple CarPlayのマップを起動します。
拡大	地図を拡大します。
縮小	地図を縮小します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
案内開始／停止	現在地の地図画面のとき、ルート案内を開始／停止します。
自宅に戻る	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。
リダイヤル	前回ハンズフリーで電話をかけた番号に発信します。
音声認識	Drive T@lkerを利用した音声認識、またはApple CarPlayでSiriを起動します。
オンフック	ハンズフリーまたはApple CarPlayで通話中のとき、電話を切ります。
オフフック	ハンズフリーの電話の場合…… ワンタッチダイヤル(☞G-13)で電話発信します。長押しするとリダイヤルします。 Apple CarPlay の電話の場合… 着信中のとき電話に出ます。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇔夜用を切り換えます。
時計ON／OFF	オーディオ画面を全画面時計表示に切り換えます。☞E-3
画面消し	画面を消して黒画面にします。
N／A画面切換	地図画面／Apple CarPlay画面／オーディオ再生画面を切り換えます。 ※場合によっては切り換わらないときがあります。
右画面地図	現在地の地図画面のとき、右画面地図を表示します。
オプションボタンと同機能	オプションボタン設定で設定した機能を動作させます。
フロントカメラ切換	フロントカメラまたはコーナーカメラを本機に接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
コーナーカメラ切換	
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影します。
ドライブレコーダー録画ON／OFF	ドライブレコーダーの手動録画を開始／停止します。
後席会話　開始／停止	後席会話サポート機能を開始／停止します。
割り当てなし	どの機能も設定しない場合は 割り当てなし を選んでください。

画面の画質調整とサイズ切換をする

※リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから調整を行ってください。
※各カメラ映像とオーディオソースの各映像画面については、各画面ごとに個別で調整できます。（一部、調整結果が互いに連動する画面があります。）
※走行中は調整できる項目が限られます。

画質調整をする

1 **調整したい画面を表示させて、 MENU を長押しする。**

2 **画質調整 をタッチする。**

※調整する画面によっては、 画質調整 のタッチは不要です。

3 **調整項目を選んでタッチする。**

※調整する画面によっては、調整項目が 明るさ ／ コントラスト のみになります。

① 明るさ ／ コントラスト ／ 色の濃さ ／ 色合い から選んでタッチする。
② ◀ ／ ▶ をタッチして調整する。
明るさ…… ◀ ：暗くなる／ ▶ ：明るくなる
コントラスト… ◀ ：弱くなる／ ▶ ：強くなる
色の濃さ …… ◀ ：淡くなる／ ▶ ：濃くなる
色合い…… ◀ ：赤色を強く／ ▶ ：緑色を強く

ダイナミックガンマ をタッチしてボタン表示灯の点灯／消灯を切り換える。（点灯：ON、消灯：OFF）
ダイナミックガンマは、自動的に色彩やコントラストを調整する機能です。

画面の明るさを切り換えます。

お買い上げ時の調整に戻します。

お知らせ

- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときで別々に設定できます。
- 画質調整画面の 昼夜切換 をタッチすると、「車のライトがONのときの明るさ」と「車のライトがOFFのときの明るさ」の切り換えを行います。車のライトをONにして画面が暗くなり見づらくなった場合などに、 昼夜切換 をタッチして画面の明るさを切り換えてください。

表示サイズを切り換える

1 **表示サイズを切り換えたい画面を表示させて、 MENU を長押しする。**

※表示サイズ切り換えができない画面では、 MENU を長押しすると画質調整画面が表示されます。

2 **ノーマル ／ フル ／ ワイド ／ シネマ から選んでタッチする。**

※TVソースの場合は シネマ を選べません。

ノーマル	映像を4：3で表示*1 ※16：9の映像は横方向に圧縮されます。
フル	映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示
ワイド	映像を16：9で表示*1 ※4：3の映像は横方向に引きのばして表示されます。
シネマ	ノーマル表示を上下左右方向に引きのばして表示 ※映像は上下が切れて表示されます。

＊1…映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。

画面を消す

画面を消して黒画面にすることができます。（音声はそのまま聞くことができます。）

1 **⏻ を長押しする。**

※黒画面をもとに戻すには ⏻ を押してください。

お知らせ

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し（黒画面）中でも、カメラ映像に自動的に切り換わります。
  ※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態（黒画面）に戻ります。
- リアカメラ映像を表示している場合は、 ⏻ を長押ししても画面を消すことはできません。

データを初期化(消去)する

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ システム設定 ➡ その他設定 ➡ 初期化 をタッチする。

2 初期化したい項目を選んでタッチする。

※メッセージが表示されるので、画面に従ってください。

SDカードの初期化	SDカードのデータを初期化します。
登録データの初期化	登録データ・TV設定以外の設定内容・センサーおよびルートの学習結果を初期化します。*1 ※Gracenoteデータベースは初期化しません。
センサー学習結果の初期化	自律航法に関する学習結果を初期化します。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果を初期化します。
入力履歴の初期化	名称検索などで行う文字入力の履歴を初期化します。
TVの初期化	TVの設定内容を初期化します。
出荷状態に戻す	全ての登録データや設定内容などを初期化します。*1

＊1… 登録データの初期化 ／ 出荷状態に戻す では、SDカード内のデータ消去は行わないため、Music Rackの録音データは初期化されません。

- **初期化中は他の操作(ソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更したりなど)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化すると、選択した項目は消去され、もとに戻せません。**
  ※すでにデータが書き込まれているSDカードを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

お知らせ

- 録音データの初期化はF-5、Gracenoteデータベースの初期化はF-10をご覧ください。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。
- 出荷状態に戻す をタッチしたときはオーディオがOFFになります。

本体情報を見る

1 MENU ➡ 設定／情報 ➡ 情報 ➡ 本体情報 をタッチする。

⇨地図バージョン・シリアル番号が表示されます。

お知らせ

“地図バージョン”の 詳細 をタッチすると、地図データの詳細情報を表示します。

I

困ったとき

故障かな？と思ったら……I-2
こんなメッセージが表示されたら……I-19

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共通

	症　状	考えられる原因と処置
共通項目	**音が出ない。**	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。 ⇨ VOL－／VOL＋で調整してください。☞A-8
		音質・音量バランスが片方に寄っている。 ⇨ フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はFADEとBALANCEを“0”に合わせます。☞E-40
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 ⇨ 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
	低音が聞こえにくい。*1	サブウーファーの音量バランスがずれている。 ⇨ サブウーファーの音量を調整してください。☞E-40
	本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。 ⇨ 消失したデータについては補償できません。
	ディスクが出ない。 **ディスクを読み込まない。**	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。 ⇨ ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。
	タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。 ⇨ 保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シートなどを取り外してご使用ください。
	音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。 ⇨ 車速連動音量をOFFに設定してください。☞E-41
	ディスクを取り出したときディスクが熱い。	● 本機を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。 ⇨ 長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。
	ディスプレイが閉じない。	SDカードが完全に挿入されていない。 ⇨ カードを挿入しなおしてください。（カチッと音がするまで挿入してください）
		地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない。 ⇨ 地図SDカード挿入口カバーを正しく取り付けてください。☞A-8

＊1…VRM-175VFEi　VRM-175VFi

	症　状	考えられる原因と処置
モニター	**映像が出ない。**	走行している。 ⇨ 走行中は映像を見ることができません(☞ A-5)。音声のみでお楽しみください。
		明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。 ⇨ 明るさ／コントラストを調整してください。☞ H-34
		画面が消えている。 ⇨ 画面をタッチして、画面を表示させてください。
		HDMI*1／VTRソースになっている。 ⇨ 外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り換えてください。 (HDMI*1／VTR未入力時は黒い画面になります。)
	表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。 ⇨ 画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないときは、画面は明るくなります。また、車両によっては車両のイルミ減光キャンセル機能(☞ A-11)でも、画面は明るくなります。
		昼夜切換 をタッチして画面の輝度を切り換えている。 ⇨ 昼夜切換 をタッチして解除してください。☞ H-34
	画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。 ⇨ 携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。
	画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。 ⇨ まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。
	DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。 ⇨ 明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。☞ H-34
	映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。 ⇨ 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
	リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。 ⇨ 故障ではありません。リア席モニターに表示されるのは映像関連(DVDやTV、iPodビデオなど)となります。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi

ナビゲーション

	症　状	考えられる原因と処置
地図画面	**平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。**	画面が煩雑（複雑）にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。 ⇨ 故障ではありません。
	現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。 ⇨ GPS衛星電波を受信してください。☞ J-3
	自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地の地図画面になっていない。 ⇨ 現在地 を押してください。
	自車マークが表示されない。	
	走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。 ⇨ 故障ではありません。
	地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。 ⇨ アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。
		GPS衛星の受信感度が悪い。 ⇨ GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。
	自車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。 ⇨ しばらく（およそ30 km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。
		GPS内蔵レーダー探知機を設置している。 ⇨ 本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。

	症　状	考えられる原因と処置
ルート案内	**音声案内しない。**	探索されたルートを外れている。 ⇨ 探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。
		ルート案内が停止になっている。 ⇨ ルート案内を開始してください。☞ D-5
		消音 をタッチして音声を出なくしている。 ⇨ 消音 をタッチして解除してください。☞ D-10
	実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。 ⇨ 実際の交通ルールに従って走行してください。

	症　状	考えられる原因と処置
ルート探索	**再探索時、経由地を探索しない。**	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。 ⇨ 通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。
	ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。 ⇨ 目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
		ルート案内が停止になっている。 ⇨ ルート案内を開始してください。☞ D-5
	ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示） ⇨ 探索されたルート上を走行してください。
	自動再探索ができない。	道幅が3 m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。 ⇨ 探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。
	経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。 ⇨ 経由地は6つ以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。
	探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。 ⇨ 目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。
		出発地と目的地が近い。 ⇨ 故障ではありません。
	遠回りな自動ルートを探索する。	探索では、広い道路を優先して使用する場合があるため、遠回りなルートになることがあります。 ⇨ 故障ではありません。
		出発地、目的地付近の道路に規制がある（一方通行など）ときに遠回りのルートを出すことがあります。 ⇨ 出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。
		細街路を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地（経由地）付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。 ⇨ 故障ではありません。
		車の方向（矢印の向き）が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。 ⇨ 故障ではありません。
	ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。 ⇨ 地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。
	出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。 ⇨ 近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。

	症　状	考えられる原因と処置
ルート探索	意図したルートとは違うルートが引かれる。	● 目的地の近くに探索可能な道路がない。 ● 目的地を建物の中心に設定している。 ⇨ 目的地と逆の車線に設定されたりして、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。
		中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。 ⇨ 一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。

	症　状	考えられる原因と処置
VICS	VICS情報が表示されない。	VICS情報を受信していない。 ⇨ 情報を受信していないときは、表示できません。

	症　状	考えられる原因と処置
後席会話サポート機能	ウィンカースイッチ等の操作音がリアスピーカーから出力される。	後席会話サポート機能により、操作音がリアスピーカーから出力されている。 ⇨ 後席会話の音量を下げる、または後席会話サポート機能を停止してください。☞H-30
	オーディオの音量が小さい。	後席会話サポート機能により、オーディオ音量がしぼられている。 ⇨ 後席会話サポート機能を停止してください。☞H-30

オーディオ

	症　状	考えられる原因と処置
CD	CDソースに切り換わらない。	ディスクが挿入されていない。 ⇨ ディスクを挿入してください。
	● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ● 音が飛んだり音質が悪い。	ディスクに問題がある。 ⇨ 他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。
		ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 ⇨ ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。☞J-25
		ディスクにラベルが貼ってある。 ⇨ ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。
		CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。 ⇨ 書き込み速度を遅くすると、安定して書き込めますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。

	症　状	考えられる原因と処置
CD	ディスクが入らない。	結露している。 ⇨ 本機をしばらく放置してから使ってください。
		すでにディスクが入っていて２枚目を入れようとしている。 ⇨ 入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。
	CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。 ⇨ ディスクをファイナライズしてください。
	ディスクを取り出したときディスクが熱い。	● 本機を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。 ⇨ 長時間使用すると本機内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本機のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。
	MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。 ⇨ CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。
		MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 ⇨ MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。
		ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 ⇨ ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
		対応していないビットレートで記録されている。 ⇨ 対応しているビットレートで記録されたMP3 ／WMAファイルにしてください。☞ J-34
	再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 ⇨ ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
	再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。 ⇨ ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。）
	聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 ⇨ MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。
	フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 ⇨ ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。

	症　状	考えられる原因と処置
CD	**ファイル再生が記録した順と異なる。**	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性があります。 ⇨ ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。
	CDのタイトル情報が異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル情報の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。) ⇨ オンライン検索をしてタイトル情報を更新してください。☞ E-6

	症　状	考えられる原因と処置
ラジオ	**自動選局ができない。**	強い電波の放送局が無い。 ⇨ 手動で選局してください。☞ E-20
	放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。	トンネルの中など放送局の電波が弱い。 ⇨ 場所を移動し、手動でリスト更新してください。☞ E-21
	“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。 ⇨ 他のチャンネルを選局してみてください。☞ E-20
		周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 ⇨ 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
	● **ラジオが受信できない。** ● **ラジオの入りが悪い。**	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。 ⇨ 車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 ⇨ 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
		周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ⇨ 新しい周波数をプリセットのリストに登録してください。☞ E-21

	症　状	考えられる原因と処置
iPod	**音声が流れない。**	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。 ⇨ iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り換えてください。
	正常に動作しない。	接続不良。 ⇨ USB接続ジャックに、iPod(と別売のiPod接続コード)を確実に接続してください。☞ E-25 iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。
		再生可能なデータがない。 ⇨ 再生可能なデータをiPod本体に転送してください。
		iPodのソフトウェアバージョンが古い。 ⇨ iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。

	症　状	考えられる原因と処置
iPod	**正常に動作しない。**	iPodが正常に動作していない。 ⇨ iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。
	iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。 ⇨ オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。
	ビデオ再生しない。（映像がでない。）	ケーブルを正しく接続していない。またはiPod本体に付属のケーブルを使用している。 ⇨ 音声・映像を再生させる（出力させる）には、別売のiPod接続コードに別売のUSB接続ジャックとVTRコードを全て接続する必要があります。 ☞ E-25
	選択できないビデオがある。	アーティスト名、アルバム名などのタイトルを登録していない。 ⇨ 本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。
	ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。 ⇨ リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunesで再生位置を記録のチェックをOFFにしてください。
	ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。 ⇨ Lightningケーブルで接続するiPod／iPhoneでは、ビデオ再生できません。
		iPodのソフトウェアバージョンが古い。 ⇨ iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。
		別売のiPod接続コードで接続されていない。 ⇨ ビデオ再生するには、別売のiPod接続コードで接続してください。
	再生中のタイトルが正しく検索されない。	タイトル情報が入っていない曲を検索している。 ⇨ タイトル情報が入っていない曲はiPod／iPhoneの機種、バージョンによっては検索ができない場合があります。

	症　状	考えられる原因と処置
Music Rack	**CDを再生しても、自動で録音されない。**	録音設定が 手動録音 に設定されている。 ⇨ 録音設定を 自動録音 に設定してください。☞ F-4
		MP3／WMAを再生している。 ⇨ MP3／WMAは録音できません。 音楽CDが挿入されているかご確認ください。
	録音できない。	SDカードの容量が不足している。 ⇨ 使用状況を確認してください。☞ F-12 録音済みの曲（アルバムやトラック）を削除すると新たに録音できます。 ☞ F-5
		SDカードがロックされている。 ⇨ SDカードのロックを外してください。
		SDカードが壊れている。 ⇨ 別のSDカードに交換して使用してください。

	症　状	考えられる原因と処置
Music Rack	**録音したはずの曲（アルバム）が再生されない。**	再生選択画面で再生させない設定にしている。（✔印を消している。） ⇨ ✔印を付けてください。F-12
		SDソースを選んでいる。 ⇨ 本機で録音した曲を再生する際は、Music Rackソースを選んでください。
	録音したはずの曲（アルバム）が再生されない。または止まる。	録音曲数が多い。 ⇨ 曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。
	現在地を押しても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中である。 ⇨ 更新後または初期化後に押してください。
	ジャケット写真を登録できない。	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。
	ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 ⇨ 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。

	症　状	考えられる原因と処置
SD／WALKMAN®／USB	**SDカードを初期化できない。**	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ⇨ SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。
	再生画面を表示しない。	SDカード未挿入またはWALKMAN®／USBメモリー未接続である。 ⇨ SDカードを挿入またはWALKMAN®／USBメモリーを接続してください。
	再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。 ⇨ SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れて再生させてください。H-36
		本機で再生できないSDカード／WALKMAN®／USBメモリーを挿入／接続している。 ⇨ 再生可能なSDカード／WALKMAN®／USBメモリーを挿入／接続してください。 ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。J-34、J-36、J-37
		動作モードが間違っている。 ⇨ 再生したい動作モードを選んでください。E-33、E-36、E-37
		結露している。 ⇨ SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。
		Apple CarPlay対応のiPhoneがUSB接続されている。 ⇨ Apple CarPlay対応のiPhoneを外してください。
	再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリーに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 ⇨ ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。

	症　状	考えられる原因と処置
SD／WALKMAN®／USB	**再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。**	ファイルの形式と拡張子があっていない。 ⇨ 拡張子を確認してください。☞ J-34、J-37
	ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。 ⇨ フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。
	ファイル再生が記録した順と異なる。	SDカード／USBメモリー書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性がある。 ⇨ SDカード／USBメモリーへ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。
	MP3／WMA／AAC ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。 ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。☞ J-34
		音楽ファイル を選んでいない。 ⇨ モード切換 で 音楽ファイル に切り換えてください。☞ E-33
		● 著作権保護された音楽データで記録されている。 ● SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。 ⇨ 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルを再生してください。
		本機に対応していない文字コードでフォルダ名／ファイル名が付けられている。 ⇨ 本機に対応した文字コードでフォルダ名／ファイル名を付けてください。☞ J-34
	JPEGファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。 ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。☞ J-36
		画像ファイル を選んでいない。 ⇨ モード切換 で 画像ファイル に切り換えてください。☞ E-36
	AACファイルを再生できない。	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データが混在しているSDカード／WALKMAN®／USBメモリーを再生しようとした。 ⇨ AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合AACファイルは再生できません。
	MP3／WMA／AAC 再生時にエラーメッセージが表示される。	Macで作成したファイルをSDカード／USBメモリーで再生している。 ⇨ Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると、再生時にエラーが発生します。使用するSDカード／USBメモリーから隠しファイルを削除してください。

	症　状	考えられる原因と処置
SD／WALKMAN®／USB	**WALKMAN®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない。**	ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送を行っている。ドラッグ＆ドロップ転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えません。 ⇨ ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、選曲モードのフォルダから選曲することで再生することができます。 ⇨ x-アプリまたはSonicStageを使用することで、MP3／WMA／AACをATRAC AD規格で転送することができます。x-アプリまたはSonic Stageのアプリケーションを使用して転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えます。
	WALKMAN®／USBメモリーを認識していない。	対応していないWALKMAN®／USBメモリーの可能性があります。 ⇨ 別のUSBメモリーで試してください。 ⇨ 本機に対応しているWALKMAN®か確認してください。☞J-29
		WALKMAN®／USBメモリーが正しく接続されていない。 ⇨ 正しく接続されているか確認してください。☞E-33
		USB接続ジャックが正しく接続されていない。 ⇨ Honda販売店にお問い合せください。
	ジャケット写真が表示できない。	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。 ⇨ iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。
		登録されている画像が対応していないファイル形式で記録されている。 ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。
		登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 ⇨ MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
		1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。 ⇨ 1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。
	音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 ⇨ MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
	ジャケット写真が小さく表示される。	登録されている画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 ⇨ 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。

	症　状	考えられる原因と処置
HDMI＊1	**音声が流れない。**	HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している。 ⇨ HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。接続機器側でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り換えてください。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ

	症　状	考えられる原因と処置
DVD	**字幕が出ない。**	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。 ⇨ 字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。
		字幕がOFFになっている。 ⇨ 設定を変えてください。E-9
	音声が出ない。	一時停止、スロー戻し／スロー送り中である。 ⇨ 通常再生にしてください。
	再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。 ⇨ 記録面を下にして、正しくセットしてください。
		ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 ⇨ ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。J-25
		ディスクにラベルが貼ってある。 ⇨ ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。
		結露している。 ⇨ ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。
		本機で再生できないディスクを入れている。 ⇨ 本機で再生できるディスクを入れてください。J-24
		本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。 ⇨ 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」（2を含むもの）または「ALL」のDVDビデオを再生してください。
		視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 ⇨ DVD設定の視聴制限レベルを確認してください。E-12
	“⃠”（禁止マーク）を表示するだけで、操作ができない。	● 再生しているディスクがその操作を禁止している。 ● ディスクの構造上対応できない操作をしている。 ⇨ 再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。再生しているディスクを確認してください。（ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。）
	音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。 ⇨ ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。J-25
		振動の生じるところで使用している。 ⇨ 本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。
	音声言語／字幕言語が切り換わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。 ⇨ 故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り換えることはできません。
		再生しているDVDビデオが、言語の切り換えを禁止している。 ⇨ 故障ではありません。言語を切り換えることはできません。

	症　状	考えられる原因と処置
DVD	**字幕が消せない。**	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。 ⇨ 故障ではありません。字幕を消すことはできません。
	アングルを切り換えることができない。	再生しているDVDビデオに、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。 ⇨ 複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り換えることはできません。アングルが収録されている所で切り換えてください。
		再生しているDVDビデオが、アングルの切り換えを禁止している。 ⇨ 故障ではありません。アングルを切り換えることはできません。
	タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 ⇨ DVD設定の視聴制限レベルを確認してください。☞ E-12
	視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオに、視聴制限が収録されていない。 ⇨ 故障ではありません。視聴制限をすることはできません。
	視聴制限を解除できない。	パスワードが間違っている。 ⇨ 正しいパスワードを入力してください。
		パスワードを忘れてしまった。 ⇨「0000」と入力してください。
	DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。 ⇨ “メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。☞ E-10
	VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。 ⇨ ディスクのファイナライズ処理をしてください。

	症　状	考えられる原因と処置
TV	**文字スーパーが出ない。**	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で 表示しない にしている。 ● 受信モードがワンセグである。 ⇨ 文字スーパー表示設定で言語を選んでください。☞ E-16 また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。
	字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。 ⇨ 字幕のある番組を選局してください。
		字幕表示の設定がされていない。 ⇨ 字幕表示を設定してください。☞ E-16
	受信できない。	受信できる放送局がない。 ⇨ 再スキャンを行ってください。☞ E-14、E-18

	症　状	考えられる原因と処置
TV	**映像が止まったり モザイクがかかる。**	電波が弱い場所で受信している。 ⇨ 自動切換 に設定しておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り換わるため映像が止まりにくくなります。 自動切換 に設定してください。☞E-16 ※ 自動切換 または ワンセグ に設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。 その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。
	データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。 ⇨ 多少時間がかかることがあります。 しばらくお待ちください。
	本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。 ⇨ 消失したデータについては補償できません。

	症　状	考えられる原因と処置
BLUETOOTH Audio	**BLUETOOTH Audio 対応機器を登録できない。**	Apple CarPlay対応のiPhoneがUSB接続されている。 ⇨ Apple CarPlay対応のiPhoneを外してください。
	BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない。	本機との接続情報が消えてしまう。 ⇨ 再度登録してください。
		● BLUETOOTH Audio対応機器の設定が、BLUETOOTH接続待ちの状態になっていない。 ● 本機から接続を受けつけない。 ● 特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。 ⇨ BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をご確認ください。
		Apple CarPlay対応のiPhoneがUSB接続されている。 ⇨ Apple CarPlay対応のiPhoneを外してください。
	音楽が流れない。	BLUETOOTH Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。 ⇨BLUETOOTH Audio対応機器がA2DPに対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し(☞E-29)、再度登録(☞E-28)してください。 ⇨ BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。
	BLUETOOTH Audio 対応機器の操作を本機からできない。	BLUETOOTHのリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。 ⇨ BLUETOOTH Audio対応機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し(☞E-29)、再度登録(☞E-28)してください。 ⇨ BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、AVRCPに対応していてもリモコン操作ができない場合があります。

	症　状	考えられる原因と処置
BLUETOOTH Audio	● 音が飛ぶ。 ● 操作がおくれる。 ● 再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。	BLUETOOTH Audio対応機器が本機から離れすぎている。 ⇨ BLUETOOTH Audio対応機器を本機に近づけてください。
		ハンズフリー、データ通信などを行っている。 ⇨ 故障ではありません。 通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。
	リストが操作できない。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。 ⇨ AVRCP ver.1.4 に対応した機器を使用してください 。 ⇨ BLUETOOTH Audio対応機器によってはAVRCP ver.1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。

	症　状	考えられる原因と処置
ハンズフリー	ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられたりしている。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。 ⇨ 携帯電話の電波状況がよい場所に移動してください。
	音が出ない。 ● 相手の声が聞こえない。 ● 着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。 ⇨ 着信音量、受話音量を調整してください。☞ G-14
		携帯電話が本機より離れすぎている。 ⇨ 携帯電話を本機に近づけてください。 ⇨ 携帯電話の電波状態を確認してください。
	相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中) ⇨ 送話音量を上げるか(☞ G-14)、ミュートを解除(☞ G-9)してください。
		携帯電話(相手側を含む)によっては、ノイズキャンセルを ON にすると自分の声が途切れて相手にうまく伝わらない場合がある。 ⇨ ノイズキャンセルを OFF にしてください。聞き取りやすくなる場合があります。☞ G-14
	通話後、オーディオの声が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。 ⇨ 音量を上げてください。☞ A-8
	携帯電話を登録できない。	Apple CarPlay対応のiPhoneがUSB接続されている。 ⇨ Apple CarPlay対応のiPhoneを外してください。
	携帯電話と接続できない。	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。 ⇨ 携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチをロック→ONにしてください。
		BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。 ⇨ 対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。☞ G-3

	症　状	考えられる原因と処置
音声認識(Drive T@lker)	**音声認識を利用できない。**	スマートフォンが本機とBLUETOOTH接続されていない。 ⇨ BLUETOOTH接続を確認してください。
		スマートフォンで「Drive T@lker」アプリを起動していない。 ⇨ スマートフォン側の「Drive T@lker」アプリを起動してから、本機で音声認識を開始してください。
		本機の割り当て設定が正しく設定されていない。 ⇨Drive T@lkerを使用するスマートフォンに、ハンズフリー( )とDrive T@lker NaviCon( )の両方を割り当て設定してください。 G-2
		スマートフォンのWi-Fi機能を利用している。 ⇨ スマートフォンを携帯電話回線に切り換えてください。
		スマートフォンの省電力機能をONにしている。 ⇨ スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。
		スマートフォンで「Drive T@lker」以外のアプリを起動している。 ⇨ 「Drive T@lker」以外のアプリは終了させてください。
		スマートフォンにDrive T@lker画面と違う画面が表示されている。 ⇨ スマートフォンにDrive T@lker 画面が表示されているか確認してください。
	サーバーへの接続が失敗する。	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できない場合がある。 ⇨ 場所を移動して、電波状況の良好な場所でお使いください。 ⇨ しばらくしてから音声認識を開始してください。
	発話しても認識しない、誤認識が多い。	周りで雑音が多い。 ⇨ 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適切な音量ではっきり発話してください。
		音声ガイドの後、効果音が鳴る前に発話した。 ⇨ 効果音が鳴ってから、発話してください。
		声が小さい。 ⇨ 適切な音量ではっきり発話してください。
	音声ガイドが出力されない。	本機またはスマートフォンの音量が小さい。 ⇨ 本機またはスマートフォンの音量を確認してください。

故障かな？と思ったら

	症　状	考えられる原因と処置
カメラ	**フロント・コーナーカメラ映像が出ない。**	高速で走行している。 ⇨ 低速で走行してください。
	リアカメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。 ⇨ セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。
	カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。 ⇨ 水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
	カメラ映像に白い光の縦線が入る。	● 太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。 ● 車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。 ⇨ CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。
	カメラのガイドライン表示が出ない。	ガイドライン表示が設定されていない。 ⇨ Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。
		ガイドライン表示が“OFF”になっている。 ⇨ ガイドライン表示をONにしてください。 （コーナーカメラの場合 H-14、リアカメラの場合 H-16）
		フロントカメラはガイドラインを表示しません。
	カメラのガイドライン表示が正しく合っていない。	ガイドライン表示が正しく調整されていない。 ⇨ Honda販売店での調整が必要です。
		乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。 ⇨ 平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイドライン表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。
	リアカメラdeあんしんプラスの警告が行われない。	後退出庫サポート、後方死角サポート、車線キープサポートの各設定が しない になっている。 ⇨ 警告表示したい機能の設定を する にしてください。 H-20
		後退出庫サポートのアイコンの表示灯が消灯している ⇨ アイコンをタッチして表示灯を点灯させてください。 H-18
		徐行している ⇨ 後方死角サポート、車線キープサポートは走行速度が一定以上でないと警告しません。

	症　状	考えられる原因と処置
Apple CarPlay	**Apple CarPlayとの接続ができない**	iPhone側でApple CarPlayが異常終了した。 ⇨ iPhoneをUSB接続ジャックから取り外し、iPhoneの電源を入れ直してから、再度接続してください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
C	**CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。**	CDに汚れ、傷がある。 ⇨ CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。 ☞ J-25
E	**ETCカードが挿入されていません。**	カード入れ忘れ警告の設定を **する** に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。 ⇨ ETCカードを挿入してください。
	ETCカードの有効期限が切れています。ETCが利用できません。	有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れた。 ⇨ 有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。
	ETCカードを確認してください。	ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。 ⇨ 正常な状態のETCカードを挿入してください。
	ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください。	ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。 ⇨ Honda販売店にご相談ください。
	ETCユニットがセットアップされていません。	ETC車載器本体がセットアップされていない。 ⇨ ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。
I	**iPodと通信できません。iPodを接続しなおしてください。**	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。 ⇨ iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。
S	**SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。**	SDカード内に該当するデータがない。 ⇨ あらかじめインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした位置情報ファイルを、SDカードに登録しておく必要があります。
	SDカードを挿入してください。	SDカードが挿入されていない。 ⇨ SDカードを挿入してください。
		SDカードは挿入されているが、認識できない。 ⇨ SDカードを一旦取り出し、再度確実に挿入してください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
U	**USB機器を接続してください。**	WALKMAN®／USBメモリーが接続されていない、またはiPodが接続されている。 ⇨ 本機に対応しているWALKMAN®／USBメモリーを使用してください。 ☞ J-29
か	**画面が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく経っても表示されない場合は、iPhoneのUSBケーブルを抜き差しして再度操作してください。**	iPhoneが通信できていない。 ⇨ iPhoneを抜き差ししてください。抜き差ししても症状が改善されない場合はiPhoneの電源を入れ直してください。
け	**携帯電話の接続が解除されました。**	携帯電話との接続が切れた。 ⇨ 携帯電話を本機に近づけてください。 ⇨ 対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。☞ G-3
こ	**この情報は表示できません。**	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。 ⇨ 安全な場所に車を止めてから操作をしてください。
さ	**再生可能な曲がありません。**	SDカード／WALKMAN®／USBメモリーに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。 ⇨ 再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。 ⇨ 再生可能な音楽ファイルが入ったWALKMAN®／USBメモリーを接続してください。
	再生可能なディスクを入れてください。	本機で再生できないディスクを入れている。 ⇨ 本機で再生できるディスクを入れてください。
		ディスクが逆に挿入されている。 ⇨ ディスクを正しく挿入してください。
		ディスクに汚れ／異常がある。 ⇨ ディスクの汚れを拭きとってください。 ⇨ 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。
		音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ⇨ 正しいディスクをセットしてください。
		VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。 ⇨ 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
	再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。 ⇨ 車のエンジンスイッチを一旦ロックに入れてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れてください。 ※復帰しない場合に、音楽データの初期化をすると本機に録音した全てのデータが消えます。
	サーチ中は登録できません。(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を長押しして登録しようとした。 ⇨ サーチが完了して周波数が表示された後、上記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
し	**視聴制限により再生できません。**	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 ⇨ 再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。☞E-12
	しばらくお待ちください。	ディスクを読み込み中です。 ⇨ 正常な動作ですので、そのままお待ちください。
		ファイル数が多いSDカード／WALKMAN®／USBメモリーの場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。 ⇨ 正常な動作ですので、そのままお待ちください。
		メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。 ⇨ しばらく待ってからオーディオOFFにし、SDカード／USBメモリーを一旦抜いてから再度確実に差し込み、オーディオONにしてください。
	受信局が変化しました。情報を受信中です。(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。 ⇨ 表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にいるため、または放送エリア内にいるが電波状況が悪いため、受信できない可能性があります。
	受信できません。(0020)	地上デジタル/ワンセグ放送の受信レベルが低い。 ⇨ 受信できる場所に移動してください。
	受信できません。(E202)	地上デジタル/ワンセグ放送の電波を受信できていない。 ⇨ 受信できる場所に移動してください。
	受信できません。(E203)	地上デジタル放送/ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。 ⇨ 受信できる場所に移動してください。
		放送休止のチャンネルを見ている。 ⇨ 視聴できるチャンネルを選んでください。
	使用できないSDカードが挿入されています。	対応していないSDカードが挿入されている。 ⇨ 別のSDカードで試してください。
		SDカードを正しくフォーマットしていない。 ⇨ 本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。☞H-36
		本機がSDカードを正しく認識できない。 ⇨ SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。
	情報の受信中です。(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い) ⇨ 受信できるまでしばらくお待ちください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
し	**情報を受信していません。(FM多重)**	受信エリア外に居る。 ⇨ 受信エリア外では、受信できません。
		受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。 ⇨ 場所を移動してみてください。
		放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。 ⇨ サーチが完了して周波数が表示された後、上記の操作をしてください。
		VICS放送局でない放送局(周波数)を受信している。 ⇨ 全てのFM放送局が交通情報を放送しているわけではありません。交通情報を放送している放送局を受信してください。☞ H-4
せ	**接続したUSB機器はご使用になれません。**	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。 ⇨ 本機に対応しているWALKMAN®／USBメモリーを使用してください。☞ J-29
そ	**走行中は映りません。**	走行中に映像(動画)を見ようとした。 ⇨ 安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。
ち	**地図カードを挿入してください。**	地図SDカードを正しく認識できていない。 ⇨ 地図SDカード挿入口カバーを取り外し、地図SDカードを入れ直して、再度カバーを取り付けてください。☞ A-8
て	**ディスクを入れてください。**	ディスクが入っていない。 ⇨ 本機で再生できるディスクを入れてください。
と	**登録できませんでした。**	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 ⇨ 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。
		他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。 ⇨ ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源はお切りください。
に	**入力されたパスワードが間違っています。**	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。 ⇨ パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。
は	**パスキーが一致していません。再度登録操作を行ってください。**	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 ⇨ 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。
ひ	**ビデオモードに対応していません。**	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。 ⇨ ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。
ほ	**放送局は登録されていません。(FM多重)**	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。 ⇨ あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。☞ H-5
り	**リージョンコードが違います。**	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。 ⇨ 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
り	**リアカメラdeあんしん＋が使用できません。リアカメラを拭いてください。**	リアカメラが汚れているため、後退出庫サポート／後方死角サポート／車線キープサポート機能が使用できない。 ⇨ 水を含ませた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
ろ	**録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。**	本機の録音可能曲数は１万曲までです。 ⇨ すでに録音した曲を削除してから、再度、各操作をしてください。
	録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。	SDカードの容量が一杯になったため。 ⇨ すでに録音した曲を削除するなどSDカードの空き容量を増やしてから、再度、各操作をしてください。
	録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。	音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。 ⇨ 自動でデータベースの修復を行いますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。
	録音できませんでした。もう一度録音してください。	CDに汚れ、傷がある。 ⇨ CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。 ☞ J-25

J
必要なとき

GPS電波受信と現在地測位 …… J-2
現在地測位について……J-2
GPS電波受信について……J-3
ルート案内について…… J-4
ルート案内中の音声案内例……J-4
ルート案内のご注意……J-5
有料道路の料金表示について ……J-5
車両のメーター内マルチインフォメーション
ディスプレイの交差点案内表示……J-5
ルート探索について…… J-6
VICSについて …… J-7
地図ソフトについて…… J-10
市街地図の収録エリア …… J-14
表示できる施設…… J-18
文字入力画面について …… J-20
文字を入力する ……J-20
Gracenoteデータベースについて …… J-22
ディスクについて…… J-24
再生できるディスク……J-24
ディスクの取り扱いについて ……J-25
SDカードについて …… J-26
SDカードについて……J-26
SDカードの取り扱いについて ……J-26
iPodについて…… J-27
本機で接続確認できているiPod……J-27
WALKMAN®／USBメモリーについて…… J-28
WALKMAN®で再生可能な音楽ファイルについて…J-28
対応可能なUSBメモリー……J-29
本機で接続確認できているWALKMAN®……J-29
BLUETOOTHについて…… J-30
ハンズフリーについて……J-30
BLUETOOTH Audioについて ……J-32
リア席モニターについて …… J-33
リア席モニターに表示できる映像 ……J-33
リアモニタHDMI音声入力……J-33
音楽ファイルについて…… J-34
画像ファイルについて…… J-36
動画ファイルについて…… J-37
テレビ／ラジオの受信について …… J-39
仕様…… J-40
初期設定一覧 …… J-41
別売品(システムアップ)について…… J-44
商標などについて…… J-46
ソフトウェア、およびオープンソース
ソフトウェアについて…… J-48
保証とアフターサービス …… J-50
さくいん…… J-51

GPS電波受信と現在地測位

現在地測位について

- **本機はGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地を測位しています。**
  また自律航法やマップマッチングを行って、測位誤差を補正しています。

※自律航法……本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出す方法

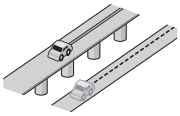
※マップマッチング……現在地測位をして道路以外の場所を走行しているという結果が出た場合、測位に誤差が生じたと判断し、近くの道路に現在地補正すること

お知らせ

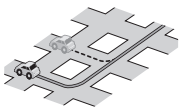
- GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。
- 自律航法は実際の走行を重ねてデータを蓄積することで算出精度の向上を図っています。そのため、初めてお使いのときや、蓄積データを初期化(センサー学習結果の初期化)をした直後は十分に現在地測位ができない場合があります。
- 測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習結果の初期化(☞H-36)を行ってください。

- **本機表示の現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。**
  故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

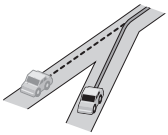
・高速道路と一般道路が近くにある。



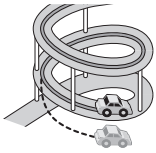
・碁盤目状の道路を走行している。



・角度の小さなY字路を走行している。



・らせん状の道路などを走行している。



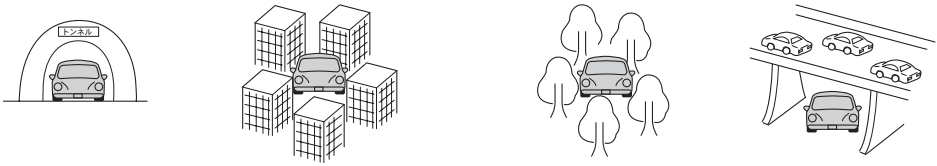
・地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき。
・本機の電源が切れている間にターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき。
・旋回、切り返しを繰り返したとき。
・S字の連続する道路を走行しているとき。
・直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき。

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

GPS電波受信について

- 以下の場所ではGPS電波がさえぎられやすいため受信しにくくなります。

・トンネルの中　・高層ビルに囲まれたところ　・樹木の密集したところ　・高速道路の下など



車内でご使用の電子機器(レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETCなど)からの電波により、また一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信しにくくなる場合があります。

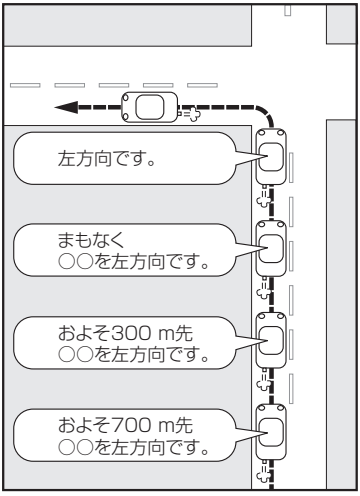
- GPS電波は通常、本機を起動してから数分で受信します。ただし、初めてお使いのときや車のバッテリーなど交換後、また長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受信周期により、データの取り込みに時間がかかるためです。)走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

ルート案内について

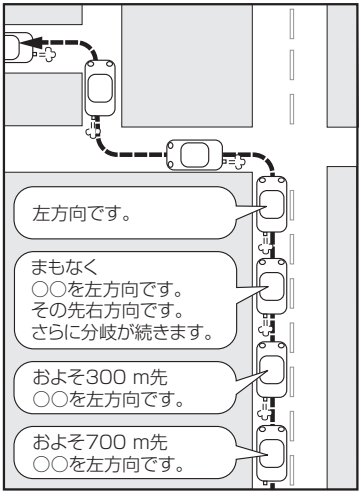
ルート案内中の音声案内例

交差点案内

一般的な左折の案内例

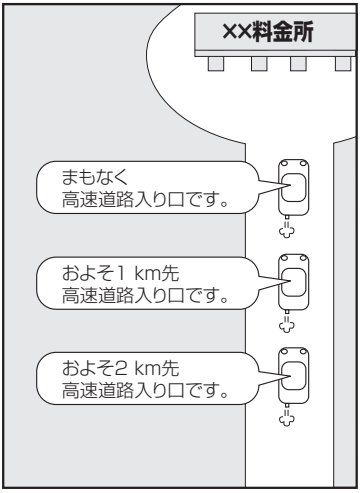


左折と右折が連続する案内例

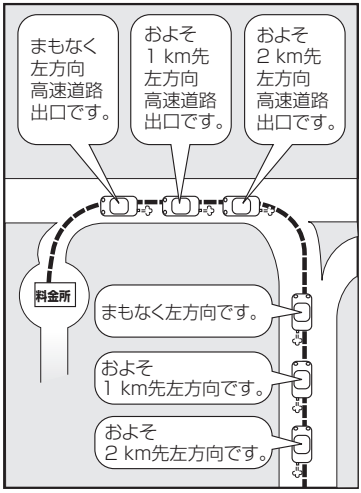


高速道路の出口案内

高速道路入口付近の案内例



高速道路出口付近の案内例



お知らせ

- 音声案内の音量を調整する場合はD-10
- 音声案内を再度聞きたいときは 現在地 を押してください。
  ※タイミングによっては直前の音声案内ではなく次の分岐点の案内になる場合があります。

ルート案内のご注意

- 道路は日々変化しているため、地図ソフト作成時期により、交通規制やルートなどの案内が実際の道路と合致しない場合があります。
- 音声案内は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった案内内容になったり、音声案内しない場合があります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地１付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

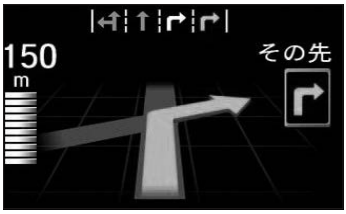
有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 一部の有料道路で料金表示できない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- １つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、２つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は「－－－円」となります。)
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。このような場合は、実際の料金に従ってお支払いください。

車両のメーター内マルチインフォメーションディスプレイの交差点案内表示

ルート案内中、交差点の曲がる方向や交差点までの距離などをメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

※車両の装備やグレードが交差点案内表示に対応している必要があります。



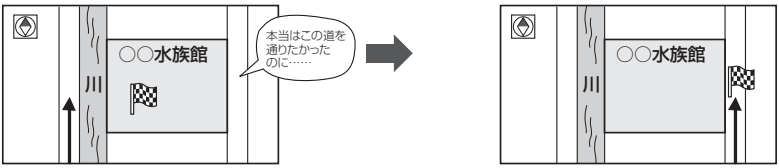
お知らせ

- 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

ルート探索について

- **道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上りと下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。**
- **出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路が案内ルートの起点／中継点／終点になります。そのため以下例のようなケースに注意して目的地を設定してください。**

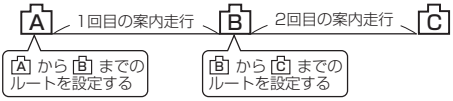
例)「施設の名称から目的地を探す」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
（駐車場情報が無い場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合）



目的地マークに一番近い道路は川を挟んで左にある道路であるため、この道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

- **以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。**
  - ・交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
  - ・極度に迂回したルートしかない場合。
  - ・現在地と目的地が遠すぎる場合。（この場合はルートを複数に分けて探索してください。）



出発地Ａから目的地Ｃの探索ができなかった場合は、途中のＢ地点で区切って探索してください。

  - ・その他、条件によってはルート探索できない場合があります。
- **経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。**
  - ・どれか１区間でもルートが探索できなかったときは、ルート探索ができません。
  - ・経由地付近でルートがつながらないことがあります。
  - ・経由地付近でＵターンするルートが表示されることがあります。
- **となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。**
- **ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。**
- **目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。**
- **ルート探索中に車のエンジンスイッチをロックに入れると、ルート探索を中断します。このあとに車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れると前回探索途中のルートは中止(削除)されています。**

VICSについて

VICSに関する問い合わせ先について

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

電話番号	0570-00-8831 ※PHS、IP電話等からはご利用できません。 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。 ※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。
電話受付時間	平日9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX番号	(03)3562-1719
FAX受付時間	24時間
URL	http://www.vics.or.jp/index1.html

＊お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)

第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章 サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第４条　VICSサービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
（VICSサービスの提供時間）
第５条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第３章 契 約

（契約の単位）
第６条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。
（サービスの提供区域）
第７条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
（契約の成立等）
第８条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
   (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
   (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
   (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
   (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

⚠ 警告

指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

禁止

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平26情使、第244-B227号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平25情使、第798-040号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061・13-063)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2015年11月のものを使用しています。

地図ソフトについて

- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2015年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2015年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D交差点…… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー…… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板…… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。（全国の主要交差点）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2015年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ（2015年11月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※本ソフトの収録エリアには2016年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については一般財団法人道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS センター)
電話番号：0570-00-8831
電話受付時間：9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。
■道路：2015年12月(高速・有料道路)／2015年10月(国道・都道府県道)
■交通規制※1：2015年11月　■住所検索　：2015年11月　■電話番号検索：2015年11月
■個人宅電話番号検索：2015年8月　■郵便番号検索：2015年11月　■ジャンル検索：2015年10月
■高速・有料道路料金※2：2015年12月　■市街地図　：2015年7月
※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

【VICS レベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2016年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については一般財団法人道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2016年9月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2015 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2015 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2016 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先
株式会社ゼンリン　カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-210-616
受付時間 9:30～17:30　月～土(祝日・弊社指定休日は除く)
※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

市街地図の収録エリア

90％以上収録地域 → 無印、50％以上収録地域→ □、50％未満収録地域→ ■

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町
青森県	三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢市、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ケ崎町、平泉町
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
茨城県	水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町
群馬県	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ケ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市
愛知県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市

市街地図の収録エリア

90 %以上収録地域 → 無印、50 %以上収録地域→ □、50 %未満収録地域→ ■

三重県	津市、松阪市、いなべ市、東員町、菰野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	近江八幡市、草津市、大津市、彦根市、長浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、米原市、高島市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、長岡京市、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、京丹後市、南丹市、大山崎町、伊根町、与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、神戸市、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、たつの市、多可町、香美町、新温泉町、加東市、市川町、神河町
奈良県	奈良市、橿原市、桜井市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、宇陀市、三宅町、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、かつらぎ町、湯浅町、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、太地町、串本町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、日吉津村、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
広島県	呉市、尾道市、福山市、府中市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、平生町、周防大島町、田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
香川県	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町

福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、 久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、 志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、 田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、 行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、 太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、 篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、 岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、 苅田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、 朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、 小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、 添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、 福智町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、 武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、 神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、 みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、 大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、 対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、 南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市 *、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、 水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、 菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、 小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、 玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、 氷川町、芦北町、津奈木町 ＊印…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、 臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、 杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、 九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、 日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、 高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、 川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、 いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、 指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、 日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、 志布志市、奄美市、南九州市、さつま町
沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、 沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、 北中城村、中城村、西原町、豊見城市、 与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、 宮古島市、南城市、八重瀬町

お知らせ

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2015年7月です。

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場

ジャンル	企業名・中分類
観る(続き)	映画館
	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等
	イベント
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	カー用品
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店

ジャンル	企業名・中分類
買う(続き)	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング

ジャンル	企業名・中分類
生活施設（続き）	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ
銀行	都市銀行
	地方銀行
	その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場

ジャンル	企業名・中分類
スポーツ施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
Honda Cars店	Honda Cars店
カーディーラー	Honda Cars店
	スズキ
	スバル
	ダイハツ
	トヨタ
	トヨタ部品
	日産
	日産部品
	マツダ
	三菱
	レクサス
	アウディ
	アルファロメオ
	クライスラー
	シトロエン
	ジャガー
	GM
	GMDAT
	BMW
	フィアット
	フェラーリ
	フォルクスワーゲン
	フォード
	プジョー
	ベントレー
	ポルシェ
	ボルボ
	マセラティ

ジャンル	企業名・中分類
カーディーラー（続き）	MINI
	メルセデス・ベンツ
	ヤナセ
	ランドローバー
	ランボルギーニ
	ルノー
	ロータス
	ロールスロイス
	いすゞ
	日野
	三菱ふそう
	UDトラックス
	その他カーディーラー
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	エコステーション
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

文字入力画面について

文字を入力する

※画面によって入力できる文字種類・漢字変換・半角切換が制限されます。
※画面によって表示されないボタンがあります。

1 文字ボタンをタッチする。

カーソルを移動します。

スペースを入力します。

文字ボタンを切り換えます。

文字を削除する

① ← ／ → をタッチして、
カーソルを削除したい文字のすぐ右に移動させる。
② 修正 をタッチする。

小文字／濁点文字／半濁点文字を入力する

文字を入力して 小゛゜ をタッチする。
例)「ぎゃ」と入力するには、 き ➡ 小゛゜ ➡ や ➡ 小゛゜ の順にタッチする。

文字の種類を選ぶ

カナ をタッチする。
※タッチするたびに、 カナ ➡ 英数 ➡ 記号 ➡ かな と切り換わります。

半角文字を入力する

① 半角 をタッチする。
②文字ボタンをタッチする。
※全角に戻すには 全角 をタッチしてください。

2 無変換 をタッチする。

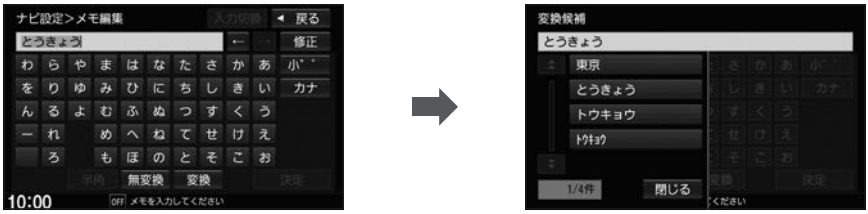
※画面によっては 無変換 のタッチが不要な場合があります。
※ 変換 をタッチすると漢字に変換できます。J-21

3 文字の入力が終わったら、 決定 ／ 検索 をタッチする。

漢字に変換する場合

①ひらがなを入力して 変換 をタッチする。

②候補リストからどれに変換したいか選んでタッチする。



入力予測機能について

名称検索画面、ジャンル名入力画面、地名部分入力画面では、入力予測機能が働きます。
文字入力を始めると、過去の入力履歴から予測して入力候補を表示します。

入力候補リストを表示します。
（入力候補の文が長く、続きを見たい場合は
タッチしてください）

入力候補
※タッチして選択できます。
（例えば“な”を入力すると、過去に入力した中から予測して、
“な”から始まる文字列を最大５件表示します）

お知らせ

入力履歴は初期化することができます。H-36

入力切換 について

文字入力画面で 入力切換 をタッチすると、以下の文字ボタンに切り換えることができます。

もとの文字ボタンに切り換えます。

スペースを入力します。

- 携帯電話の文字入力のように、入力したい文字の行のボタンをタッチして文字入力します。（例：“え”を入力するには あ を４回タッチします。）
- 同じ行の文字を続けて入力する場合は、 送り をタッチしてから次の文字を入力してください。

Gracenoteデータベースについて

CDをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● **Gracenoteデータベースについて**

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote、CDDB、MusicID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

gracenote.

お知らせ

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● **Gracenoteデータベースのご利用について**

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

ディスクについて

再生できるディスク

CD

ディスクの種類	市販の音楽CD、CD-R、CD-RW
フォーマット	CD-DA、MP3、WMA

- コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)には対応しておりません。
- CD-R／CD-RWは、拡張フォーマットを除いたISO9660 レベル1／レベル2で書き込まれたディスクに対応しています。
- マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。
- MP3／WMAファイルについては、「音楽データの規格について」☞J-34もお読みください。

DVD

ディスクの種類	市販のDVD、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
フォーマット	DVD-Video、DVD-VR(CPRMも再生可能)

- リージョン番号「2」ではないディスクやNTSC方式以外(PAL、SECAM)で収録されたディスクは再生できない場合があります。
- DVD-RおよびDVD-R DLに記録する場合、ファイナライズ処理が必要です。
  DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■次のような場合は再生できないことがあります。

・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
・データ書き込みに失敗し再度録音した場合
・記録に使用したレコーダ／ディスクと本機の相性が悪い場合
・無許諾のディスク(海賊版のディスク)

■下記のディスクには対応していません。(再生できても正常に再生されないことがあります。)

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD+R／+RW／+R DL　など

■下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

バリがある

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズがついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。

- 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

SDカードについて

SDカードについて

- **本書ではSD規格に準拠したメモリーカードをSDカードと記載しています。**
  ただし、
  ・microSDカードと記載している場合は、microSDXCメモリーカード／microSDHCメモリーカード／microSDメモリーカードを指します。
  ・miniSDカードと記載している場合は、miniSDメモリーカードを指します。
- **SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。**
- **本機は下記のSDカードに対応しています。**

使用できるSDカードの種類(下記以外のSDカードは使用できません。)	
・SDメモリーカード(2 GBまで) ・SDHCメモリーカード(2 GB超～32 GBまで) ・SDXCメモリーカード(32 GB超～2 TBまで、512 GB以下を推奨)	※SDロゴ、SDHC、SDXCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用可 ※セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- **SDカードの初期化は本機で行ってください。**
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中(再生中／初期化中など)にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。
- 無線LAN内蔵のSDカードは対応していません。
- 本機はUHS規格の転送速度には対応しておりません。

SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など)でのご使用や保存はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

iPodについて

- 本書では特にことわりのない限り、iPod／iPhoneを「iPod」と表記しています。
- 本機に接続すると、起動中はiPodへ充電を行います。
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。
- iPodソースのときに、iPodの接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。（正しく動作しない場合があります。）
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを本機から外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で本機の電源を切ると数分後にiPod本体の電源もOFFされます。（ただし、この動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。）
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電池を消耗することがあります。

本機で接続確認できているiPod

2016年4月現在

iPod／iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod接続コード(別売)で接続		Lightning-USBケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone SE	9.3	×	×	○	×
iPhone 6s	9.3	×	×	○	×
iPhone 6s Plus	9.3	×	×	○	×
iPhone 6	9.3	×	×	○	×
iPhone 6 Plus	9.3	×	×	○	×
iPhone 5s	9.3	×	×	○	×
iPhone 5c	9.3	×	×	○	×
iPhone 5	9.3	×	×	○	×
iPhone 4S	9.3	○	○	×	×
iPhone 4	7.0.6	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.5	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1	○	○	×	×
iPod touch(第６世代)	9.3	×	×	○	×
iPod touch(第５世代)	9.3	×	×	○	×
iPod touch(第４世代)	6.1.5	○	○	×	×
iPod touch(第３世代)	5.1.1	○	○	×	×
iPod touch(第２世代)	4.2.1	○	○	×	×
iPod touch(第１世代)	3.1.3	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2	○	○	×	×
iPod Video	1.3	○	○	×	×
iPod nano(第７世代)	1.1.1	×	×	○	×
iPod nano(第６世代)	1.2	○	×	×	×
iPod nano(第５世代)	1.0.2	○	○	×	×
iPod nano(第４世代)	1.0.4	○	○	×	×
iPod nano(第３世代)	1.1.3	○	○	×	×
iPod nano(第２世代)	1.1.3	○	×	×	×
iPod nano(第１世代)	1.3.1	○	×	×	×

○：可能　×：不可

※第４世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。

※上表はiPodソースでの音楽再生・ビデオ再生に関するものです。他のソース、他の機能での使用可否を記載しているものではありません。

iPodについて

お知らせ

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをApple社のホームページよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。

WALKMAN® ／ USBメモリーについて

- **WALKMAN®／USBメモリーに記憶されているデータを本機で編集することはできません。**
- **WALKMAN®／USBメモリーは再生中に本機から外さないでください。**
- **WALKMAN®／USBメモリーは市販のUSBハブまたはUSB延長ケーブルを介して接続しないでください。**
- **全てのWALKMAN®／USBメモリーの動作を保証するものではありません。**
- **下記のWALKMAN®／USBメモリーには対応していません。**
  ・パーティションが複数あるもの
  ・電流が500 mA を超えるもの
  ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
  ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
  ・パソコンなど、他のUSB機器へ電源供給が可能なもの
- **本機にWALKMAN®を接続すると、本機起動中はWALKMAN®へ充電を行います。**
- **本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0のものを接続した場合、USB2.0で動作します。**

WALKMAN®で再生可能な音楽ファイルについて

- **x-アプリ、SonicStageを使用して転送したMP3／WMA／AAC／ATRAC ファイルが再生可能です。**
  ※上記4種以外のファイル形式(ATRAC Advanced Lossless、WAV(PCM)、FLACなど)には対応していません。
  ※ハイレゾ音源には対応していません。
- **以下の方法で転送された音楽ファイルは選曲モードで 全曲 または フォルダ を選ぶ方法でのみ再生できます。**
  ・ドラッグ＆ドロップ転送した音楽ファイル
  ・Content Transferで転送した音楽ファイル
  ・Media Goで転送した音楽ファイル

お知らせ

- WALKMAN®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
- WALKMAN®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- 表示可能文字数は全角32 文字／半角64 文字となります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(WALKMAN®が対応している階層とは異なります。)
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。
- microSDカードに転送したファイルの再生には対応していません。
- microSDカード対応のWALKMAN®を本機に接続する場合、WALKMAN®の「保存するメモリー」を「本体メモリー」に設定してください。
  ※機種により表現が異なる場合があります。詳しくはWALKMAN®の説明書をご確認ください。

WALKMAN® ／USBメモリーについて

対応可能なUSBメモリー

● 本機では下記条件を満たしたUSBメモリーを使用できます。
- ・USBマスストレージ規格準拠
- ・容量：32 GB以下
- ・ファイルシステム：FAT16、FAT32
- ・USBコミュニケーションフォーマット：USB2.0
- ・パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- ・USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

本機で接続確認できているWALKMAN®

2016年4月現在

モデル名	ミュージック（音楽）	フォト（画像）	ビデオ（動画）
NW-E305/E307	○	×	×
NW-E405/E407	○	×	×
NW-E505/E507	○	×	×
NW-E002/E003/E005	○	×	×
NW-E013/E015/E016	○	×	×
NW-E023F/E025F/E026F	○	×	×
NW-E042/E043/E044	○	×	×
NW-E052/E053	○	×	×
NW-E052K/E053K	○	×	×
NW-E062/E063	○	×	×
NW-E062K/E063K	○	×	×
NW-E083	○	○	×
NW-E083K	○	○	×
NW-A605/A607/A608	○	×	×
NW-A805/A806/A808	○	○	○
NW-A916/A918/A919	○	○	○
NW-A828/A829	○	○	○
NW-A845/A846/A847	○	○	○
NW-A855/A856/A857	○	○	○
NW-A865/A866/A867	○	○	○
NW-A16/A17	○	○	○
NW-A25/A25HN/A26HN/A27HN	○	○	○
NW-S203F/S205F	○	×	×
NW-S603/S605	○	×	×
NW-S703F/S705F/S706F	○	×	×
NW-S615F/S616F	○	○	○
NW-S636F/S638F/S639F	○	○	○
NW-S715F/S716F/S718F	○	○	○
NW-S736F/S738F/S739F	○	○	○
NW-S644/S645	○	○	○
NW-S744/S745/S746	○	○	○
NW-S754/S755/S756	○	○	○
NW-S764/S765/S766	○	○	○
NW-S774/S775	○	○	○
NW-S784/S785/S786	○	○	○

モデル名	ミュージック（音楽）	フォト（画像）	ビデオ（動画）
NW-S14/S15	○	○	○
NW-S636FK/S638FK	○	○	○
NW-S736FK/S738FK	○	○	○
NW-S644K/S645K	○	○	○
NW-S744K/S745K	○	○	○
NW-S754K/S755K	○	○	○
NW-S764K/S765K	○	○	○
NW-S774K/S775K	○	○	○
NW-S784K/S785K	○	○	○
NW-S14K/S15K	○	○	○
NW-S764BT	○	○	○
NW-S774BT	○	○	○
NW-F805/F806/F807	○	○	○
NW-F805K/F806K	○	○	○
NW-F805BT	○	○	○
NW-F885/F886/F887	○	○	○
NW-X1050/X1060	○	○	○
NW-Z1050/Z1060/Z1070	○	○	○
NW-ZX1	○	○	○
NW-ZX2	○	○	○
NW-ZX100	○	○	○
NW-M505	×	×	×
NW-HD1	×	×	×
NW-HD2	×	×	×
NW-HD3	×	×	×
NW-HD5/HD5H	×	×	×
NW-A1000/A1200	×	×	×
NW-A3000	×	×	×
NW-E103/E105/E107	×	×	×
NWD-W202	×	×	×
NWD-W253	×	×	×
NWD-W263	×	×	×
NWD-W273	×	×	×
NW-W274S	×	×	×
NW-WS615	×	×	×
NW-WH303	×	×	×

○：可能　×：不可

BLUETOOTHについて

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全てのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応機器はBluetooth SIG. Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
  3 その他、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。

ハンズフリーについて

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り換わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。

- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・通話エリア外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意にならないようにしてください。)
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声は消音(ミュート)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。

お知らせ

携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/

BLUETOOTH Audioについて

- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作はお控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH対応機器の音楽再生アプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

リア席モニターについて

別売のリア席モニターを接続すると、本機で再生しているDVDなどの映像をリア席モニターに表示することができます。

リア席モニターに表示できる映像

各種オーディオソースのうち、動画再生ソースの映像を表示できます。
DVD／TV／iPod(ビデオ)／VTR／SD(動画)／WALKMAN®(動画)／USB(動画)

※HDMIソース*1の映像、ドライブレコーダー映像、Apple CarPlayの映像は表示できません。
※動画以外の映像は表示できません。
※本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。TVを受信している場合、放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター表示できないときもあります。

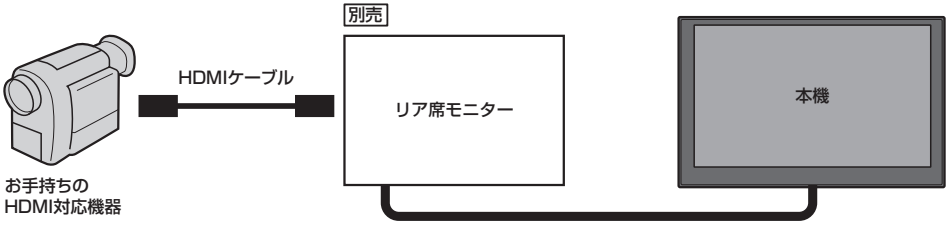
お知らせ

- リア席モニターでは映像出力のみを行います。ソース選択や画面の操作を行うことはできません。操作は本機で行ってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。
- 本機との接続に対応しているリア席モニターについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi の場合

リアモニタHDMI音声入力

リア席モニターの中には、HDMI対応機器と接続でき、映像をリア席モニター側で表示、音声を本機側で出力するものがあります。本機側で音声を出力する場合は下記手順を行ってください。



1 AUDIOメニュー(☞E-2)から **リアモニタHDMI** をタッチする。
⇨リア席モニターと接続したHDMI対応機器の音声が出力されます。
※本機の画面に映像は表示されません。

お知らせ

- 接続した機器の音声を聞きながら地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 本機とリア席モニターを接続すると、AUDIOメニューの **VTR／AUX** が **リアモニタHDMI** に変わります。
- リア席モニターにHDMI対応機器が未接続時は、音声は出力されません。

必要なとき

音楽ファイルについて

● **音楽データの規格について**　注)CD=CD-R/CD-RW、SD=SDカード、USB=WALKMAN®／USBメモリー

	MP3	WMA	AAC
再生可能メディア	CD、SD、USB		SD、USB
データの規格、バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version7、9 ※Standardのみ	AAC Low Complexity
ファイル拡張子	mp3、MP3	wma、WMA	m4a、M4A
サンプリング周波数	16 kHz／22.05 kHz／ 24 kHz／32 kHz／ 44.1 kHz／48 kHz	32 kHz／44.1 kHz／ 48 kHz	16 kHz／22.05 kHz／ 24 kHz／32 kHz／ 44.1 kHz／48 kHz
ビットレート	8 kbps～320 kbps、 VBR	48 kbps～320 kbps、 VBR	8 kbps～320 kbps
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	CD　：全角32文字／半角32文字 SD、USB：全角32文字／半角64文字 ※フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。		
フォルダ名／ファイル名の使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255 ※ファイル数＋フォルダ数の合計が255以下であること		
1メディア内の最大ファイル数	CD　：512 SD、USB：10000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD　：255 SD、USB：400		
表示可能なタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名 ※WALKMAN®の場合、ジャンル名の表示も可能		
タグ表示可能文字数	[ID3タグ Ver1.0／1.1] 全角15／半角30文字 [ID3タグ Ver2.2／2.3] CD： 全角30／半角60文字 SD、USB： 全角32／半角64文字	CD： 全角30／半角30文字 SD、USB： 全角32／半角64文字	全角32／半角64文字
ジャケット写真のファイル規格	CD　：ジャケット写真に非対応 SD、USB：JPEG形式		

※m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスは非対応です。
※WMA Professional／WMA Lossless は非対応です。
※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
※2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
※ID3タグバージョン1、バージョン2 が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
※フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

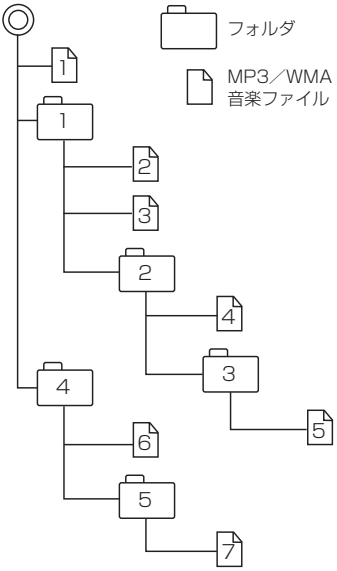
お知らせ

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと(例えばWMAのファイルに“MP3”の拡張子)大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。
  メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。
- CDで同じ階層に複数のMP3／WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

ジャケット写真について

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

● 階層と再生順序について



〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

画像ファイルについて

● 再生可能なJPEGファイルについて

対応形式	Baseline JPEG方式
再生可能な拡張子	JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4092×4092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイルについて

● 再生可能な動画ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート	フレームレート	最大解像度
MPEG4	216 kbps～4 Mbps	15 fps、30 fps	720×480
H.264	216 kbps～4 Mbps	15 fps、30 fps	720×480

※MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profileレベル3までです。
※ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。
※H.264(ビデオコーデック)の対応プロファイルは、Baseline Profileレベル3.0までです。
※可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※Windows Media Videoには対応していません。

オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
AAC-LC	8 kbps～320 kbps	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
AAC-Plus	×	×

※ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

※上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書を参照ください。
※動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れたりする場合があります。

再生可能な拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ階層	8階層
表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	1 GB以下

※著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

動画ファイルについて

● **動画ファイルの再生について**

・極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかったりすることがあります。
・極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかったりすることがあります。
・同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
・チャンネル数が2を超える音声データを含む動画ファイルは再生できません。
・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け（例：001～100など）、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子（MP4／M4V／mp4／m4v）を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
・SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因になる場合があります。

● **著作権について**

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

テレビ／ラジオの受信について

- **車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。**
- **放送方式（12セグ／ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。**
- **地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面や黒画面となり音声が出なくなったりすることがあります。**
- **ラジオやテレビの受信は受信環境によって、電波の強さの変化、障害物や他電波などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。**
  - トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかったりすると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 車の走行速度によっては受信状態が悪くなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
  - 一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
  - 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
  - ワイパー、電動ミラー、エアコンのFAN などを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	VXM-175VFNi 9 V型 VXM-175VFEi VRM-175VFEi 8 V型 VXM-175VFi VRM-175VFi 7 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ／ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPSアンテナ	マイクロストリップ　平面アンテナ
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	－145 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S／N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～99.0 MHz AM 522～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

DVD部

対応ディスク	DVDビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
S／N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
リアモニター接続端子	7ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子	3ピン専用コネクター
(VICS入力端子)	(ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロント／コーナーカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子	GT13専用コネクター
マイク入力端子	ミニジャック
LUF入力端子	4ピン専用コネクター
HDMI入力端子*1	タイプEコネクター
ETC2.0車載器接続端子	4ピン専用コネクター
ドライブレコーダー接続端子	12ピン専用コネクター
車両通信接続端子	20ピン専用コネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
消費電流	VXM-175VFNi VXM-175VFEi VXM-175VFi 約3.5 A(CD再生出力 1 W時) VRM-175VFEi VRM-175VFi 約2 A(CD再生出力 VOL＝MAX)
最大出力	VXM-175VFNi VXM-175VFEi VXM-175VFi 50 W×4 ch(16.0 V) VRM-175VFEi VRM-175VFi 3.15 Vrms(バランス出力)
外形寸法	VXM-175VFNi 228×144.3×169.5 mm VXM-175VFEi VRM-175VFEi 206×130.8×166.3 mm VXM-175VFi VRM-175VFi 190.5×111×166.3 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	VXM-175VFNi 2.7 kg VXM-175VFEi VRM-175VFEi 2.6 kg VXM-175VFi VRM-175VFi 2.5 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

＊1… VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ

初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

● ナビゲーション

画面表示	
メイン画面	北方向が上 縮尺＝100 m
右画面	北方向が上 縮尺＝400 m
メニューカスタマイズ設定	6個表示

QUICKメニュー
周辺施設、右画面表示、道路切換、ランドマーク表示／非表示、全ルート表示、案内スタート／ストップ、再探索

情報	
ドライブレコーダー	
設定	
画質＝高画質	
音声録音＝する	
手動録画の自動停止＝1分	
動画情報表示	
急加速・急減速＝ON	
合流地点＝ON	
感度設定＝0.5	
ブザー音＝する	
FM多重	
周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定

記念距離メモリー
設定
記念距離メモリー＝する
間もなくお知らせ＝する

ナビ設定
表示
メイン画面の設定
地図モード＝北向き
3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目
吹き出しを表示＝する
標高地図を表示＝する

ナビ設定
表示
右画面の設定
右画面に地図表示＝しない
名称の文字サイズ＝標準
吹き出しを表示＝する
標高地図を表示＝する
地図モード＝北向き
3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目
地図色設定
昼夜切換＝スモール連動
標高地図色＝季節連動
情報バー表示設定
MAPCODEを表示＝する
地図情報を表示＝住所名
Audio情報を表示＝しない
その他設定
緯度・経度を表示＝しない
登録地を表示＝する
時計表示＝する
右画面AVを表示＝しない
ランドマーク＝カーディーラー（Honda Cars店、オートテラス）
ランドマーク表示＝する
走行軌跡
軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ
軌跡保存データ＝なし
案内
案内表示項目設定
ルートの全表示＝する
交差点情報の表示＝常時
ETCレーンの表示＝する
JCTビューの表示＝する
ルート情報の表示＝しない
ハイウェイモードの表示＝する
交差点拡大図の表示＝する
リアル3D表示＝する
方面看板の表示＝常時
目的地方向を表示＝する
Audio画面中の案内割込み＝する
右画面AV中の案内割込み＝する
EWS（緊急情報）の割込み＝する

初期設定一覧

ナビ設定

案内

案内音声項目設定
案内出力スピーカー＝右前
専用レーン案内＝する
高速走行時の音量切換＝する
VICS案内＝する
トンネル出口案内＝する

探索

探索条件＝internaviルート
自動再探索＝する
フェリーを優先＝しない
時間規制道路を考慮＝する
VICS自動再探索＝する
到着予想＝自動
　　手動を選択時
　　一般道＝30 km/h
　　国道＝40 km/h
　　有料道路＝80 km/h

ナビ案内音量

案内音量＝15目盛中左から7目盛目
消音＝OFF

渋滞情報

VICS表示設定

一般道＝ON	有料道＝ON
規制＝ON	点滅＝ON
駐車場＝OFF	渋滞無し＝OFF
渋滞混雑＝ON	

ETC2.0設定
ETC2.0受信音＝する
ETC2.0割込み＝する
ETC2.0音声自動再生＝する
ETC2.0アップリンク＝する

セキュリティ設定

セキュリティ設定＝する
セキュリティインジケータ＝する
盗難多発地点 音声案内＝しない
盗難多発地点 表示案内＝しない
市街地図での盗難多発地点表示案内＝しない

システム設定

BLUETOOTH

着信音量＝＋8
受話音量＝＋8
送話音量＝＋4
ノイズキャンセル＝ON
デバイス名＝Gathers
ハンズフリーパスキー＝1212
BLUETOOTH Audioパスキー＝0000

オプションボタン

フロントカメラ接続時　フロントカメラ切換
コーナーカメラ接続時　コーナーカメラ切換
フロントカメラ・コーナーカメラ未接続時　自宅

ETC設定

カード挿入アイコン表示＝する
本体ブザー音＝する
音声案内＝する
カード入れ忘れ警告＝する
カード有効期限案内＝する
表示割込み時間＝5秒

フロント／コーナーカメラ設定

フロント／コーナーカメラ自動表示＝しない
登録地点検知＝する
カメラインジケータ表示＝する

リアカメラ設定

リアカメラ設定次回表示ビュー＝前回表示ビューと同じ
後方死角サポート＝する
車線キープサポート＝する
後退出庫サポート＝する
運転支援警報音＝中

パーキングセンサー設定

パーキングセンサー表示割込み＝する

その他設定

車種設定＝
VXM-175VFNi VXM-175VFEi VXM-175VFi 普通車両
VRM-175VFEi VRM-175VFi 軽自動車
キー操作音＝操作音1

Apple CarPlay連携機能設定

iPhone接続時の利用機能＝Apple CarPlay
ルート案内の音量(音量値)＝5
ルート案内の音量(消音)＝OFF

TUNE
ルート
有料道路優先＝中 道幅優先＝中 渋滞回避＝中 ルート学習＝する VICS考慮＝する スマートIC考慮＝ON 季節規制考慮＝ON
ガイダンス
分岐案内頻度＝高 合流案内＝常時 踏切案内＝常時

TUNE
マップ
地図色 　昼＝ノーマル 　夜＝ノーマル 文字サイズ＝標準 自車マーク＝矢印

後席会話設定
後席会話機能＝停止 地図画面にボタン表示＝しない 音量＝4

● オーディオ

音量調整
音量＝3

画質調整
明るさ ・昼用＝25(全映像共通) ・夜用＝8(ナビ、オーディオ映像、TV映像共通) 　16(フロント／コーナーカメラ) 　12(リアカメラ) コントラスト＝16(全映像共通) 色の濃さ＝16(全映像共通) 色合い＝16(全映像共通) ダイナミックガンマ ＝OFF(フロント／コーナー／リアカメラ、 　ドライブレコーダー、Apple CarPlay) 　ON(上記以外) ※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ダイナミックガンマは表示されません。

画面調整(画面の表示サイズの切り換え)
フル

録音管理
録音管理＝自動録音 録音音質＝256 kbps

CD
再生モード＝通常再生

USB／SD
選曲モード＝全曲 再生モード＝通常再生 モード切換＝音楽ファイル

エフェクト設定
音の匠(音の匠を選べない場合はOFFです。) SRS CS Auto選択時　FOCUS　各スピーカー＝4 TruBass　各スピーカー＝4 MixToRear＝4 DSP選択時＝HALL

イコライザー設定
OFF

スピーカーサイズ設定
フロント＝LARGE リア＝VXM-175VFNi VXM-175VFEi VXM-175VFi LARGE VRM-175VFEi VRM-175VFi NORMAL

フェード・バランス設定／サブウーファー音量調整*1
FADE＝0 BALANCE＝0 SUB WOOFER*1＝2

車速連動音量
設定＝MIDDLE

外部接続設定*2
HDMI接続＝しない

FM(ラジオ)
周波数＝76.0 MHz

AM(ラジオ)
周波数＝522 kHz

＊1…VRM-175VFEi VRM-175VFiのみ　＊2…VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEiのみ

初期設定一覧

交通情報(ラジオ)
1620 kHz

Music Rack
選曲モード＝全曲 再生モード＝通常再生

iPod
モード＝ミュージック

DVD
音声言語＝日本語 字幕言語＝日本語 メニュー言語＝日本語 ダイナミックレンジ圧縮＝OFF 視聴制限レベル＝制限なし

TV
受信モード＝自動切換 プリセットモード＝おでかけ マルチビュー＝主番組 映像＝映像1 音声＝日本語 二重音声＝主 字幕＝表示しない 文字スーパー＝表示しない **システム設定** オート放送局サーチ＝する 地上D選局対象＝テレビ 番組表表示形式＝第一内容のみ表示

別売品(システムアップ)について

ETC車載器(ナビ連動タイプ)

リアカメラ／リアワイドカメラ

フロントカメラ

コーナーカメラ(2ビュー)

USB接続ジャック

iPod／WALKMAN®／USBメモリーを再生する場合に必要です。

地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ

地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。

リア席モニター

USBメモリーデバイスコード

iPod接続コード

iPodを再生させる場合に必要です。

VTRコード／HDMI接続コード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

※VTRコードはiPodで映像を再生させる場合にも必要となります。

※HDMI接続コードは VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ

AUX接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

オーディオリモコンスイッチ

ETC2.0車載器

ドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)

リアカメラdeあんしんプラス

パーキングセンサー

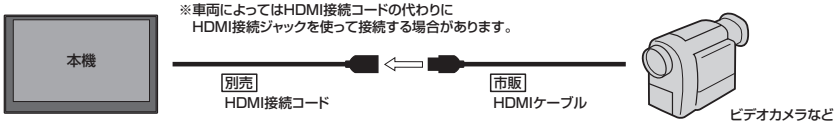
※各別売品は車両標準装備の場合があります。車両によって詳細仕様が異なる場合があります。
※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

別売品(システムアップ)について

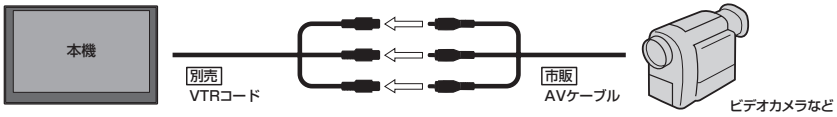
ビデオカメラなどを使う

HDMIケーブル接続の場合

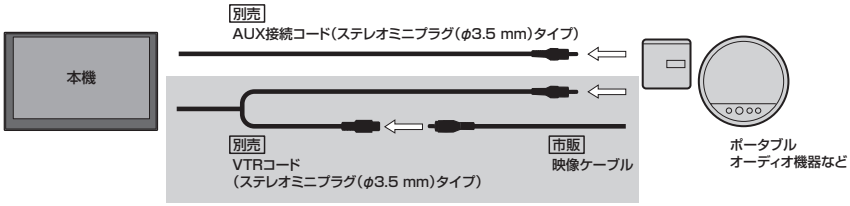
VXM-175VFNi VXM-175VFEi VRM-175VFEi のみ



AVケーブル接続の場合



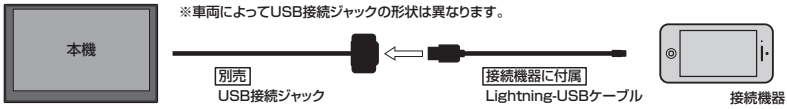
ポータブルオーディオ機器などを使う



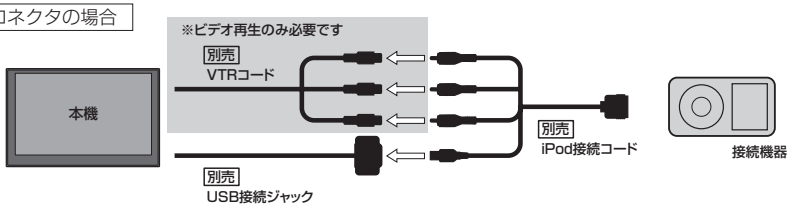
iPod／iPhone を使う

Lightningコネクタの場合

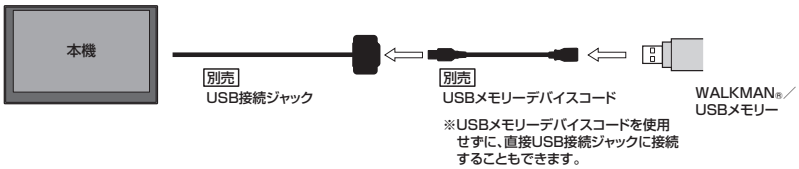
※ビデオ再生には対応していません。



Dockコネクタの場合



WALKMAN®／USBメモリーを使う



※接続コード類の仕様は変更となる場合があります。

必要なとき

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、およびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- VICS® は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、http://patents.dts.com をご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよびDTSとシンボルマークとの複合ロゴはDTS, Inc.の登録商標です。SRS CS Auto は、DTS, LLC の商標です。© DTS, Inc.無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- “DVD Logo” は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- “WALKMAN®” “ウォークマン®” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。
- x-アプリ、SonicStage、Media Go、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- 本製品はコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。
  - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。

- 「 Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- Apple CarPlayロゴは、このロゴを使用している車載機器がAppleの定める性能基準を満たしていることを示しています。
- Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本製品とiPod、iPhoneを使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。
- Apple, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, iTunes, Siriは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Apple CarPlayは、Apple Inc.の商標です。
- Lightningは、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- IOS(iOS)は、Cisco Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1)パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)オープンソースソフトウェア

■上記(3)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

- **RSA Data Security's MD5 License**
  RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. Allrights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

- **Independent JPEG Group's License**
  This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

- **Apache License 2.0**
  This software includes Google Protocol Buffers and Bonjour. You may obtain a copy of the License at "http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

- **OpenSSL License**
  This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
  Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
  All rights reserved.
  This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
  The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
  This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
http://panasonic.jp/car/navi/license/genue/HDOP/

■Apple CarPlayについて

Apple CarPlay Communication Plug-in.

Disclaimer: IMPORTANT: This Apple software is supplied to you, by Apple Inc. ("Apple"), in your capacity as a current, and in good standing, Licensee in the MFi Licensing Program. Use of this Apple software is governed by and subject to the terms and conditions of your MFi License, including, but not limited to, the restrictions specified in the provision entitled " Public Software" , and is further subject to your agreement to the following additional terms, and your agreement that the use, installation, modification or redistribution of this Apple software constitutes acceptance of these additional terms. If you do not agree with these additional terms, please do not use, install, modify or redistribute this Apple software.

Subject to all of these terms and in?consideration of your agreement to abide by them, Apple grants you, for as long as you are a current and in good-standing MFi Licensee, a personal, non-exclusive license, under Apple's copyrights in this original Apple software (the "Apple Software"), to use, reproduce, and modify the Apple Software in source form, and to use, reproduce, modify, and redistribute the Apple Software, with or without modifications, in binary form. While you may not redistribute the Apple Software in source form, should you redistribute the Apple Software in binary form, you must retain this notice and the following text and disclaimers in all such redistributions of the Apple Software. Neither the name, trademarks, service marks, or logos of Apple Inc. may be used to endorse or promote products derived from the Apple Software without specific prior written permission from Apple. Except as expressly stated in this notice, no other rights or licenses, express or implied, are granted by Apple herein, including but not limited to any patent rights that may be infringed by your derivative works or by other works in which the Apple Software may be incorporated.

Unless you explicitly state otherwise, if you provide any ideas, suggestions, recommendations, bug fixes or enhancements to Apple in connection with this software (“Feedback”), you hereby grant to Apple a nonexclusive, fully paid-up, perpetual, irrevocable, worldwide license to make, use, reproduce, incorporate, modify, display, perform, sell, make or have made derivative works of, distribute (directly or indirectly) and sublicense, such Feedback in connection with Apple products and services. Providing this Feedback is voluntary, but if you do provide Feedback to Apple, you acknowledge and agree that Apple may exercise the license granted above without the payment of royalties or further consideration to Participant.

The Apple Software is provided by Apple on an "AS IS" basis. APPLE MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF NONINFRINGEMENT, MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE OR ITS USE AND OPERATION ALONE OR IN COMBINATION WITH YOUR PRODUCTS.

IN NO EVENT SHALL APPLE BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE, REPRODUCTION, MODIFICATION AND/OR DISTRIBUTION OF THE APPLE SOFTWARE, HOWEVER CAUSED AND WHETHER UNDER THEORY OF CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2008-2014 Apple Inc. All Rights Reserved.

保証とアフターサービス

■保証について

- 保証書に記載された「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき … 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低６年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

さくいん

あ 行

案内スタート……D-5
案内ストップ……D-5
イコライザー設定……E-41
一般優先(ルート探索条件)……D-11
緯度・経度表示設定……B-7
迂回探索……D-9
オーディオをON／OFFする……E-3
オート放送局サーチ(TV)……E-18
音の匠(サラウンド設定)……E-42
オプションボタンの設定をする……H-28
音質(録音)……F-4
音声案内の音量調整(ナビゲーション)……D-10
音声案内の詳細設定(ナビゲーション)……D-15
音声案内を消音にする(ナビゲーション)……D-10
音声認識……G-6
オンライン検索……E-6, F-9

か 行

回転ボタン……E-36
各部の名前……A-8
画質調整……H-34
画像再生……E-36
画像ファイルについて……J-36
画面を消す……H-35
キー操作音設定……H-29
季節連動……B-7
起動画面の変更……A-10
記念距離メモリー……H-12
距離優先(ルート探索条件)……D-11
緊急警報放送(TV)……E-13
経由地の入れ替え……D-6
経由地の変更／削除……D-6
経由地をスキップする……D-5
経由地を追加……D-6
現在のルート全体を表示……D-7
後席会話サポート機能……H-30
交通情報(ラジオ)……E-19
コーナーカメラ映像を表示する……H-14
故障かな？と思ったら……I-2
小文字に変換……J-20

さ 行

再生できるディスク……J-24
再生モード……E-5, E-23, E-27, E-32, E-35
再探索……D-10
サブウーファーの音量調整……E-40
サラウンド設定……E-42
サンプリング周波数……J-34
時間規制道路を考慮……D-12
時間連動……B-7
自車マーク……B-3, B-5
施設詳細……B-11
自宅の新規登録……D-4
自宅までのルートを探索……D-4
自動再探索……D-11
自動録音……F-4
絞込み……C-3
ジャケット写真を登録する……F-8
車速連動音量設定……E-41
シャッフル再生……E-23
ジャンクションビュー(JCTビュー)……D-16
住所検索……C-4
渋滞情報……H-3
渋滞地点……D-5
周辺施設検索……C-6
受信モード切換(TV)……E-16
出発地の変更……D-6
手動録音……F-4
仕様……J-40
初期化……F-5, F-10, H-36
初期設定一覧……J-41
初期登録設定(BLUETOOTH Audio)……E-28
スキャン再生……E-5, E-27, E-35
ステアリングリモコン設定……H-32
スピーカー設定……E-43
スマートIC……D-14
スモール連動……B-7
スライドショー……E-36
設定メニュー……B-11
選曲モード……E-22, E-27, E-31, E-35
全曲録音……F-2
選択曲録音……F-2
ソースを選ぶ……E-2

さくいん

た　行

探索開始……D-7
探索条件……D-6, D-11
地図表示記号……B-4
地図を拡大／縮小する……B-13
地図をスクロール（地図を動かす）……B-10
地点を登録……H-24
地点を編集……H-25
昼夜切換……B-7, H-34
ディスクを挿入する／取り出す……E-4
ディスプレイの角度調整……A-14
テナント情報……B-11
デモ走行……D-3
デモ走行中止……D-3
動画ファイルについて……J-37
盗難多発地点案内……H-29
道路切換……B-9
登録ルート……D-8
道路メイン（地図色）……B-5
時計表示（全画面）……E-3
ドライブレコーダー……H-8
ドラッグ操作……A-12

は　行

ハイウェイモード……B-16, D-16
ハンズフリー……G-8
微調整する……B-10
ビットレート……J-34
表示サイズ切り換え……H-35
表示できる施設……J-18
ピンチ操作……A-12
フェード・バランス調整……E-40
フェリーを優先……D-11
複数探索……D-7
複数ルート探索……D-2
プリセット選局（ラジオ）……E-21
フリック操作……A-12, B-10
フロントカメラ映像を表示する……H-14
別売品（システムアップ）……J-44
方面看板……D-17
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-8
ボタン消……B-2, E-9
本体情報……E-29, G-4, H-36

ま　行

マップコード……B-7, C-11
右画面AVを表示……B-8
右画面表示……B-16
メッセージ表示について……I-19
モード切換……E-33
目的地周辺……C-6
目的地の入れ替え……D-6
目的地の追加……D-6
目的地の変更……D-6
目的地メニュー……C-2
文字修正……J-20
文字を入力する……J-20

や　行

有料優先（ルート探索条件）……D-11

ら　行

ラジオを聞く……E-20
ランダム再生……E-5, E-27, E-32, E-35
ランドマーク表示設定……B-8
リアカメラ映像を表示する……H-16
リア席モニターについて……J-33
立体アイコン……B-4
リピート再生……E-5, E-8, E-23, E-27, E-32, E-35
ルート案内設定……D-15
ルート案内について……J-4
ルート案内をストップ／スタートする……D-5
ルート学習……D-14
ルート削除……D-8
ルート情報……B-16, D-16
ルート全表示……D-15
ルート沿い……C-6
ルート探索……J-6
ルート探索条件設定……D-11
ルート保存……D-8
ルートを変更する……D-6
録音……F-2
録音音質……F-4
録音方法（自動／手動）……F-4

わ 行

ワンセグに切り換え……E-16
ワンタッチダイヤル……G-13

数字・アルファベット

3D表示の角度調整……B-6
AAC……J-34
AUDIOメニュー……E-2
BLUETOOTH Audio……E-30
CD再生……E-4
CD録音設定……F-4
CPRM対応……J-24
Drive T@lker……G-6
DSP(サラウンドの設定)……E-43
DVD再生……E-7
ETC／ETC2.0……H-6
ETCレーン表示……D-16
FM／AM……E-20
GPS……B-2
Gracenoteデータベース……J-22
H.264……J-37
internaviルート(ルート探索条件)……D-11
iPod／iPhone対応可能機種……J-27
iPod再生……E-22
JPEG(画像ファイル)……J-36
MP3……J-34
MPEG4……J-37
Music Rack……E-26, F-1
NaviCon……G-4
QUICKメニュー……B-14
SDカード……E-33
SDカードから地点を登録する……H-24
SDカードを挿入する／取り出す……E-32
SRS CS Auto(サラウンドの設定)……E-42
TUNE……B-14
TV……E-13
USBメモリー……E-33
VICS……H-2
VICS渋滞情報(矢印表示)……H-3
VICSボタン……B-2
VRモードディスク……E-10
VTR／AUX／HDMI……E-38
WALKMAN®……E-33
WALKMAN®対応機種……J-29
WMA……J-34

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間:**9時～12時、13時～17時**／
但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

発売元　株式会社ホンダアクセス
〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

08A40-5W0-4000-8A
Printed in Japan　YEFM0600701